

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 十文字学園

## (2) 大学名

十文字学園女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒352-8510  
埼玉県新座市菅沢2-1-28

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ジュウモンジ カズオ) 十文字 一夫 (昭和62年5月)		
学長	(シムラ フミオ) 志村 二三夫 (平成29年4月)		
副学長 兼 学長補佐	(ワタイ マサヤス) 綿井 雅康 (平成29年4月)		
副学長	(アダチ カズヒサ) 安達 一寿 (平成31年4月)		
	(オノ ユウジロウ) 小野 裕次郎 (平成31年4月)		
	(ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		
学部長 兼 学科長	【人間生活学部】 <人間福祉学科> (ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		

学部長 兼 学科長	〔教育人文学部〕 <幼児教育学科> (ヤマダ ヨウコ) 山田 陽子 (令和2年4月)		
	〔社会情報デザイン学部〕 <社会情報デザイン学部> (ナカヤマ シゲオ ) 中山 成夫 (令和2年4月)		
学科長	<健康栄養学科> (キムラ ヤスコ) 木村 靖子 (令和2年4月)		
学科長	<食物栄養学科> (イワモト タマミ) 岩本 珠美 (令和2年4月)		
学科長	<食品開発学科> (コバヤシ ミチコ) 小林 三智子 (令和2年4月)		
学科長	<児童教育学科> (トミヤマ テツヤ) 富山 哲也 (令和2年4月)		
学科長	<心理学科> (フセ ハルミ) 布施 晴美 (令和2年4月)		
学科長	<文芸文化学科> (コバヤシ ミノル) 小林 実 (令和2年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育人文学部 幼児教育学科 学士（教育学）	教育学・保育学関係	4年	170人	— 年次人	680人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	170人 (—) [若干名]	—人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.02 倍	— 倍	
志願者数	336 (—) [0]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
受験者数	317 (—) [0]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
合格者数	255 (—) [0]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
B 入学者数	175 (—) [0]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.02												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	175 [ 0 ] ( - )	— [ — ] ( - )									
2年次	/										
3年次	/		/								
4年次	/		/		/						
計	175 [ 0 ] ( - )										

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	175 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{175} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



2 授業科目の概要

＜教育人文学部 幼児教育学科＞

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通科目	入門ゼミナール	1前	2			5	3	1	1			6	入門ゼミナール	1前	2			10	6	3	1			2		
	コミュニケーション演習	1前・後	1									6	コミュニケーション演習	1前	1										2	
	読書入門ゼミナール	1・2・3・4後	2									17	読書入門ゼミナール	1・2・3・4後	2			1							9	
	課題解決ゼミナール	2・3 前・後	2									2	課題解決ゼミナール	2・3 前・後	2										2	
	総合ゼミナール	3・4 前・後	2									2	総合ゼミナール	3・4 前・後	2										2	
	総合	地域で学ぶ	1・2・3・4前・後	2									3	地域で学ぶ	1・2・3・4前・後	2										2
		地域と人間生活	2・3・4前・後	2									6	地域と人間生活	2・3・4前・後	2										6
		人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4後	2			1						1	人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4後	2			1							1
		人間理解ワークショップ	2・3・4前・後	2			1						3	人間理解ワークショップ	2・3・4前・後	2			1							3
		総合科目	1・2・3・4前・後	2									1	総合科目	1・2・3・4前・後	2										10
		自主社会活動	1・2・3・4前・後	1									2	自主社会活動	1・2・3・4前・後	1										
	女性を生きる	キャリアデザインとライフプラン	1前・後	2									2	キャリアデザインとライフプラン	1前・後	2										2
		リーガルリテラシー	1前・後	2									1	リーガルリテラシー	1前・後	2										1
		ジェンダーリテラシー	1前・後	2									1	ジェンダーリテラシー	1前・後	2										1
		子育てと環境	1前・後	2			2	1		1				子育てと環境	1前・後	2		2	1		1					
		女性と健康	1前・後	2									1	女性と健康	1前・後	2										2
		女性の心と身体	1・2・3 前・後	2									2	女性の心と身体	1・2・3 前・後	2										1
		食の科学	2・3 前・後	2									1	食の科学	2・3 前・後	2										1
		歴史のなかの女性	2・3 前・後	2									1	歴史のなかの女性	2・3 前・後	2										1
		芸術を読みとる	2・3 前・後	2									1	芸術を読みとる	2・3 前・後	2										1
		社会に生きる	グローバル社会	1前・後	2									1	グローバル社会	1前・後	2									
	ネットワーク社会		1前・後	2									1	ネットワーク社会	1前・後	2										1
	共生社会入門		1前・後	2									1	共生社会入門	1前・後	2										1
	多様性と倫理		1前・後	2									1	多様性と倫理	1前・後	2										1
	持続可能な社会		1前・後	2									1	持続可能な社会	1前・後	2										1
	くらしのなかの日本国憲法		1・2・3 前・後	2									3	くらしのなかの日本国憲法	1・2・3 前・後	2										1
	ボランティア論		1・2・3 前・後	2									1	ボランティア論	1・2・3 前・後	2										1
	災害と社会		2・3 前・後	2									1	災害と社会	2・3 前・後	2										1
	21世紀型の教育		2・3 前・後	2									1	21世紀型の教育	2・3 前・後	2										1
	体育・保健	身体運動Ⅰ	1・2・3・4前	1					1				1	身体運動Ⅰ	1・2・3・4前	1					1				2	
		身体運動Ⅱ	1・2・3・4後	1			1		1				10	身体運動Ⅱ	1・2・3・4後	1		1		0					13	
	処情報	情報処理演習Ⅰ	1前	1									3	情報処理演習Ⅰ	1前	1										3
		情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4後	1									3	情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4後	1										2
	外国語(基礎科目)	英語Ⅰa	1前	1									2	英語Ⅰa	1前	1										5
		英語Ⅰb	1後	1									2	英語Ⅰb	1後	1										5
		英語Ⅱa	2・3・4前	1									1	英語Ⅱa	2・3・4前	1										1
		英語Ⅱb	2・3・4後	1									1	英語Ⅱb	2・3・4後	1										1
中国語Ⅰa		1前	1									2	中国語Ⅰa	1前	1										2	
中国語Ⅰb		1後	1									2	中国語Ⅰb	1後	1										2	
中国語Ⅱa		2・3・4前	1									2	中国語Ⅱa	2・3・4前	1										2	
中国語Ⅱb		2・3・4後	1									2	中国語Ⅱb	2・3・4後	1										2	
朝鮮語Ⅰa		1前	1									1	朝鮮語Ⅰa	1前	1										2	
朝鮮語Ⅰb		1後	1									1	朝鮮語Ⅰb	1後	1										2	
フランス語Ⅰa		1前	1									1	フランス語Ⅰa	1前	1										1	
フランス語Ⅰb		1後	1									1	フランス語Ⅰb	1後	1										1	
海外語学研修		1・2・3・4前	1									1	海外語学研修 (未開講)	1・2・3・4前	1										1	

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語目的別科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前	1								1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後	1								1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前	1								1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後	1								1
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後	2								2
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後	2								2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後	2								2
	ビジネス英語	2・3・4後	2								1
	映画・ドラマ英語	2・3・4後	2								1
	インターネット英語	2・3・4後	2								1
	メディア英語	2・3・4前	2								1
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後	2								1
	中国語試験対策講座	1・2・3・4前	2								1
日本語検定対策講座	1・2・3・4前・後	2								1	
共通科目	総合日本語Ⅰa	1前	1								1
	総合日本語Ⅰb	1後	1								1
	総合日本語Ⅱa	2前	1								1
	総合日本語Ⅱb	2後	1								1
	総合日本語Ⅲa	3・4前	1								1
	総合日本語Ⅲb	3・4後	1								1
	日本語表現技術Ⅰ	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術Ⅱ	1・2・3・4後	1								1
	日本語表現技術Ⅲ	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術Ⅳ	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究A(時事Ⅰ)	1・2・3・4前	1								1
	日本語研究B(時事Ⅱ)	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究C(ビジネスⅠ)	1・2・3・4前	1								1
	日本語研究D(ビジネスⅡ)	1・2・3・4後	1								1
日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前	1								1	
日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後	1								1	
日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前	1								1	
日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後	1								1	
日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前	1								2	
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1					1
	キャリアロールモデル研究	2後	2								1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2								2
	プロアクティブ人材育成	2後	2								2
	キャリアサポート演習	3通	2								1
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前	2								2
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後	2								1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1								1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2								1
	小計(89科目)	-	8	127	0	5	3	1	1		74
共通科目	総合日本語Ⅰa	1前	1								1
	総合日本語Ⅰb	1後	1								2
	総合日本語Ⅱa	2前	1								1
	総合日本語Ⅱb	2後	1								1
	総合日本語Ⅲa	3・4前	1								1
	総合日本語Ⅲb	3・4後	1								1
	日本語表現技術Ⅰ	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術Ⅱ	1・2・3・4後	1								1
	日本語表現技術Ⅲ	1・2・3・4前	1								1
	日本語表現技術Ⅳ	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究A(時事Ⅰ)	1・2・3・4前	1								2
	日本語研究B(時事Ⅱ)	1・2・3・4後	1								1
	日本語研究C(ビジネスⅠ)	1・2・3・4前	1								1
	日本語研究D(ビジネスⅡ)	1・2・3・4後	1								1
日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前	1								1	
日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後	1								1	
日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前	1								1	
日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後	1								1	
日本語集中講座(編入)	2・3・4前	1								2	
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1					1
	キャリアロールモデル研究	2後	2								1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2								2
	プロアクティブ人材育成	2後	2								2
	キャリアサポート演習	3通	2								1
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前	2								2
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後	2								1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1								1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2								1
	小計(89科目)	-	8	127	0	10	6	3	1		88



【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	基礎	児童学概論	2			6	7	1	1			
		児童学演習	1通	2			3	2		1		
		児童学研究法	3後	2			2					
		ネイチャー・ワーク	2前	2			1	1				
		幼児教育基礎実習	2後	2			3	1				
		幼児教育基礎演習	2後	2			3	1				
	保育と教育	保育者論	2後	2			1					
		幼児教育学	1前	2			1					1
		教育学	1後	2								1
		保育制度・保育政策論	2前	2						1		
		特別支援教育概論	2後	2			1	1				
		障害児保育	3前	2			1	1				
		保育・教育課程論	3前	2			1					
		子どもの理解と援助	2前	2			1	1				
		教育方法	2前	2								1
		乳児保育Ⅰ	2後	2								1
		乳児保育Ⅱ	3前	2								1
		多文化保育論	3・4前	2								1
	保育学	3・4前・後	2			1	1					
	保育臨床学	3・4前・後	2			1	1					
	保育実践論	3・4前・後	2			1			1			
	保育内容の理解と方法	子どもの生活と遊び	2前	2			1	2	1			
		人間理解と人間関係	2後	2			2	1		1		
		子どもと自然	2後	2								1
		言語文化表現	1後	2								2
		表現総論	2前	2			3	3	1			
		保育内容総論	3後	2			1	1				
		保育内容の指導法（健康）	2後	2			1					
		保育内容の指導法（環境）	2後	2				1				
		保育内容の指導法（人間関係）	3前	2			1				1	
保育内容の指導法（言葉）		3前	2			1	1					
保育内容の指導法（音楽表現）		3前・後	2				2			2		
保育内容の指導法（造形表現）		2後	2			1	1					
保育内容の指導法（身体表現）	3前	2					1			1		
発達と臨床	保育・教育心理学	1前	2			1						
	生涯発達心理学	1後	2			1						
	保育・教育相談	3後	2			1						
	青年心理学	2・3前	2			1						
	乳幼児発達論	3・4前・後	2			2						
	発達臨床論	3・4前・後	2			1	1					
生活と福祉	子ども家庭福祉Ⅰ	1前	2			1						
	子ども家庭福祉Ⅱ	3後	2			1						
	社会福祉	1後	2			1						
	子ども家庭支援論	2前	2			1						
	社会的養護Ⅰ	2前	2			1						
	社会的養護Ⅱ	2後	2			1	1					
	子育て支援	2後	2				2					
	児童養護論	3・4前・後	2			1	1					
専門科目	基礎	児童学概論	1前	2			6	6	1	1		
		児童学演習	1通	2			3	2		1		
		児童学研究法	3後	2			2					
		ネイチャー・ワーク	2前	2			1	1				
		幼児教育基礎実習	2後	2			3	1				
		幼児教育基礎演習	2後	2			3	1				
	保育と教育	保育者論	2後	2			1					
		幼児教育学	1前	2			1					
		教育学	1後	2								1
		保育制度・保育政策論	2前	2						1		
		特別支援教育概論	2後	2			1	1				
		障害児保育	3前	2			1	1				
		保育・教育課程論	3前	2			1					
		子どもの理解と援助	2前	2			1	1				
		教育方法	2前	2								1
		乳児保育Ⅰ	2後	2								1
		乳児保育Ⅱ	3前	2								1
		多文化保育論	3・4前	2								1
	保育学	3・4前・後	2			1	1					
	保育臨床学	3・4前・後	2			1	1					
	保育実践論	3・4前・後	2			1			1			
	保育内容の理解と方法	子どもの生活と遊び	2前	2			1	2	1			
		人間理解と人間関係	2後	2			2	1		1		
		子どもと自然	2後	2								1
		言語文化表現	1後	2								2
		表現総論	2前	2			3	3	1			
		保育内容総論	3後	2			1	1				
		保育内容の指導法（健康）	2後	2			1					
		保育内容の指導法（環境）	2後	2				1				
		保育内容の指導法（人間関係）	3前	2			1				1	
保育内容の指導法（言葉）		3前	2			1	1					
保育内容の指導法（音楽表現）		3前・後	2				2			2		
保育内容の指導法（造形表現）		2後	2			1	1					
保育内容の指導法（身体表現）	3前	2					1			1		
発達と臨床	保育・教育心理学	1前	2			1						
	生涯発達心理学	1後	2			1						
	保育・教育相談	3後	2			1						
	青年心理学	2・3前	2			1						
	乳幼児発達論	3・4前・後	2			2						
	発達臨床論	3・4前・後	2			1	1					
生活と福祉	子ども家庭福祉Ⅰ	1前	2			1						
	子ども家庭福祉Ⅱ	3後	2			1						
	社会福祉	1後	2			1						
	子ども家庭支援論	2前	2			1						
	社会的養護Ⅰ	2前	2			1						
	社会的養護Ⅱ	2後	2			1	1					
	子育て支援	2後	2				2					
	児童養護論	3・4前・後	2			1	1					

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	健康と運動	児童保健学	1後	2			1						
		子どもの健康と安全	2前	2			1						
		食と発達	2前	2	2								2
		子どもと運動	2前	2			1						
		幼児運動論	3-4後	2			1						
	児童保健学各論	3-4後	2			1							
	表現と文化	子どもと歌唱表現	2前	2			1						
		音楽表現基礎技能	1後	2	2			2					5
		感じて表現（造形）	1前	2			1						
		考えて表現（造形）	1後	2			1						
子どもと身体表現		2後	2					1				1	
音楽表現応用		2-3前・後	1				2					6	
造形発達と表現		2-3-4後	2			1	1						
フィールドワーク（実習）	幼稚園教育実習総論	3-4通	2			5	4		1				
	幼稚園教育実習	4通	4			3	2		1				
	保育実習総論Ⅰ	3通	2			5	4		1				
	保育実習Ⅰ（保育所）	3-4通	2			3	2		1				
	保育実習Ⅰ（施設）	3-4通	2			3	2		1				
	保育実習総論Ⅱ	4前	1			5	4		1				
	保育実習Ⅱ	3-4通	2			3	2		1				
	保育実習総論Ⅲ	4前	1			3	2		1				
	保育実習Ⅲ	3-4通	2			3	2		1				
	保育インターンシップ	3-4通	2			5	4		1				
総合	保育・教職実践演習	4後	2			10	7	1	1				
	卒業研究	4通	4			10	7	1	1				
小計（76科目）		-	64	89	0	10	7	1	2			16	
合計（165科目）		-	72	216	0	10	7	1	2			87	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	健康と運動	児童保健学	1後	2			1						
		子どもの健康と安全	2前	2			1						
		食と発達	2前	2	2								2
		子どもと運動	2前	2			1						
		幼児運動論	3-4後	2			1						
	児童保健学各論	3-4後	2			1							
	表現と文化	子どもと歌唱表現	2前	2			1						
		音楽表現基礎技能	1後	2	2			2					5
		感じて表現（造形）	1前	2			1		0		1		
		考えて表現（造形）	1後	2			1						
子どもと身体表現		2後	2						1			1	
音楽表現応用		2-3前・後	1				2					6	
造形発達と表現		2-3-4後	2			1	1						
フィールドワーク（実習）	幼稚園教育実習総論	3-4通	2			5	4		1				
	幼稚園教育実習	4通	4			3	2		1				
	保育実習総論Ⅰ	3通	2			5	4		1				
	保育実習Ⅰ（保育所）	3-4通	2			3	2		1				
	保育実習Ⅰ（施設）	3-4通	2			3	2		1				
	保育実習総論Ⅱ	4前	1			5	4		1				
	保育実習Ⅱ	3-4通	2			3	2		1				
	保育実習総論Ⅲ	4前	1			3	2		1				
	保育実習Ⅲ	3-4通	2			3	2		1				
	保育インターンシップ	3-4通	2			5	4		1				
総合	保育・教職実践演習	4後	2			10	7	1	1				
	卒業研究	4通	4			10	7	1	1				
小計（76科目）		-	64	89	0	10	7	3	2			16	
合計（165科目）		-	72	216	0	10	7	3	2			104	

卒業要件及び履修方法

卒業要件及び履修方法

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語（基礎科目）」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。専門科目から、必修科目31科目64単位を含めた90単位以上を修得すること。その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語（基礎科目）」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。専門科目から、必修科目31科目64単位を含めた90単位以上を修得すること。その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授5」「准教授3」「講師1」「助教1」から「教授10」「准教授6」「講師3」「助教1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「コミュニケーション演習」の教員配置を、「兼任・兼任6」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「コミュニケーション演習」の配当年次を、「1前・後」から「1前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼任17」から「准教授1」「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「地域で学ぶ」の教員配置を、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「教授1」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「女性と健康」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「女性の心と身体」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「グローバル社会」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「くらしのなかの日本国憲法」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅰ」の教員配置を「講師1」「兼任・兼任1」から「講師1」「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「教授1」「講師1」「兼任・兼任10」から「教授1」「兼任・兼任13」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「情報処理演習Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・ライティング」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「総合日本語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語研究A(時事Ⅰ)」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語集中講座(編入)」の配当年次を、「1・2・3・4前」から「2・3・4前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「児童学概論」の教員配置を、「教授6」「准教授7」「講師1」「助教1」から「教授6」「准教授6」「講師1」「助教1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「感じて表現(造形)」の教員配置を、「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「考えて表現(造形)」の教員配置を、「教授1」から「講師1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
36 科目	129 科目		165 科目	36 科目 [ 0 ]	129 科目 [ 0 ]		165 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	海外語学研修	1	1・2・3・4前	一般科目	選択	コロナ禍に伴う海外渡航制限のため。代替措置無し
2	英語コミュニケーション応用	2	1・2・3・4前・後	一般科目	選択	対面を前提とした授業のため、社会情報学部以外はR3年度開講に変更
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

海外語学研修は各国の日本人に対する海外渡航制限の影響もありやむを得ずR2年度は非開講とし、学内メールにて学生には周知を行った。また、英語コミュニケーション演習も対面を前提とした授業であったため、選択必修の学科は次年度開講へと予定を変更し、学生にはシステム時間割上の変更にて通知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{165} = \boxed{1.21} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校 舎 敷 地	24,118 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	24,118 m <sup>2</sup>				
	運 動 場 用 地	39,202 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	39,202 m <sup>2</sup>				
	小 計	63,320 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	63,320 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	21,905 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	21,905 m <sup>2</sup>				
	合 計	85,225 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	85,225 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		30,715 m <sup>2</sup> ( 30,715 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	30,715 m <sup>2</sup> ( 30,715 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等		講 義 室 55 室 <del>53 室</del>	演 習 室 48 室	実 験 実 習 室 29 室 <del>19 室</del>	情 報 処 理 学 習 施 設 8 室 <del>7 室</del> (補助職員 一人)	語 学 学 習 施 設 7 室 <del>9 室</del> (補助職員 一人)	大学全体 学生の修学環境の見直しを行い、学修施設を増やした。ただし、語学学習施設は、学内組織の変更により2室減となった。(2)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		【幼児教育】 自己都合退職者1名分減 (2)		
		教育人文学部 幼児教育学科			20 <del>21</del> 室				
		教育人文学部 児童教育学科			16 室				
		教育人文学部 心理学科			13 室				
		教育人文学部 文芸文化学科			13 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 閲覧席増加のため、資料移設、図書資料の除籍をおこなったことにより蔵書冊数は減少した。(2)	
	大学全体	189,906 [20,970] <del>(179,390 [20,333])</del> <del>(181,906 [20,570])</del>	706 [207] <del>(703 [206])</del> <del>(706 [207])</del>	18 [4] <del>(20 [4])</del> <del>(18 [4])</del>	4,896 <del>(4,442)</del> <del>(4,416)</del>	15,487 (12,630)	90 (72)		
	計	189,906 [20,970] <del>(179,390 [20,333])</del> <del>(181,906 [20,570])</del>	706 [207] <del>(703 [206])</del> <del>(706 [207])</del>	18 [4] <del>(20 [4])</del> <del>(18 [4])</del>	4,896 <del>(4,442)</del> <del>(4,416)</del>	15,487 (12,630)	90 (72)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		1,930 m <sup>2</sup>		391 <del>345</del>		150,722 <del>146,639</del>			
(7) 体 育 館		面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
		3,253 m <sup>2</sup>		該 当 な し 該 当 な し					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	大学全体
		教員1人当り研究費等	170千円	170千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
	共 同 研 究 費 等	17,000千円	17,000千円	設 備 購 入 費	100,000千円	100,000千円	50,000千円		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	幼 児 教 育 学 科 児 童 教 育 学 科	
	1,350千円	1,260千円	1,260千円	1,260千円	— 千円	— 千円			
	1,330千円	1,240千円	1,240千円	1,240千円	— 千円	— 千円	心 理 学 科 文 芸 文 化 学 科		
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要			私 立 大 学 等 経 常 経 費 補 助 金、資 産 運 用 収 入、雑 収 入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	十文字学園女子大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間生活学部	4	350	3年次 15人	350	-	1.04	1.04	令和2	令和2		
健康栄養学科	4	120	3年次 5人	120	学士 (栄養学)	1.03	1.03	令和2	令和2		
食物栄養学科	4	120	3年次 10人	120	学士 (栄養学)	1.05	1.05	令和2	令和2		
食品開発学科	4	40	-	160	学士 (食品学)	0.77	0.77	令和2	令和2		
人間福祉学科	4	70	-	70	学士 (社会福祉学)	1.18	1.18	令和2	令和2		
社会福祉・介護福祉コース	4	20	-	-	学士 (社会福祉学)	1.50	1.50	令和2	令和2		
社会福祉・保育コース	4	50	-	-	学士 (社会福祉学)	1.06	1.06	令和2	令和2		
教育人文学部	4	440	3年次 5人	440	-	1.17	1.17	令和2	令和2		
幼児教育学科	4	170	-	170	学士 (教育学)	1.02	1.02	令和2	令和2		
児童教育学科	4	80	-	80	学士 (教育学)	1.08	1.08	令和2	令和2		
心理学科	4	120	-	120	学士 (心理学)	1.27	1.27	令和2	令和2		
文芸文化学科	4	70	3年次 5人	70	学士 (文学)	1.44	1.44	令和2	令和2		
社会情報デザイン学部	4	130	3年次 5人	130	-	1.33	1.33	令和2	令和2		
社会情報デザイン学科	4	130	3年次 5人	130	学士 (社会学)	1.33	1.33	令和2	令和2	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号	
(旧)人間生活学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成23		(旧)人間生活学部 令和2年度より学生募集停止
幼児教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
児童教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
人間発達心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	平成23		
人間福祉学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・介護福祉コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・保育コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
健康栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成27		
食物栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成23		
文芸文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成27		
生活情報学科	4	-	-	-	学士 (社会情報学)	-	-	-	平成23		
メディアコミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (コミュニケーション学)	-	-	-	平成23		
大学全体	-	920	25	920	-	-	-	-	-		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
人間生活学研究科								-	-	
食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (栄養学)	1.16	1.00	-	平成28	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号
食物栄養学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (栄養学)	0.80	0.60	-	平成22	
研究科全体	-	7	-	16	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



5 教員組織の状況

＜教育人文学部 幼児教育学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和2年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名(年齢) 年(月) 氏名(年齢) 年(月) <就任(予定)年(月)> <届出(予定)年(月)> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名(年齢) 年(月) 氏名(年齢) 年(月) <就任(予定)年(月)> <届出(予定)年(月)> 担当授業科目名
専	大宮 明子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 児童学概論※ 児童学演習 卒業研究 保育・教職実践演習※ 乳幼児発達論 青年心理学 生涯発達心理学 児童学研究法※	専	大宮 明子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 児童学概論※ 児童学演習 卒業研究 保育・教職実践演習※ 乳幼児発達論 青年心理学 生涯発達心理学 児童学研究法※
専	橋田 ゆかり <令和2年4月> 入門ゼミナール 児童学概論※ 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 保育概論 保育・教育課程論 子どもの理解と援助 保育実践論 子どもの生活と遊び※ 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習総論Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究	専	橋田 ゆかり <令和2年4月> 入門ゼミナール <del>児童学概論※</del> 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 保育概論 保育・教育課程論 子どもの理解と援助 保育実践論 子どもの生活と遊び※ 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習総論Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	加藤 則子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 児童学概論※ 児童保健学 子どもの健康と安全 児童保健各論 保育・教職実践演習※ 卒業研究	専	加藤 則子 <令和2年4月> 入門ゼミナール <del>児童学概論※</del> 児童保健学 子どもの健康と安全 児童保健各論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	上埜内 伸子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 児童学概論※ 児童学演習 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 幼児教育学 保育学 人間理解と人間関係※ 表現総論※ 保育内容総論 保育内容の指導法(言葉) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習総論Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究	専	上埜内 伸子 <令和2年4月> 入門ゼミナール <del>児童学概論※</del> 児童学演習 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 幼児教育学 保育学 人間理解と人間関係※ 表現総論※ 保育内容総論 保育内容の指導法(言葉) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習総論Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	瀬谷 恵美 <令和2年4月> 入門ゼミナール 児童学概論※ 子ども家庭福祉Ⅱ 社会福祉 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ 児童学演習 幼稚園教育実習総論 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究	専	瀬谷 恵美 <令和2年4月> 入門ゼミナール 児童学概論※ 子ども家庭福祉Ⅱ 社会福祉 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ 児童学演習 幼稚園教育実習総論 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習総論Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	鈴木 康弘 <令和2年4月> 入門ゼミナール 身体運動Ⅱ 児童学概論※ 表現総論※ 保育内容の指導法(健康) 子どもと運動 幼児運動論 保育・教職実践演習※ 卒業研究	専	鈴木 康弘 <令和2年4月> 入門ゼミナール 身体運動Ⅱ 児童学概論※ 表現総論※ 保育内容の指導法(健康) 子どもと運動 幼児運動論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	長田(鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学演習 児童学研究法※ 保育・教育心理学 乳幼児発達論 保育・教職実践演習※ 卒業研究	専	長田(鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学演習 児童学研究法※ 保育・教育心理学 乳幼児発達論 保育・教職実践演習※ 卒業研究

専	教授	<p>ナガシ ヒナタ 名達 英昭</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 児童学概論※ ネイチャー・ワーク 表現概論※ 保育内容の指導法 (造形表現) 考えて表現 (造形) 造形発達と表現 造形保育論 保育・教職実践演習※ 卒業研究</p>	専	教授	<p>ナガシ ヒナタ 名達 英昭</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 児童学概論※ ネイチャー・ワーク 表現概論※ 保育内容の指導法 (造形表現) <b>考えて表現 (造形)</b> 造形発達と表現 造形保育論 保育・教職実践演習※ 卒業研究 <b>造じて表現 (造形)</b></p>
専	教授	<p>ムカシ (和子) ミチ 向井 (木村) 美穂</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 児童学概論※ 保育・教育相談 発達臨床論 子ども家庭支援論 幼稚園教育実習総論 保育実習総論 I 保育実習 I (保育所) 保育実習 I (施設) 保育実習総論 II 保育実習 II 保育実習総論 III 保育実習 III 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究</p>	専	教授	<p>ムカシ (和子) ミチ 向井 (木村) 美穂</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール <b>児童学概論</b> 保育・教育相談 発達臨床論 子ども家庭支援論 幼稚園教育実習総論 保育実習総論 I 保育実習 I (保育所) 保育実習 I (施設) 保育実習総論 II 保育実習 II 保育実習総論 III 保育実習 III 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究</p>
専	教授	<p>ヤマダ マチ 山田 陽子</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境 キャリアデザイン入門 児童学概論※ 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 特別支援教育概論 障がい児保育 保育臨床学 人間関係と人間関係※ 保育内容の指導法 (人間関係) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論 I 保育実習 I (保育所) 保育実習 I (施設) 保育実習総論 II 保育実習 II 保育実習総論 III 保育実習 III 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究</p>	専	教授	<p>ヤマダ マチ 山田 陽子</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境 キャリアデザイン入門 児童学概論※ 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 特別支援教育概論 障がい児保育 保育臨床学 人間関係と人間関係※ 保育内容の指導法 (人間関係) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論 I 保育実習 I (保育所) 保育実習 I (施設) 保育実習総論 II 保育実習 II 保育実習総論 III 保育実習 III 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究</p>
専	准教授	<p>キナ シヅカ 樫 明愛</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 児童学概論※ 特別支援教育概論 障がい児保育 発達臨床論 子育てと環境 幼稚園教育実習総論 保育実習総論 I 保育実習 I (保育所) 保育実習 I (施設) 保育実習総論 II 保育実習 II 保育実習総論 III 保育実習 III 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究</p>	専	准教授	<p>キナ シヅカ 樫 明愛</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 児童学概論※ 特別支援教育概論 障がい児保育 発達臨床論 子育てと環境 幼稚園教育実習総論 保育実習総論 I 保育実習 I (保育所) 保育実習 I (施設) 保育実習総論 II 保育実習 II 保育実習総論 III 保育実習 III 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究</p>
専	准教授	<p>スズキ マチ 鈴木 晴子</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学実習 子ども家庭福祉 I 社会的養護 II 子育てと環境 発達臨床論 幼稚園教育実習総論 保育実習総論 I 保育実習 I (施設) 保育実習総論 II 保育実習総論 III 保育実習 III 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究</p>	専	准教授	<p>スズキ マチ 鈴木 晴子</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学実習 子ども家庭福祉 I 社会的養護 II 子育てと環境 発達臨床論 幼稚園教育実習総論 保育実習総論 I 保育実習 I (施設) 保育実習総論 II 保育実習総論 III 保育実習 III 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究</p>
専	准教授	<p>ツバサ マチ 曾野 麻紀</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 児童学概論※ 保育臨床学と遊び※ 人間理解と人間関係※ 保育内容の指導法 (環境) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論 I 保育実習 I (施設) 保育実習総論 II 保育実習総論 III 保育実習 III 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究</p>	専	准教授	<p>ツバサ マチ 曾野 麻紀</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 児童学概論※ 保育臨床学と遊び※ 人間理解と人間関係※ 保育内容の指導法 (環境) 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論 I 保育実習 I (施設) 保育実習総論 II 保育実習総論 III 保育実習 III 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究 <b>修習入門ゼミナール</b></p>
専	准教授	<p>ニシキ マチ 二宮 紀子</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 児童学概論※ 表現概論※ 保育内容の指導法 (音楽表現) 音楽表現基礎技能 音楽表現応用 幼児音楽論 保育・教職実践演習※ 卒業研究</p>	専	准教授	<p>ニシキ マチ 二宮 紀子</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 児童学概論※ 表現概論※ 保育内容の指導法 (音楽表現) 音楽表現基礎技能 音楽表現応用 幼児音楽論 保育・教職実践演習※ 卒業研究</p>

		ミヤノ アサ 宮野 周 ＜令和2年4月＞			
専	准教授	入門ゼミナール 児童学概論※ ネイチャー・ワーク 表現総論※ 保育内容の指導法（造形表現） 感じて表現（造形） 造形発達と表現 造形保育論 保育・教職実践演習※ 卒業研究			
専	准教授	ワザキ シンイチロウ 数崎 伸一郎 ＜令和2年4月＞	専	准教授	ワザキ シンイチロウ 数崎 伸一郎 ＜令和2年4月＞
		入門ゼミナール 児童学概論※ 表現総論※ 保育内容の指導法（音楽表現） 子どもと歌唱表現 音楽表現基礎技能 音楽表現応用 幼児音楽論 保育・教職実践演習※ 卒業研究			入門ゼミナール 児童学概論※ 表現総論※ 保育内容の指導法（音楽表現） 子どもと歌唱表現 音楽表現基礎技能 音楽表現応用 幼児音楽論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	准教授	コイ (ノリコ) コイ 横井 (原部) 絨子 ＜令和2年4月＞	専	准教授	コイ (ノリコ) コイ 横井 (原部) 絨子 ＜令和2年4月＞
		入門ゼミナール 児童学概論※ 児童学演習 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎実習 子どもの理解と援助 保育学 子どもの生活と遊び※ 保育内容総論 保育内容の指導法（音楽） 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究			入門ゼミナール 児童学概論※ 児童学演習 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎実習 子どもの理解と援助 保育学 子どもの生活と遊び※ 保育内容総論 保育内容の指導法（音楽） 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育インターンシップ 保育・教職実践演習※ 卒業研究
			専	講師	水島 コウジ 水島 充直 ＜令和2年4月＞ 入門ゼミナール
			専	講師	水島 コウジ 水島 充直 ＜令和2年4月＞ 入門ゼミナール 専任で表現（造形）
専	講師	マサハシ マチ 渡邊 幸枝 ＜令和2年4月＞	専	講師	マサハシ マチ 渡邊 幸枝 ＜令和2年4月＞
		入門ゼミナール 身体運動 身体運動Ⅱ 児童学概論※ 子どもの生活と遊び※ 表現総論※ 保育内容の指導法（身体表現） 子どもと身体表現※ 身体表現論 保育・教職実践演習※ 卒業研究			入門ゼミナール 身体運動 <del>身体運動Ⅱ</del> 児童学概論※ 子どもの生活と遊び※ 表現総論※ 保育内容の指導法（身体表現） 子どもと身体表現※ 身体表現論 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	助教	コトウキ マチ 近藤 有紀子 ＜令和2年4月＞	専	助教	コトウキ マチ 近藤 有紀子 ＜令和2年4月＞
		入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学演習 保育制度・保育政策論 保育実習論 人間理解と人間関係※ 保育内容の指導法（人間関係） 保育・教職実践演習※ 卒業研究			入門ゼミナール 子育てと環境 児童学概論※ 児童学演習 保育制度・保育政策論 保育実習論 人間理解と人間関係※ 保育内容の指導法（人間関係） 保育・教職実践演習※ 卒業研究
専	助教	コトウキ マチ 小松 ＜令和2年4月＞			
		幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 保育実習総論Ⅰ 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習総論Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習総論Ⅲ 保育実習Ⅲ 保育インターンシップ			
兼担	教授	マサハシ マチ 安達 一寿 ＜令和2年4月＞	兼担	教授	マサハシ マチ 安達 一寿 ＜令和2年4月＞
		コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習			コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習
兼担	教授	イノノ 道 飯田 路佳 ＜令和2年4月＞	兼担	教授	イノノ 道 飯田 路佳 ＜令和2年4月＞
		女性の心と身体 身体運動Ⅱ			女性の心と身体 身体運動Ⅱ
兼担	教授	イノノ シゲキ 池川 繁樹 ＜令和3年4月＞			
		地域と人間生活			

兼担	教授	ｲﾝﾀ ｲｼｺ 池間 星代子 <令和2年4月> 読書入門セミナー 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座	兼担	教授	ｲﾝﾀ ｲｼｺ 池間 星代子 <令和2年4月> <del>読書入門セミナー</del> 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb <del>海外語学研修</del> 中国語試験対策講座
		ｲﾝﾀ ｲｲｲ 石野 栄一 <令和2年4月> 地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成			ｲﾝﾀ ｲｲｲ 石野 栄一 <令和2年4月> <del>地域で学ぶ</del> 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
兼担	教授	材ｲ ｽｷ 大友 由紀子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン	兼担	教授	材ｲ ｽｷ 大友 由紀子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン
		材ｲ ｽｷ 大友 由紀子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン			材ｲ ｽｷ 大友 由紀子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン
兼担	教授	特ｲ ｲｼﾄ 片居木 英人 <令和2年4月> ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法	兼担	教授	特ｲ ｲｼﾄ 片居木 英人 <令和2年4月> ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法
		特ｲ ｺｸ 狩野 浩二 <令和2年4月> 読書入門セミナー 地域で学ぶ ひばり館の教育 教育学 <b>総合科目</b>			特ｲ ｺｸ 狩野 浩二 <令和2年4月> 読書入門セミナー 地域で学ぶ ひばり館の教育 教育学 <b>総合科目</b>
兼担	教授	特内 ｼﾝｲ 北原 優一 <令和2年4月> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	兼担	教授	特内 ｼﾝｲ 北原 優一 <令和2年4月> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
		ｺｸ (ｲ) ｲ 向後 (田中) 勝美 <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンスト・リスニング			ｺｸ (ｲ) ｲ 向後 (田中) 勝美 <令和2年4月> <del>コミュニケーション演習</del> <del>英語コミュニケーション応用</del> アドバンスト・リスニング
兼担	教授	特ｲ ｼﾌ 齋藤 忍 <令和3年4月> 人間理解ワークショップ	兼担	教授	
		特内 ｱ 佐藤 陽 <令和2年4月> ポランディア論			特内 ｱ 佐藤 陽 <令和2年4月> ポランディア論
兼担	教授	ｼﾗ (ｱ) ｺ 読美 (松尾) 優子 <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語Ⅰa 英語Ⅰb アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座	兼担	教授	ｼﾗ (ｱ) ｺ 読美 (松尾) 優子 <令和2年4月> <del>コミュニケーション演習</del> 英語Ⅰa 英語Ⅰb アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 <b>アドバンスト・リーディング</b>
		ｼﾗ ｸﾘ sheila Cliffe <令和2年4月> コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ピンネ英語			ｼﾗ ｸﾘ sheila Cliffe <令和2年4月> <del>コミュニケーション演習</del> <del>英語コミュニケーション基礎a</del> <del>英語コミュニケーション基礎b</del> <del>英語コミュニケーション発展a</del> <del>英語コミュニケーション発展b</del> <del>ピンネ英語</del> <b>英語Ⅰa</b> <b>英語Ⅰb</b> <b>アドバンスト・ライティング</b>
兼担	教授	特内 ｶ 高谷 和成 <令和3年4月> 地域と人間生活	兼担	教授	
		特内 ｱ 田倉 昭 <令和3年4月> キャリア基礎Ⅰ			特内 ｱ 田倉 昭 <令和3年4月> キャリア基礎Ⅰ

兼担	教授	<p>兼任 兼任 棚谷 祐一 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門セミナー キャリア基礎力Ⅱ</p>	兼担	教授	<p>兼任 兼任 棚谷 祐一 ＜令和2年4月＞</p> <p><del>読書入門セミナー</del> キャリア基礎力Ⅱ</p>
兼担	教授	<p>兼任 兼任 田総 恵子 ＜令和2年4月＞</p> <p>持続可能な社会</p>	兼担	教授	<p>兼任 兼任 田総 恵子 ＜令和2年4月＞</p> <p>持続可能な社会</p>
兼担	教授	<p>兼任 兼任 角田 真二 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門セミナー 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ</p>	兼担	教授	<p>兼任 兼任 角田 真二 ＜令和2年4月＞</p> <p><del>読書入門セミナー</del> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ</p>
			兼担	教授	<p>兼任 兼任 名倉 真子 ＜令和2年4月＞</p> <p>総合科目</p>
兼担	教授	<p>兼任 兼任 樋口 一貴 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門セミナー 芸術を眺めとる</p>	兼担	教授	<p>兼任 兼任 樋口 一貴 ＜令和2年4月＞</p> <p><del>読書入門セミナー</del> 芸術を眺めとる</p>
兼担	教授	<p>兼任 兼任 平田 智秋 ＜令和2年4月＞</p> <p>身体運動Ⅱ</p>	兼担	教授	<p>兼任 兼任 平田 智秋 ＜令和2年4月＞</p> <p>身体運動Ⅱ</p>
兼担	教授	<p>兼任 兼任 布施 晴美 ＜令和2年4月＞</p> <p>人間理解ワークショップ 女性の心と身体</p>	兼担	教授	<p>兼任 兼任 布施 晴美 ＜令和2年4月＞</p> <p>人間理解ワークショップ 女性の心と身体</p>
兼担	教授	<p>兼任 兼任 星野 敦子 ＜令和2年4月＞</p> <p>地域で学ぶ 教育方法</p>	兼担	教授	<p>兼任 兼任 星野 敦子 ＜令和2年4月＞</p> <p>地域で学ぶ 教育方法</p> <p>総合科目</p>
兼担	教授	<p>兼任 兼任 松岡 敬明 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習</p>	兼担	教授	<p>兼任 兼任 松岡 敬明 ＜令和2年4月＞</p> <p><del>コミュニケーション演習</del></p>
兼担	教授	<p>兼任 兼任 松永 修一 ＜令和2年4月＞</p> <p>人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成</p>	兼担	教授	<p>兼任 兼任 松永 修一 ＜令和2年4月＞</p> <p>人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成</p>
兼担	教授	<p>兼任 兼任 松本 晃子 ＜令和2年4月＞</p> <p>キャリアデザインとライフプラン</p>	兼担	教授	<p>兼任 兼任 松本 晃子 ＜令和2年4月＞</p> <p>キャリアデザインとライフプラン</p> <p>総合科目</p>
兼担	教授	<p>兼任 兼任 山本 悟 ＜令和2年4月＞</p> <p>身体運動Ⅱ</p>	兼担	教授	<p>兼任 兼任 山本 悟 ＜令和2年4月＞</p> <p>身体運動Ⅱ</p>
兼担	教授	<p>兼任 兼任 吉田 亨 ＜令和2年4月＞</p> <p>地域と人間生活 共生社会入門</p>	兼担	教授	<p>兼任 兼任 吉田 亨 ＜令和2年4月＞</p> <p>地域と人間生活 共生社会入門</p>
兼担	教授	<p>兼任 兼任 好本 恵 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門セミナー</p>	兼担	教授	<p>兼任 兼任 好本 恵 ＜令和2年4月＞</p> <p><del>読書入門セミナー</del></p>
兼担	教授	<p>兼任 兼任 綿井 雅康 ＜令和2年4月＞</p> <p>人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期</p>	兼担	教授	<p>兼任 兼任 綿井 雅康 ＜令和2年4月＞</p> <p>人間関係とコミュニケーション 総合科目 <del>自主社会活動</del> インターンシップ短期 インターンシップ長期</p>
			兼担	特任 教授	<p>兼任 兼任 竹之内 修 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習</p>
兼担	准教授	<p>兼任 (39年) 史 阿部 (神崎) 史 ＜令和2年4月＞</p> <p>リーガルリテラシー</p>			

兼担	准教授	774 柳井 桜子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	774 柳井 桜子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
			兼担	准教授	445 藤村 九昇 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	407 石川 敬史 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	407 石川 敬史 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
			兼担	准教授	407 (413) 石田 (今村) 有雄 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	374 落合 真裕 <令和2年4月> コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会	兼担	准教授	374 落合 真裕 <令和2年4月> コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会
兼担	准教授	367 梶野 涼子 <令和3年4月> 食の科学			
兼担	准教授	319 加藤 曉子 <令和3年4月> 課題解決ゼミナール			
兼担	准教授	319 加藤 亮介 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	319 加藤 亮介 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	307 川口 英俊 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法	兼担	准教授	307 川口 英俊 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法
兼担	准教授	303 久保田 葉子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	303 久保田 葉子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	264 古明地 夕佳 <令和3年4月> 地域と人間生活			
兼担	教授	241 杉元 葉子 <令和3年4月> 課題解決ゼミナール	兼担	教授	241 杉元 葉子 <令和2年4月> 総合科目
兼担	准教授	19 徳野 裕子 <令和2年4月> 女性と健康 食と発達	兼担	准教授	19 徳野 裕子 <令和2年4月> 女性と健康 食と発達
兼担	准教授	18 星野 祐子 <令和2年4月> 日本語検定対策講座	兼担	准教授	18 星野 祐子 <令和2年4月> 日本語検定対策講座 総合科目
			兼担	教授	774 福田 仁 <令和2年4月> 英語 I a 英語 I b
兼担	准教授	77 三橋 あさみ <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	77 三橋 あさみ <令和2年4月> 読書入門ゼミナール

兼担	講師	伊藤 朋亮 稲田 朋亮 <令和2年4月>	伊藤 朋亮 稲田 朋亮 <令和2年4月>
		総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E（医療・福祉専門） 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座（編入）※	
兼担	講師	加藤 優平 神田 優平 <令和2年4月>	加藤 優平 神田 優平 <令和2年4月>
		身体運動Ⅱ	身体運動Ⅱ 読書入門ゼミナール
兼担	講師	帆 暁雲 帆 暁雲 <令和2年4月>	帆 暁雲 帆 暁雲 <令和2年4月>
		読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb	
兼担	講師	鳥越 信吾 鳥越 信吾 <令和2年4月>	鳥越 信吾 鳥越 信吾 <令和2年4月>
		読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	
兼担	講師	新崎 良恵 新崎 良恵 <令和2年4月>	新崎 良恵 新崎 良恵 <令和2年4月>
		読書入門ゼミナール	
			野田 日出子 野田 日出子 <令和2年4月>
			読書入門ゼミナール
兼担	講師	見吉 英彦 見吉 英彦 <令和2年4月>	見吉 英彦 見吉 英彦 <令和2年4月>
		読書入門ゼミナール	
兼担	講師	山下 悠貴乃 山下 悠貴乃 <令和2年4月>	山下 悠貴乃 山下 悠貴乃 <令和2年4月>
		総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅲ 日本語集中講座（編入）※	
兼担	講師	香妻 真良 香妻 真良 <令和2年4月>	香妻 真良 香妻 真良 <令和2年4月>
		身体運動Ⅱ	
兼担	講師	渡辺 専夫 渡辺 専夫 <令和3年4月>	渡辺 専夫 渡辺 専夫 <令和2年4月>
		地域と人間生活	
兼担	助教	奥若 美映樹 奥若 美映樹 <令和3年4月>	
		地域と人間生活	
兼担	助教	嶋井 貴子 嶋井 貴子 <令和3年4月>	
		食と発達	
			教山 まき子 教山 まき子 <令和2年4月>
			TOEIC対策講座
兼任	講師	安達 宏之 安達 宏之 <令和2年4月>	安達 宏之 安達 宏之 <令和2年4月>
		多様性と倫理 くらしのなかの日本国憲法	
兼任	講師	市川 節子 市川 節子 <令和2年4月>	市川 節子 市川 節子 <令和2年4月>
		音楽表現基礎技能 音楽表現応用	
兼任	講師	黒原 淳 黒原 淳 <令和2年4月>	黒原 淳 黒原 淳 <令和2年4月>
		身体運動Ⅱ	





			兼任 講師 中園 隆史 中国語 I a 中国語 I b ＜令和2年4月＞
			兼任 講師 高橋 典代 ＜令和2年4月＞ 身体運動 I
兼任 講師	中島 紀子 ＜令和2年4月＞ 日本語研究 F (人文科学)	兼任 講師	中島 紀子 ＜令和2年4月＞ 日本語研究 F (人文科学)
			兼任 講師 長瀬 隆一 ＜令和2年4月＞ 新課程 I a 新課程 I b
兼任 講師	名見 厚 ＜令和2年4月＞ 情報処理演習 I 情報処理演習 II	兼任 講師	名見 厚 ＜令和2年4月＞ 情報処理演習 I 情報処理演習 II
			兼任 講師 仁科 幸 ＜令和2年4月＞ 身体運動 I
兼任 講師	二宮 穂 ＜令和3年4月＞ 子どもと自然		
兼任 講師	橋本 千鶴 ＜令和2年4月＞ 言語文化表現	兼任 講師	橋本 千鶴 ＜令和2年4月＞ 言語文化表現
兼任 講師	浜野 聡子 ＜令和2年4月＞ 音楽表現基礎技能 音楽表現応用	兼任 講師	浜野 聡子 ＜令和2年4月＞ 音楽表現基礎技能 音楽表現応用
兼任 講師	深澤 進 ＜令和2年4月＞ ネットワーク社会	兼任 講師	深澤 進 ＜令和2年4月＞ ネットワーク社会
兼任 講師	藤生 栄一郎 ＜令和2年4月＞ 身体運動 I 身体運動 II	兼任 講師	藤生 栄一郎 ＜令和2年4月＞ 身体運動 I 身体運動 II
			兼任 講師 船島 進次 ＜令和2年4月＞ 総合科目
			兼任 講師 増田 未来 ＜令和2年4月＞ 身体運動 I
			兼任 講師 増茂 和男 ＜令和2年4月＞ フランス語 I a フランス語 I b
兼任 講師	Mabesoon Laurent ＜令和2年4月＞ フランス語 I a フランス語 I b		
兼任 講師	宮崎 順子 ＜令和3年4月＞ インターネット英語		
兼任 講師	宮本 正治 ＜令和2年4月＞ アドバンスト・ライティング アドバンスト・ライティング メディア英語	兼任 講師	宮本 正治 ＜令和2年4月＞ アドバンスト・ライティング アドバンスト・ライティング メディア英語 英語 I a 英語 I b
			兼任 講師 藤川 賢成 ＜令和2年4月＞ 英語 I a 英語 I b

兼任	講師	矢澤 美佐紀 ＜令和3年4月＞ 歴史のなかの女性			
兼任	講師	安恒 佳代子 ＜令和2年4月＞ 日本語研究C（ビジネスⅠ） 日本語研究D（ビジネスⅡ）	兼任	講師	安恒 佳代子 ＜令和2年4月＞ 日本語研究C（ビジネスⅠ） 日本語研究D（ビジネスⅡ）
兼任	講師	矢部 尚子 ＜令和2年4月＞ 音楽表現基礎技能 音楽表現応用	兼任	講師	矢部 尚子 ＜令和2年4月＞ 音楽表現基礎技能 音楽表現応用
			兼任	講師	山賀 美典 ＜令和2年4月＞ 音楽表現基礎技能
兼任	講師	大和 洋子 ＜令和4年4月＞ 多文化保育論			
兼任	講師	山本 賢二 ＜令和2年4月＞ 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb			
兼任	講師	吉岡 晶子 ＜令和2年4月＞ 言語文化表現	兼任	講師	吉岡 晶子 ＜令和2年4月＞ 言語文化表現

（注）

- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

【新規・退職・新規担当】

- 宮野 周准教授の退職に伴い、入門ゼミナールは、金 允貞講師、水島 ゆめ講師を採用。
- 児童学概論※は、別教員が担当。感じて表現(造形)の担当として、名達 英詔教授を採用。
- 呂 小龍助教の退職に伴い、幼稚園教育実習総論、幼稚園教育実習、保育実習総論Ⅰ、保育実習Ⅰ(保育所)、保育実習Ⅰ(施設)、保育実習総論Ⅱ、保育実習Ⅱ、保育実習総論Ⅲ、保育実習Ⅲ、保育インターンシップ(R3年度開講)の担当として後任選定中。
- 齋藤 忍教授の退職に伴い、人間理解ワークショップ(R3年度開講)の担当として後任選定中。
- 阿部 史准教授の退職に伴い、リーガルリテラシーの担当として、川口 かすみ講師を採用。
- 加藤 暁子准教授の退職に伴い、課題解決ゼミナール(R3年度開講)の担当として後任選定中。
- Mabesoone Laurent講師の退職に伴いフランス語Ⅰa、フランス語Ⅰbの担当として、増茂 和男講師を採用。
- 山本 賢二講師の辞任に伴い、中国語Ⅰa、中国語Ⅰbの担当として、時松 史子講師を採用。
- 考えて表現(造形)の担当として、水島 ゆめ講師を採用。名達 英詔教授削除。
- 教育効果充実を図る為、読書入門ゼミナールの担当として、飯村 九林准教授、石田(今村)有理准教授、曾野 麻紀准教授、野田 日出子講師を採用。
- 女性の心と身体(造形)の担当として、金子 和正講師を採用。飯田 路佳教授、布施 晴美教授を削除。
- コマ数追加による総合科目の新規担当追加として、石山 隆之教授、名倉 秀子教授、土井 善晴講師、船曳 建夫講師を採用。
- コマ数追加による身体運動Ⅱの新規担当追加として、石山 隆之教授、蓬郷 尚代講師、仁科 幸晴講師を採用。
- 風間 文明教授は、綿井 雅康教授のコマ数調整のため新規担当として採用。自主社会活動
- コミュニケーション演習の担当として、竹之内 修特任教授を採用。
- 教育効果充実を図る為、英語Ⅰa、英語Ⅰbの担当として、福田 仁教授、森川 智成講師を採用。
- 日本語能力試験対策講座Ⅰ、日本語能力試験対策講座Ⅱの担当として、小笠原 典子講師を採用。福田 朋晃講師削除。
- 教育効果充実を図る為、TOEIC対策講座の担当として、秋山 まき子講師が採用。
- 音楽表現基礎技能の担当として、山賀 英美講師を新規採用。加倉井 佳世子講師は削除。
- 教育効果充実を図る為、女性と健康の新規担当追加として、齋藤 麗子講師を採用。
- 朝鮮語Ⅰa、朝鮮語Ⅰbの担当として、長渡 陽一講師を採用。チョ ヒ講師は削除。
- コマ数追加による身体運動Ⅰの新規担当追加として、増田 未来講師を採用。

【複数担当による持ち回り授業による担当変更】

- 桶田 ゆかり教授は、児童学概論※ 今年度担当なし。
- 加藤 則子教授は、児童学概論※ 今年度担当なし。
- 上垣内 伸子教授は、児童学概論※ 今年度担当なし。
- 向井(木村)美穂教授は、児童学概論※ 今年度担当なし。
- 安達 一寿教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- 池間 里代子教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 設楽(松尾)優子教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- sheila Cliffe教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- 棚谷 祐一教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 角田 真二教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 樋口 一貴教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 松岡 敬明教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- 好本 恵教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 綾井 桜子准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 石川 敬史准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 落合 真裕准教授は、コミュニケーション演習、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 加藤 亮介准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 川口 英俊准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。くらしのなかの日本国憲法 今年度本学科では、担当なし。
- 久保田 葉子准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 三藤 あさみ准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 見吉 英彦講師は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 安達 宏之講師は、くらしのなかの日本国憲法 今年度本学科では、担当なし。
- 名児耶 厚講師(削除)情報処理演習Ⅱ 今年度本学科では、担当なし。

【科目配当上の都合による変更】

- 渡邊 孝枝講師の身体運動Ⅱは、別教員が担当。
- 池間 里代子教授 海外語学研修は、新型コロナウイルス感染症の影響のため未開講。
- 石野 榮一教授の地域で学ぶは、別教員が担当。
- 狩野 浩二教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 向後(田中)朋美教授 英語コミュニケーション応用は、配当調整により、今年度未開講。
- sheila Cliffe教授 新規担当 英語Ⅰa、英語Ⅰb、アドバンスライティング
- 星野 敦子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 松本 晃子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 綿井 雅康教授の総合科目は、コマ数調整のため、今年度担当なし。
- 杉元 葉子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 星野 祐子准教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 福田 朋晃講師から山下 悠貴乃講師へ担当変更 日本語表現技術Ⅱ
- 福田 朋晃講師 新規担当 総合日本語Ⅰb
- 山下 悠貴乃講師から福田 朋晃講師へ担当変更。日本語表現技術Ⅲ
- 加藤 薫講師から福田 朋晃講師、山下 悠貴乃講師へ担当変更。日本語研究A(時事Ⅰ)
- 神田 俊平講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- 仇 暁芸講師 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 新嶋 良恵講師 新規担当 グローバル社会
- 渡辺 章夫講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- 榊原 理枝子講師の英語Ⅰa、英語Ⅰbは、別教員が担当。
- 谷 洋子講師 新規担当 TOEIC対策講座
- 宮本 正治講師 新規担当 英語Ⅰa、英語Ⅰb
- 宮本 正治講師から設楽(松尾)優子教授へ担当変更。アドバンスリーディング応用

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A/C教員審査)を受けてください。**A/C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(A/C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
9 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	7	1	2	20	0	10	6	3	1	20	0
(10)	(6)	(3)	(1)	(20)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	6	3	1	20	0	10	7	1	2	20	0
[0]	[△1]	[2]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	2 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{20}{20} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{20} = \boxed{10} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率（該当なし）

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	宮野 周	2020/3/31	必修	入門ゼミナール	①	R2.3.31退職のため就任辞退		
				必修	児童学概論	①			
				必修	ネイチャー・ワーク	①			
				必修	表現総論	①			
				選択	保育内容の指導法（造形表現）	①			
				必修	感じて表現（造形）	①			
				選択	造形発達と表現	①			
				選択	造形保育論	①			
				選択	保育・教職実践演習	①			
				必修	卒業研究	①			
2	助教	呂 小転	2020/3/31	選択	幼稚園教育実習総論	①	R2.3.31退職のため就任辞退		
				選択	幼稚園教育実習	①			
				選択	保育実習総論Ⅰ	①			
				選択	保育実習Ⅰ（保育所）	①			
				選択	保育実習Ⅰ（施設）	①			
				選択	保育実習総論Ⅱ	①			
				選択	保育実習Ⅱ	①			
				選択	保育実習総論Ⅲ	①			
				選択	保育実習Ⅲ	①			
				選択	保育インターンシップ	①			
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	14 科目	選択	14 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	20 科目	計	20 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	14 科目	選択	14 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	20 科目	計	20 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) 一④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{20} = \boxed{10} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 (該当なし)

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職の申出に対しては他の専任教員の配当若しくは兼任講師の採用により、教育課程の進行に支障が無いよう配慮している。学生に対しては大学HP上に時間割・担当変更一覧を掲載し、周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	<p>完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 (教育人文学部幼児教育学科)</p>	<p>遵守事項</p> <p>本学の就業規則では、「学園業務の遂行上特に必要と認められた職員については、定年を延長することができ」とされている。学年進行中に定年を迎える専任教員については、教育の継続性及び質の担保の観点からも本規則により定年を延長し、定年延長にあたっては必要な手続きを経ている。完成年度以降については、教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>	<p>履行中</p> <p>今後も教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。





## 7 その他全般的事項

### <教育人文学部 幼児教育学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
各科目の運営	令和2年度当初の授業期間については、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、学修時間を確保するとともに授業期間について弾力的に取り扱っている。また、遠隔授業、授業内に課すものに相当する課題研究等を活用して実施している。(2)

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

十文字学園女子大学全学委員会通則規程（別添資料1）に定められた全学委員会として、全学FD委員会を設置している。

全学FD委員会の構成は、委員長は学長または学長が指名する教職員とし、(1)学長、(2)専任教員2名、(3)大学院のFD委員会において選出された者1名、(4)その他委員長が必要と認めた者で構成しているが、活動の活性化及び各教員の理解を深めるため、②及び③の選出については各学科から1名を選出している。

令和元年度は研究担当副学長が委員長を務め、事務局の担当者を含め計16名（教員11名、職員5名）で運営された。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和元年度は全4回開催した。

第1回	令和元年5月30日（木）	教員出席者	10人
第2回	令和元年6月26日（木）	教員出席者	8人
第3回	令和元年9月26日（木）	教員出席者	9人
第4回	令和元年11月14日（木）	教員出席者	8人

###### c 委員会の審議事項等

十文字学園女子大学全学委員会通則規程により、全学FD委員会は次の事項を審議し、必要な事項を処理している。

- (1) FDに係る研修会等の実施に関する事項
- (2) 大学、大学院が行うFDに係る活動の連絡・調整に関する事項
- (3) 授業評価等FDに係る調査、研究に関する事項
- (4) その他本学のFDに関する事項

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

全学FD委員会が令和元年度に実施したFD活動は以下の通り。

- (1) 授業アンケート
- (2) 授業に関する学生・教員交流会
- (3) 授業公開
- (4) 研修会
- (5) FD報告書の作成

を実施した。

## b 実施方法

### (1) 授業アンケート

原則、前期後期ともに第13回目の授業を目的に、学生による授業アンケートを実施した。また、アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークに公開している。

### (2) 授業に関する学生・教員交流会

令和2年1月9日（木）に、9学科（全学科）より学生を選出し、FD委員を中心とする教員との交流会を開催した。

### (3) 授業公開

令和2年11月11日（月）～22日（金）にかけて、原則、後期に開講した全ての授業について、授業公開を行った。

### (4) 研修会

令和元年11月21日（木）に、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」についての教職員対象のFD（SD）研修会を実施した。

### (5) FD報告書の作成

令和2年に「令和元年度FD報告書」の刊行する。

## c 開催状況（教員の参加状況含む）

### (1) 授業アンケート

- ・令和元年度は、前期は7月10日（月）～8月12日（月）、後期は12月11日（水）～2月4日（火）にアンケート実施期間を設定した（両学期とも集中講義科目及び非常勤講師を含む。）。
- ・実施対象者は前期231名、後期220名、実施率は前期95.7%、後期92.3%であった。
- ・アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークで公開することで学生へのフィードバックを行っているが、コメント提出率は、前期81.4%、後期79.3%であった。前期分のコメントは、令和元年9月30日に公開済みである。（後期分は現在、保留中）

### (2) 授業に関する学生・教員交流会

- ・9学科（全学科）から選出した代表学生及び留学生25名と、FD委員を含む教員10名が参加した。
- ・参加者を5グループに分け、授業アンケート及び事前に意見を求めたトークテーマについてミーティングとグループ発表を行った。

### (3) 授業公開

- ・授業公開の期間を各学科1週間、見学期間を2週間とした。公開時期を1週間とすることで公開側の負担を軽減し、見学側の選択肢はこれまで通り確保（同学科でも他学科でも見学可能と）した。
- ・見学者は、57名（教員48名、職員9名）であった。また、見学者には見学記録の提出を義務付けた。

### (4) 研修会

- ・外部講師1名を招き、2名の学内教員のコーディネートにより、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」をテーマに、教学マネジメントの基本、本質的な問いの追究、カリキュラムの意図を反映させる工夫、カリキュラムの編成・実施・評価・改善のポイントについての研修会を行った。参加者は118名（教員86名、職員32名）であった。

### (5) FD報告書の作成

令和2年9月以降に「令和元年度FD報告書」の刊行を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学では、授業の質的改善・向上を目的として、継続的に「学生による授業アンケート」を実施しており、その結果は、学内ネットワーク上で公開し学生にフィードバックしている。アンケート結果に対するコメントや自由記述に対して回答することにより、各教員が今後の改善点を明らかにしている。

また、研修会「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」のように、FD委員会が研修会を企画し、授業改善への働きかけを行っている。

平成23年度より、全学委員会通則規程に基づき設置された教員評価委員会のもと、教員評価規程（別添資料2）に則って、教育、研究、社会活動、学務の4領域を対象として教員評価を実施している。各教員の個人努力を喚起し、授業改善はもとより、教員の資質の維持向上を図るよう取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前述の通り

前述の通り

b 教員や学生への公開状況、方法等

前述の通り

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、継続的に教育体制改革を行っており、今回の改組は第三次教育体制改革として、第一次及び第二次の成果を踏まえつつ、①学部体制の改編、②新たな教育課程を修了し卒業した学生が、社会のなかで生涯にわたり活躍していくことを想定した教育内容の構築、③既存学科の強化及び本学の伝統を活かしつつ学生募集において可能性のある新たな領域（学科）の立ち上げ、④適切な定員設定、について検討を重ねてきた。学部体制については、本学が培ってきた教育研究上の領域をより明確にし、かつ、地域社会における諸課題の探求と解決に向けて、人々との連携や多職種での協働を基盤としつつ、それぞれが培ってきた専門性を発揮しうる人材を養成するために、より有効な体制と判断し、3学部へ再編成することを決定した。そして、令和2年度に①1学部体制を3学部体制（人間生活学部、教育人文学部、社会情報デザイン学部）へ再編成する、②入学定員を適正に設定変更する、③食の領域での発展拡大のために食品開発学科を新設する、④生活情報学科とメディアコミュニケーション学科を発展的に解消して、社会学を基盤とした社会情報デザイン学科を設置する、こととして、平成31年4月に届出を行い、令和2年4月にスタートを切った。

改組初年度である令和2年度入試において、新たな学部学科体制のPRと定員設定の見直しに成果が出て、旧体制下において定員割れが続いていた学科についても充足する運びとなった。ただ、文芸文化学科及び社会情報デザイン学科については歩留まりの読み違いから入学定員超過率が1.3を超えてしまった。両学科については、令和3年度入試に向け、超過是正を念頭におきつつ、本年度の傾向なども鑑み入試選抜に取り組む予定である。一方で、新設学科である食品開発学科について、定員40名に対し入学者31名と唯一、定員割れとなってしまったが、募集・広報戦略の見直しとともに、定員確保に努めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

・自己点検・評価委員会の編纂による報告書を毎年作成。

- a 公表（予定）時期
  - ・令和2年11月までに公表予定。
- b 公表方法
  - ・大学ホームページ上に公開予定

- ③ 認証評価を受ける計画
- ・令和3年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他（ ） ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 十文字学園

## (2) 大学名

十文字学園女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒352-8510  
埼玉県新座市菅沢2-1-28

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ジュウモンジ カズオ) 十文字 一夫 (昭和62年5月)		
学長	(シムラ フミオ) 志村 二三夫 (平成29年4月)		
副学長 兼 学長補佐	(ワタイ マサヤス) 綿井 雅康 (平成29年4月)		
副学長	(アダチ カズヒサ) 安達 一寿 (平成31年4月)		
	(オノ ユウジロウ) 小野 裕次郎 (平成31年4月)		
	(ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		
学部長 兼 学科長	【人間生活学部】 <人間福祉学科> (ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		

学部長 兼 学科長	【教育人文学部】 <幼児教育学科> (ヤマダ ヨウコ) 山田 陽子 (令和2年4月)		
	【社会情報デザイン学部】 <社会情報デザイン学部> (ナカヤマ シゲオ ) 中山 成夫 (令和2年4月)		
学科長	<健康栄養学科> (キムラ ヤスコ) 木村 靖子 (令和2年4月)		
学科長	<食物栄養学科> (イワモト タマミ) 岩本 珠美 (令和2年4月)		
学科長	<食品開発学科> (コバヤシ ミチコ) 小林 三智子 (令和2年4月)		
学科長	<児童教育学科> (トミヤマ テツヤ) 富山 哲也 (令和2年4月)		
学科長	<心理学科> (フセ ハルミ) 布施 晴美 (令和2年4月)		
学科長	<文芸文化学科> (コバヤシ ミノル) 小林 実 (令和2年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育人文学部 児童教育学科 学士（教育学）	教育学・保育学関係	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	80 (—) [若干名]	—	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	1.08 倍	— 倍	
志願者数	200 (—) [0]	— (—) [—]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
受験者数	189 (—) [0]	— (—) [—]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
合格者数	174 (—) [0]	— (—) [—]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
B 入学者数	87 (—) [0]	— (—) [—]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.08												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	87 [ 0 ] ( - )	— [ — ] ( - )									
2年次	/										
3年次	/		/								
4年次	/		/		/						
計	87 [ 0 ] ( - )										

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。



(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	87人	0人	令和2年度	0人	0人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		0人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{87} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



## 2 授業科目の概要

<教育人文学部 児童教育学科>

### (1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	ゼミナール	入門ゼミナール コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール 課題解決ゼミナール 総合ゼミナール	1前 1前・後 1・2・3・4後 2・3前・後 3・4前・後	2 1 2 2 2	5 2 1 1 2	2 2 3 2 2					4 4 13 2 2
	総合	地域で学ぶ 地域と人間生活 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 総合科目 自主社会活動	1・2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3・4後 2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 1	2 2 1 1 2						1 6 2 3 1 2
	女性を生きる	キャリアデザインとライフプラン リーガルリテラシー ジェンダーリテラシー 子育てと環境 女性と健康 女性の心と身体 食の科学 歴史のなかの女性 芸術を読みとる	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1・2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2							2 1 1 4 2 2 1 1 1
	社会に生きる	グローバル社会 ネットワーク社会 共生社会入門 多様性と倫理 持続可能な社会 くらしのなかの日本国憲法 ボランティア論 災害と社会 21世紀型の教育	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2							1 1 1 1 1 3 1 1 1
	体育健	身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ	1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1	1 1						11
	処情報	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1・2・3・4後	1 1							2 2
	外国語(基礎科目)	英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb 海外語学研修	1前 1後 2・3・4前 2・3・4後 1前 1後 2・3・4前 2・3・4後 1前 1後 1前 1後 1・2・3・4前	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	ゼミナール	入門ゼミナール コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール 課題解決ゼミナール 総合ゼミナール	1前 1前 1・2・3・4後 2・3前・後 3・4前・後	2 1 2 2 2	12 1 1 1 2	3 3 0 2					1 9 2 2 0
	総合	地域で学ぶ 地域と人間生活 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 総合科目 自主社会活動	1・2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3・4後 2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 1	2 2 1 2						6 2 3 8 2
	女性を生きる	キャリアデザインとライフプラン リーガルリテラシー ジェンダーリテラシー 子育てと環境 女性と健康 女性の心と身体 食の科学 歴史のなかの女性 芸術を読みとる	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1・2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2							2 1 1 4 2 2 1 1 1
	社会に生きる	グローバル社会 ネットワーク社会 共生社会入門 多様性と倫理 持続可能な社会 くらしのなかの日本国憲法 ボランティア論 災害と社会 21世紀型の教育	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1・2・3前 1・2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2							2 1 1 1 1 1 1 1 1
	体育健	身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ	1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1	1 1						14
	処情報	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1・2・3・4後	1 1							2 1
	外国語(基礎科目)	英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb 海外語学研修(未開講)	1前 1後 2・3・4前 2・3・4後 1前 1後 2・3・4前 2・3・4後 1前 1後 1前 1後 1・2・3・4前	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 0						3 3 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語目的別科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前	1								1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後	1								1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前	1								1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後	1								1
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後	2			1					
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後	2			2					
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後	2							2	
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後	2							1	
	ビジネス英語	2・3・4後	2							1	
	映画・ドラマ英語	2・3・4後	2			1					
	インターネット英語	2・3・4後	2							1	
	メディア英語	2・3・4前	2							1	
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後	2			1					2
中国語試験対策講座	1・2・3・4前	2							1		
日本語検定対策講座	1・2・3・4前・後	2							1		
共通科目 日本語（非母語者向）	総合日本語Ⅰa	1前	1								1
	総合日本語Ⅰb	1後	1								2
	総合日本語Ⅱa	2前	1								1
	総合日本語Ⅱb	2後	1								1
	総合日本語Ⅲa	3・4前	1								1
	総合日本語Ⅲb	3・4後	1								1
	日本語表現技術Ⅰ	1・2・3・4前	1							1	
	日本語表現技術Ⅱ	1・2・3・4後	1							1	
	日本語表現技術Ⅲ	1・2・3・4前	1							1	
	日本語表現技術Ⅳ	1・2・3・4後	1							1	
	日本語研究A（時事Ⅰ）	1・2・3・4前	1							1	2
	日本語研究B（時事Ⅱ）	1・2・3・4後	1							1	
	日本語研究C（ビジネスⅠ）	1・2・3・4前	1							1	
	日本語研究D（ビジネスⅡ）	1・2・3・4後	1							1	
	日本語研究E（医療・福祉専門）	1・2・3・4前	1							1	
	日本語研究F（人文科学）	1・2・3・4後	1							1	
	日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前	1							1	
日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後	1							1		
日本語集中講座（編入）	1・2・3・4前	1							2		
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1					
	キャリアロールモデル研究	2後	2							1	
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2							2	
	プロアクティブ人材育成	2後	2							2	
	キャリアサポート演習	3通	2							1	
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前	2							2	
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後	2							1	
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1							1	
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2							1	
小計（89科目）	-	8	127	0	7	3				70	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語目的別科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前	1								1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後	1								1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前	1								1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後	1								1
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後	2			1					
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後	2			2					
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後	2						1		2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後	2							1	
	ビジネス英語	2・3・4後	2							1	
	映画・ドラマ英語	2・3・4後	2			1					
	インターネット英語	2・3・4後	2							1	
	メディア英語	2・3・4前	2							1	
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後	2			1					2
中国語試験対策講座	1・2・3・4前	2							1		
日本語検定対策講座	1・2・3・4前	2							1		
共通科目 日本語（非母語者向）	総合日本語Ⅰa	1前	1								1
	総合日本語Ⅰb	1後	1								2
	総合日本語Ⅱa	2前	1								1
	総合日本語Ⅱb	2後	1								1
	総合日本語Ⅲa	3・4前	1								1
	総合日本語Ⅲb	3・4後	1								1
	日本語表現技術Ⅰ	1・2・3・4前	1							1	
	日本語表現技術Ⅱ	1・2・3・4後	1							1	
	日本語表現技術Ⅲ	1・2・3・4前	1							1	
	日本語表現技術Ⅳ	1・2・3・4後	1							1	
	日本語研究A（時事Ⅰ）	1・2・3・4前	1							1	2
	日本語研究B（時事Ⅱ）	1・2・3・4後	1							1	
	日本語研究C（ビジネスⅠ）	1・2・3・4前	1							1	
	日本語研究D（ビジネスⅡ）	1・2・3・4後	1							1	
	日本語研究E（医療・福祉専門）	1・2・3・4前	1							1	
	日本語研究F（人文科学）	1・2・3・4後	1							1	
	日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前	1							1	
日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後	1							1		
日本語集中講座（編入）	1・2・3・4前	1							2		
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1					
	キャリアロールモデル研究	2後	2							1	
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2							2	
	プロアクティブ人材育成	2後	2							2	
	キャリアサポート演習	3通	2							1	
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前	2							2	
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後	2							1	
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1							1	
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2							1	
小計（89科目）	-	8	127	0	13	3				78	

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担							
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手								
専 門 科 目	初等教育教員養成分野	教科及び教科の指導法に関する科目	国語	2			1											
			社会	2				1										
			算数	2			1											
			理科	2			1											
			生活	2			1											
			音楽	2			1											
			図画工作	2								1						
			家庭	2								1						
			体育	2				1										
			外国語(英語)	2			2						1					
			初等国語科教育	2				1										
			初等算数科教育	2				1										
			初等理科教育	2				1										
			初等体育科教育	3				1										
			初等音楽科教育	3				1										
			初等図画工作科教育	2								1						
初等社会科教育	2					1												
初等生活科教育	2				1													
初等家庭科教育	3									1								
初等英語科教育	3				2					1								
教材研究A	2			1	2													
教材研究B	2			1	1	1												
授業研究A	3			1	2													
授業研究B	3			1	1	1												
専 門 科 目	初等教育教員養成分野	教育の基礎的理解に関する科目	教育学概論A	2			1											
			教職入門A	2			1					1						
			学校制度論A	2			1											
			教育心理学A	2								1						
			特別な教育的ニーズの理解と支援A	2			2											
			教育課程論A	2			1											
			専 門 科 目	初等教育教員養成分野	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育的な学習の時間等に関する科目	道徳教育A	2			1								
						総合的な学習の時間の授業づくりA	2			1	1							
						特別活動A	2			2					1			
						教育方法A	2			1					1			
						生徒指導・進路指導A	2			1					1			
						教育相談A	2								1			
						幼児理解の理論と方法	2			2					1			
						専 門 科 目	特別支援教育分野	特別支援教育に関する科目	特別支援学校教育概論	2			1					
									知的障害教育概論	2			2					
									肢体不自由教育概論	2								1
病弱教育概論	2														1			
視覚障害教育概論	3														1			
聴覚障害教育概論	3														1			
重複障害教育概論	3									2	1				1			
特別支援教育指導法	2								1	1								
知的障害教育課程論	2									1								
肢体不自由教育課程論	3											1						
病弱教育課程論	3											1						
知的障害の心理・生理・病理	1			2					1			0	1					
肢体不自由の心理・生理・病理	1			2					1			0	2					
病弱の心理・生理・病理	1			2					1			0	1					

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学校実地研究分野	教育実習事前事後指導	3通		2		2	3					1	
	教育実習	4前		4		10	4						
	教職実践演習(幼・小・中・高)	4後		2		4	1						
	幼稚園教育実習(事前事後指導含む)	3後		2		10	4					1	
	特別支援学校教育実習(事前事後指導含む)	4通		3		10	4					1	
	教育実習Ⅰ	4通		1		10	4					1	
	教育実習Ⅱ	4通		2		10	4					1	
	教育実習Ⅲ	4通		2		10	4					1	
	学校教員実力養成分野	表現活動(基礎)	1前		1		1	1					
		表現活動(応用)	1後		1		1	1					
教職基礎演習		1後		1		2	2						
教職発展演習		2通		2		10	4					1	
教職応用演習		4前		1		10	4					1	
学習指導と学校図書館		2前		2								1	
学級経営と道徳教育		3後		2			1						
外国語活動		3後		2								1	
書写・文章表現演習(基礎)		1後		1		1	1						
書写・文章表現演習(応用)		2後		1		1	1					2	
専門科	幼児と健康	1・2前		2		2	1					2	
	幼児と人間関係	1・2前		2		2						1	
	幼児と環境	1・2前		2		2	1						
	幼児と言葉	1・2後		2		2	1						
	幼児と表現	1・2後		2		2		1				1	
	保育内容総論	1後		2		2						1	
	保育内容の指導法(環境)	2・3前		2		2						1	
	保育内容の指導法(人間関係)	2・3前		2		2						1	
	保育内容の指導法(言葉)	2・3前		2		2	1					1	
	保育内容の指導法(健康)	2・3後		2		2	1					1	
保育内容の指導法(表現)	3前		2		2	1	1				1		
中等教育教員養成(外国語)分野	英語Ⅲ	2・3・4前		2		2	1						
	英語Ⅳ	2・3・4後		2		2	1						
	アドバンスト・リスニング応用	1・2・3・4後		2		2	2						
	アドバンスト・リーディング応用	1・2・3・4後		2		2						2	
	アドバンスト・ライティング応用	1・2・3・4後		2		2						1	
	中級ビジネス英語	2・3・4後		2		2						1	
	中級映画・ドラマ英語	2・3・4後		2		2	1						
	中級インターネット英語	2・3・4後		2		2						1	
	中級メディア英語	2・3・4前		2		2						1	
	Oral English I a	2・3・4前		1		1						1	
Oral English I b	2・3・4後		1		1						1		
Oral English II a	3・4前		1		1						1		
Oral English II b	3・4後		1		1						1		
英語学に関する科目	英語科教育法Ⅰ	2前		2		2	1					1	
	英語科教育法Ⅱ	2後		2		2	1					1	
	英語科教育法Ⅲ	3前		2		2	1					1	
	英語科教育法Ⅳ	3後		2		2	1					1	
	ことばのしくみ	1・2・3前		2		2	1						
	英語学	1・2・3後		2		2	1						
	英語音声学Ⅰ(子音と母音)	1・2・3前		2		2	1						
	英語音声学Ⅱ(発話実践)	1・2・3後		2		2	1						
	ことばへの気づきワークショップ	1・2・3後		2		2	2						

専門科目	中等教育教員養成 (外国語)分野	英語文学に 関する科目	英米文学の流れ	1・2・3前	2															2	
		異文化理解に 関する科目	英米小説と女性	1・2・3後	2																2
	演習	卒業研究ゼミナール	3通	2			10	4													
		卒業研究	4通	4			10	4													
	小計(108科目)			-	59	152	10	4													
合計(197科目)			-	67	279	0	10	4													93
卒業要件及び履修方法																					
<p>共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。</p> <p>専門科目から、必修科目29科目59単位を含めた90単位以上を修得すること。</p> <p>その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。</p> <p>合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。</p>																					

専門科目	中等教育教員養成 (外国語)分野	英語文学に 関する科目	英米文学の流れ	1・2・3前	2																2	
		異文化理解に 関する科目	英米小説と女性	1・2・3後	2																	2
	演習	卒業研究ゼミナール	3通	2			10	4														
		卒業研究	4通	4			10	4														
	小計(112科目)			-	59	152	0	13	4													
合計(201科目)			-	67	279	0	13	4														115
卒業要件及び履修方法																						
<p>共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。</p> <p>専門科目から、必修科目29科目59単位を含めた90単位以上を修得すること。</p> <p>その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。</p> <p>合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。</p>																						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和2年度】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授5」「准教授2」から「教授12」「准教授3」に変更。</li> <li>・担当教員変更により、「コミュニケーション演習」の教員配置を、「教授2」から「教授1」「兼任・兼任1」に変更。教育効果を考慮し、「コミュニケーション演習」の配当年次を、「1前・後」から「1前」に変更。</li> <li>・担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「教授1」「准教授3」「兼任・兼任13」から「教授1」「兼任・兼任9」に変更。</li> <li>・担当教員変更により、「地域で学ぶ」の教員配置を、「教授2」「兼任・兼任1」から「教授2」に変更。</li> <li>・開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「教授2」「兼任・兼任8」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「女性と健康」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「グローバル社会」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。</li> <li>・担当教員変更により、「くらしのなかの日本国憲法」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「くらしのなかの日本国憲法」の配当年次を、「1・2・3 前・後」から「1・2・3 後」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼任11」から「兼任・兼任14」に変更。</li> <li>・担当教員変更により、「情報処理演習Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「英語Ⅰa」の教員配置を、「教授1」「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「英語Ⅰb」の教員配置を、「教授1」「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「朝鮮語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「朝鮮語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「教授1」「兼任・兼任2」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4前」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「総合日本語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「日本語研究A（時事Ⅰ）」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「日本語集中講座（編入）」の配当年次を、「1・2・3・4前」から「2・3・4前」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「教職入門A」の教員配置を、「教授1」「兼任・兼任1」から「教授3」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「知的障害の心理・生理・病理」の教員配置を、「准教授1」から「教授1」「兼任・兼任1」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「肢体不自由の心理・生理・病理」の教員配置を、「准教授1」から「教授1」「兼任・兼任2」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「病弱の心理・生理・病理」の教員配置を、「准教授1」から「教授1」「兼任・兼任1」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「ピアノ奏法演習」の配当教員を、「准教授1」から「准教授1」「兼任・兼任4」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「ピアノ奏法演習」の配当年次を、「1前」から「1前・後」に変更。</li> <li>・担当者の職位変更前により、「幼児と人間関係」の教員配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。</li> <li>・教育効果を考慮し、「アドバンス・ライティング応用」の配当年次を、「1・2・3・4後」から「2・3・4後」に変更。</li> <li>・教職課程申請の際の指摘により、「Oral English Ⅰa」新規科目として追加。</li> <li>・教職課程申請の際の指摘により、「Oral English Ⅰb」新規科目として追加。</li> <li>・教職課程申請の際の指摘により、「Oral English Ⅱa」新規科目として追加。</li> <li>・教職課程申請の際の指摘により、「Oral English Ⅱb」新規科目として追加。</li> <li>・教育効果を考慮し、「異文化コミュニケーション」の配当年次を、「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。</li> </ul>
--

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
34	163		197	34	167		201	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
[ ]	[ 4 ]	[ ]	[ 4 ]	[ ]	[ 4 ]	[ ]	[ 4 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	海外語学研修	1	1・2・3・4前	一般科目	選択	コロナ禍に伴う海外渡航制限のため。代替措置無し
2	英語コミュニケーション応用	2	1・2・3・4前・後	一般科目	選択	対面を前提とした授業のため、社会情報学部以外はR3年度開講に変更
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

海外語学研修は各国の日本人に対する海外渡航制限の影響もありやむを得ずR2年度は非開講とし、学内メールにて学生には周知を行った。また、英語コミュニケーション演習も対面を前提とした授業であったため、選択必修の学科は次年度開講へと予定を変更し、学生にはシステム時間割上の変更にて通知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{197} = \boxed{1.01} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	24,118 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	24,118 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	39,202 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	39,202 m <sup>2</sup>				
	小 計	63,320 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	63,320 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	21,905 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	21,905 m <sup>2</sup>				
	合 計	85,225 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	85,225 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		30,715 m <sup>2</sup> ( 30,715 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	30,715 m <sup>2</sup> ( 30,715 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等		講 義 室 55 室 <del>53 室</del>	演 習 室 48 室	実験実習室 29 室 <del>19 室</del>	情報処理学習施設 8 室 <del>7 室</del> (補助職員 一人)	語学学習施設 7 室 <del>9 室</del> (補助職員 一人)	大学全体 学生の修学環境の見直しを行い、学修施設を増やした。ただし、語学学習施設は、学内組織の変更により2室減となった。(2)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		【幼児教育】 自己都合退職者1名分減 (2)		
		教育人文学部 幼児教育学科			20 <del>21</del> 室				
		教育人文学部 児童教育学科			16 室				
		教育人文学部 心理学科			13 室				
		教育人文学部 文芸文化学科			13 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数 閲覧席増加のため、資料 移設、図書資料の除 籍をおこなったこと により蔵書冊数は減少し た。(2)	
	大学全体	189,906 [20,970] <del>(179,390 [20,333])</del> <del>(181,906 [20,570])</del>	706 [207] <del>(703 [206])</del> <del>(706 [207])</del>	18 [4] <del>(20 [4])</del> <del>(18 [4])</del>	4,896 <del>(4,442)</del> <del>(4,416)</del>	15,487 (12,630)	90 (72)		
	計	189,906 [20,970] <del>(179,390 [20,333])</del> <del>(181,906 [20,570])</del>	706 [207] <del>(703 [206])</del> <del>(706 [207])</del>	18 [4] <del>(20 [4])</del> <del>(18 [4])</del>	4,896 <del>(4,442)</del> <del>(4,416)</del>	15,487 (12,630)	90 (72)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		1,930 m <sup>2</sup>		391 <del>345</del>		150,722 <del>146,639</del>			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		3,253 m <sup>2</sup>		該 当 な し 該 当 な し					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	170千円	170千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
	共 同 研 究 費 等	17,000千円	17,000千円	設備購入費	100,000千円	100,000千円	50,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		幼児教育学科 児童教育学科
1,350千円		1,260千円	1,260千円	1,260千円	— 千円	— 千円			
1,330千円		1,240千円	1,240千円	1,240千円	— 千円	— 千円		心理学科 文芸文化学科	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	十文字学園女子大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間生活学部	4	350	3年次 15人	350	-	1.04	1.04	令和2	令和2		
健康栄養学科	4	120	3年次 5人	120	学士 (栄養学)	1.03	1.03	令和2	令和2		
食物栄養学科	4	120	3年次 10人	120	学士 (栄養学)	1.05	1.05	令和2	令和2		
食品開発学科	4	40	-	160	学士 (食品学)	0.77	0.77	令和2	令和2		
人間福祉学科	4	70	-	70	学士 (社会福祉学)	1.18	1.18	令和2	令和2		
社会福祉・介護福祉コース	4	20	-	-	学士 (社会福祉学)	1.50	1.50	令和2	令和2		
社会福祉・保育コース	4	50	-	-	学士 (社会福祉学)	1.06	1.06	令和2	令和2		
教育人文学部	4	440	3年次 5人	440	-	1.17	1.17	令和2	令和2		
幼児教育学科	4	170	-	170	学士 (教育学)	1.02	1.02	令和2	令和2		
児童教育学科	4	80	-	80	学士 (教育学)	1.08	1.08	令和2	令和2		
心理学科	4	120	-	120	学士 (心理学)	1.27	1.27	令和2	令和2		
文芸文化学科	4	70	3年次 5人	70	学士 (文学)	1.44	1.44	令和2	令和2		
社会情報デザイン学部	4	130	3年次 5人	130	-	1.33	1.33	令和2	令和2		
社会情報デザイン学科	4	130	3年次 5人	130	学士 (社会学)	1.33	1.33	令和2	令和2	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号	
(旧) 人間生活学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成23		(旧) 人間生活学部 令和2年度より学生募集停止
幼児教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
児童教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
人間発達心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	平成23		
人間福祉学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・介護福祉コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・保育コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
健康栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成27		
食物栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成23		
文芸文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成27		
生活情報学科	4	-	-	-	学士 (社会情報学)	-	-	-	平成23		
メディアコミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (コミュニケーション学)	-	-	-	平成23		
大学全体	-	920	25	920	-	-	-	-	-		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
人間生活学研究科								-	-	
食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (栄養学)	1.16	1.00	-	平成28	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号
食物栄養学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (栄養学)	0.80	0.60	-	平成22	
研究科全体	-	7	-	16	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育人文学部 児童教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	担当授業科目名
				専	7341 7410 岡本 明博	教授	入門ゼミナール 特別な教育的ニーズの理解と支援 教職基礎演習
専	7047 7047 狩野 浩二 <令和2年4月>	教授	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育 教育学概論A 教育課程論A 特別活動A※ 教育方法A※ 生徒指導・進路指導A※ 教育実習 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 表現活動(基礎) 表現活動(応用) 教職発展演習 教職応用演習 教育行政概論 保育内職の指導法(表現)※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究	専	7047 7047 狩野 浩二 <令和2年4月>	教授	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育 教育学概論A 教育課程論A 特別活動A※ 教育方法A※ 生徒指導・進路指導A※ 教育実習 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 表現活動(基礎) 表現活動(応用) 教職発展演習 教職応用演習 教育行政概論 保育内職の指導法(表現)※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究 総合科目
専	7047 (747) 747 向後(田中) 朋美 <令和2年4月>	教授	入門ゼミナール コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンスト・リスニング 教育実習 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職発展演習 教職応用演習 英語Ⅲ 英語Ⅳ アドバンスト・リスニング応用 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ ことばのしくみ 英語学 ことばへの気づきワークショップ※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究	専	7047 (747) 747 向後(田中) 朋美 <令和2年4月>	教授	入門ゼミナール コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンスト・リスニング 教育実習 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職発展演習 教職応用演習 英語Ⅲ 英語Ⅳ アドバンスト・リスニング応用 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ ことばのしくみ 英語学 ことばへの気づきワークショップ※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	7047 (774) 774 設楽(松尾) 優子 <令和2年4月>	教授	入門ゼミナール コミュニケーション演習 英語Ⅰa 英語Ⅰb アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 教育実習 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職発展演習 教職応用演習 アドバンスト・リスニング応用 中級映画・ドラマ英語 英語音声学Ⅰ(子音と母音) 英語音声学Ⅱ(発音実践) ことばへの気づきワークショップ※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究	専	7047 (774) 774 設楽(松尾) 優子 <令和2年4月>	教授	入門ゼミナール コミュニケーション演習 英語Ⅰa 英語Ⅰb アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 教育実習 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職発展演習 教職応用演習 アドバンスト・リスニング応用 中級映画・ドラマ英語 英語音声学Ⅰ(子音と母音) 英語音声学Ⅱ(発音実践) ことばへの気づきワークショップ※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究 アドバンスト・リーディング応用
専	7347 7347 塚田 昭一 <令和2年4月>	教授	入門ゼミナール 理科 生活 初等理科教育 初等生活科教育 教職入門A※ 総合的な学習の時間の授業づくりA※ 教育実習事前事後指導※ 教育実習 教職実践演習(幼・小・中・高)※ 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職基礎演習※ 教職発展演習 教職応用演習 理科実験観察 幼児と環境 卒業研究ゼミナール 卒業研究	専	7347 7347 塚田 昭一 <令和2年4月>	教授	入門ゼミナール 理科 生活 初等理科教育 初等生活科教育 教職入門A※ 総合的な学習の時間の授業づくりA※ 教育実習事前事後指導※ 教育実習 教職実践演習(幼・小・中・高)※ 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職基礎演習※ 教職発展演習 教職応用演習 理科実験観察 幼児と環境 卒業研究ゼミナール 卒業研究

	<p>1517 3797 高山 哲也</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール キャリアデザイン入門 国語 初等国語科教育 教材研究A※ 授業研究A※ 教育実習 幼稚園教育実習（事前事後指導含む） 特別支援教育実習（事前事後指導含む） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職発展演習 教職応用演習 論文・文章表現演習（基礎）※ 書写・文章表現演習（応用）※ 幼児と言葉 保育内容の指導法（富葉） 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>		<p>1517 3797 高山 哲也</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール キャリアデザイン入門 国語 初等国語科教育 教材研究A※ 授業研究A※ 教育実習 幼稚園教育実習（事前事後指導含む） 特別支援教育実習（事前事後指導含む） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職発展演習 教職応用演習 論文・文章表現演習（基礎）※ 書写・文章表現演習（応用）※ 幼児と言葉 保育内容の指導法（富葉） 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>
	<p>1517 3797 中西 郁</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 特別な教育的ニーズの理解と支援A※ 特別支援学校教育概論 知的障害教育概論※ 知的障害教育課程論※ 知的障害教育課程論 教育実習 教職実践演習（幼・小・中・高）※ 幼稚園教育実習（事前事後指導含む） 特別支援教育実習（事前事後指導含む） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職発展演習 教職応用演習 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>		<p>1517 3797 中西 郁</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 特別な教育的ニーズの理解と支援A※ 特別支援学校教育概論 知的障害教育概論※ 知的障害教育課程論※ 知的障害教育課程論 教育実習 教職実践演習（幼・小・中・高）※ 幼稚園教育実習（事前事後指導含む） 特別支援教育実習（事前事後指導含む） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職発展演習 教職応用演習 卒業研究ゼミナール 卒業研究 <b>肢体不自由の心理・生理・病理</b></p>
			<p>1517 3797 羽田 秀弘</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 教職基礎演習</p>
	<p>1517 3797 日出間 均</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 算数 初等算数科教育 教材研究A※ 授業研究A※ 教育実習 教職実践演習（幼・小・中・高）※ 幼稚園教育実習（事前事後指導含む） 特別支援教育実習（事前事後指導含む） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職発展演習 教職応用演習 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>		<p>1517 3797 日出間 均</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 算数 初等算数科教育 教材研究A※ 授業研究A※ 教育実習 教職実践演習（幼・小・中・高）※ 幼稚園教育実習（事前事後指導含む） 特別支援教育実習（事前事後指導含む） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職発展演習 教職応用演習 卒業研究ゼミナール 卒業研究 <b>就職入門A 教職基礎演習</b></p>
	<p>1517 3797 星野 敬子</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 地域で学ぶ 学校制度論A 教育実習 幼稚園教育実習（事前事後指導含む） 特別支援教育実習（事前事後指導含む） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職発展演習 教職応用演習 ICTとプログラミング教育 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>		<p>1517 3797 星野 敬子</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 地域で学ぶ 学校制度論A 教育実習 幼稚園教育実習（事前事後指導含む） 特別支援教育実習（事前事後指導含む） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職発展演習 教職応用演習 ICTとプログラミング教育 卒業研究ゼミナール 卒業研究 <b>総合科目</b></p>
			<p>1517 3797 瀬谷 康司</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 知的障害の心理・生理・病理 教職基礎演習 病児の心理・生理・病理</p>
	<p>1517 3797 松岡 敬明</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>コミュニケーション演習 外国語（英語） 就職入門A 教職基礎演習 幼児と人間関係 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ</p>		<p>1517 3797 松岡 敬明</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p><b>コミュニケーション演習</b> 外国語（英語） 就職入門A 教職基礎演習 幼児と人間関係 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ <b>入門ゼミナール</b></p>



		<p>〒711 914 山本 悟</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ 体育 初等体育科教育 教材研究Ⅰ 授業研究Ⅰ※ 特別活動Ⅰ※ 教育実習 教職実践演習(幼・小・中・高)※ 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職基礎演習※ 教職発展演習 教職応用演習 幼児と健康 保育内容の指導法(健康)※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>			<p>〒711 914 山本 悟</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ 体育 初等体育科教育 教材研究Ⅰ 授業研究Ⅰ 特別活動Ⅰ※ 教育実習 教職実践演習(幼・小・中・高)※ 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職基礎演習※ 教職発展演習 教職応用演習 幼児と健康 保育内容の指導法(健康)※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>
		<p>〒711 915 藤井 桜子</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 道徳教育A 教育実習事前事後指導※ 教育実習 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職基礎演習※ 教職発展演習 教職応用演習 字級絵画と道徳教育 書写・文章表現演習(基礎)※ 書写・文章表現演習(応用)※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>			<p>〒711 915 藤井 桜子</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール <del>読書入門ゼミナール</del> 道徳教育A 教育実習事前事後指導※ 教育実習 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職基礎演習※ 教職発展演習 教職応用演習 字級絵画と道徳教育 書写・文章表現演習(基礎)※ 書写・文章表現演習(応用)※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>
		<p>〒711 912 久保田 美子</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 音楽 初等音楽科教育 教材研究Ⅰ※ 授業研究Ⅰ※ 教育実習 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 表現活動(基礎) 表現活動(応用) 教職基礎演習※ 教職発展演習 ピアノ奏法演習 幼児と表現 保育内容の指導法(表現)※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>			<p>〒711 912 久保田 美子</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール <del>読書入門ゼミナール</del> 音楽 初等音楽科教育 教材研究Ⅰ※ 授業研究Ⅰ※ 教育実習 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 表現活動(基礎) 表現活動(応用) 教職基礎演習※ 教職発展演習 ピアノ奏法演習 幼児と表現 保育内容の指導法(表現)※ 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>
		<p>〒117 317 齋藤 忍</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 人間理解ワークショップ 特別な教育的ニーズの理解と支援A※ 知的障害教育概論※ 特別支援教育指導法 教育実習事前事後指導※ 教育実習 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職基礎演習※ 教職発展演習 教職応用演習 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>			
		<p>〒717 742 高岩 聖輝子</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 知的障害の心理・生理・病理 媒体不自由の心理・生理・病理 病児の心理・生理・病理 教育実習事前事後指導※ 教育実習 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職基礎演習※ 教職発展演習 教職応用演習 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>			
		<p>〒717 741 三磨 あさみ</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 社会 初等社会科教育 総合的な学習の時間の授業づくりA※ 教育実習事前事後指導※ 教育実習 教職実践演習(幼・小・中・高)※ 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職基礎演習※ 教職発展演習 教職応用演習 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>			<p>〒717 741 三磨 あさみ</p> <p>&lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール <del>読書入門ゼミナール</del> 社会 初等社会科教育 総合的な学習の時間の授業づくりA※ 教育実習事前事後指導※ 教育実習 教職実践演習(幼・小・中・高)※ 幼稚園教育実習(事前事後指導含む) 特別支援教育実習(事前事後指導含む) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職基礎演習※ 教職発展演習 教職応用演習 卒業研究ゼミナール 卒業研究</p>

兼担	教授	79' 子 32' け 安達 一寿 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 総合セミナー キャリアサポート演習 教育方法A※	兼担	教授	79' 子 32' け 安達 一寿 ＜令和2年4月＞ <b>コミュニケーション演習</b> 総合セミナー キャリアサポート演習 教育方法A※
兼担	教授	ｲｲ' 姉 飯田 路佳 ＜令和2年4月＞ 女性の心と身体 身体運動Ⅱ	兼担	教授	ｲｲ' 姉 飯田 路佳 ＜令和2年4月＞ 女性の心と身体 身体運動Ⅱ
兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 池川 繁樹 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活			
兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 池間 聖代子 ＜令和2年4月＞ 読書入門セミナー 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座	兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 池間 聖代子 ＜令和2年4月＞ <b>読書入門セミナー</b> 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb <b>海外語学研修</b> 中国語試験対策講座
兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 石野 栄一 ＜令和2年4月＞ 地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成	兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 石野 栄一 ＜令和2年4月＞ <b>地域で学ぶ</b> 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
			兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 石山 隆之 ＜令和2年4月＞ <b>読書科目</b> 身体運動Ⅱ
兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 橋田 ゆかり ＜令和2年4月＞ 幼児と健康	兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 橋田 ゆかり ＜令和2年4月＞ 幼児と健康
兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 大友 由紀子 ＜令和2年4月＞ キャリアデザインとライフプラン	兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 大友 由紀子 ＜令和2年4月＞ キャリアデザインとライフプラン
			兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 風間 文晴 ＜令和2年4月＞ <b>自主社会活動</b>
兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 片居木 英人 ＜令和2年4月＞ ジェンダーテラシー くらしのなかの日本国憲法	兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 片居木 英人 ＜令和2年4月＞ ジェンダーテラシー <b>くらしのなかの日本国憲法</b>
			兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 北原 優一 ＜令和2年4月＞ <b>情報基礎演習Ⅰ</b>
兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 佐藤 陽 ＜令和2年4月＞ ポランティア論	兼担	教授	ｲｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 佐藤 陽 ＜令和2年4月＞ ポランティア論
兼担	教授	ｼｰ ﾞ ﾞ ﾞ sheila Cliffe ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語 中級ビジネス英語	兼担	教授	ｼｰ ﾞ ﾞ ﾞ sheila Cliffe ＜令和2年4月＞ <b>コミュニケーション演習</b> 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語 中級ビジネス英語
兼担	教授	ｼｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 杉元 葉子 ＜令和3年4月＞ 課題解決セミナー	兼担	教授	ｼｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 杉元 葉子 ＜令和2年4月＞ <b>読書科目</b>
兼担	教授	ｼｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 鈴木 康弘 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼担	教授	ｼｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 鈴木 康弘 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼担	教授	ｼｸ' ㍑ ﾞ ﾞ ﾞ 高谷 和成 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活			

兼担	教授	田倉 昭 <令和3年4月> キャリア基礎力Ⅰ			
兼担	教授	棚谷 祐一 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール キャリア基礎力Ⅱ	兼担	教授	棚谷 祐一 <令和2年4月> <del>読書入門ゼミナール</del> キャリア基礎力Ⅱ
兼担	教授	田総 恵子 <令和2年4月> 持続可能な社会 異文化コミュニケーション	兼担	教授	田総 恵子 <令和2年4月> 持続可能な社会 <del>異文化コミュニケーション</del>
兼担	教授	角田 真二 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	兼担	教授	角田 真二 <令和2年4月> <del>読書入門ゼミナール</del> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼担	教授	長田(鈴木)瑞恵 <令和2年4月> 子育てと環境	兼担	教授	長田(鈴木)瑞恵 <令和2年4月> 子育てと環境
			兼担	教授	名倉 勇子 <令和2年4月> <del>総合科目</del>
兼担	教授	名達 英詔 <令和2年4月> 初等図画工科教育	兼担	教授	名達 英詔 <令和2年4月> 初等図画工科教育 <del>図画工作</del>
兼担	教授	樋口 一貴 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 芸術を眺めとる	兼担	教授	樋口 一貴 <令和2年4月> <del>読書入門ゼミナール</del> 芸術を眺めとる
兼担	教授	早田 智秋 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	教授	早田 智秋 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼担	教授	布施 晴美 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 女性の心と身体	兼担	教授	布施 晴美 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 女性の心と身体
兼担	教授	松永 修一 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成	兼担	教授	松永 修一 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
兼担	教授	松本 英子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン	兼担	教授	松本 英子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン <del>総合科目</del>
兼担	教授	山田 陽子 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境	兼担	教授	山田 陽子 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境
兼担	教授	吉田 亨 <令和2年4月> 地域と人間生活 共生社会入門	兼担	教授	吉田 亨 <令和2年4月> 地域と人間生活 共生社会入門
兼担	教授	好本 恵 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	教授	好本 恵 <令和2年4月> <del>読書入門ゼミナール</del>
兼担	教授	穂井 雅康 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期 教育心理学A	兼担	教授	穂井 雅康 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション <del>総合科目</del> <del>自主社会活動</del> インターンシップ短期 インターンシップ長期 教育心理学A
			兼担	特任 教授	竹之内 修 <令和2年4月> <del>コミュニケーション演習</del>

兼担	准教授	アベ (あべ) ミ 阿部 (神崎) 史 ＜令和2年4月＞ リーガルリテラシー			
			兼担	准教授	イシノ (いし) 九条 新科 九条 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	イシノ (いし) 敬史 石川 敬史 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	イシノ (いし) 敬史 石川 敬史 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
			兼担	准教授	イシノ (いし) 三好 石田 (今村) 有暉 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	イシノ (いし) 真裕 落合 真裕 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会 英米文学の流転 英米小説と女性 比較文化論	兼担	准教授	イシノ (いし) 真裕 落合 真裕 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会 英米文学の流転 英米小説と女性 比較文化論
兼担	准教授	イシノ (いし) 陽子 梶野 陽子 ＜令和3年4月＞ 薬の科学			
兼担	准教授	イシノ (いし) 陽子 加藤 陽子 ＜令和3年4月＞ 課題解決ゼミナール			
兼担	准教授	イシノ (いし) 陽子 加藤 (杉本) 陽子 ＜令和4年4月＞ 教育相談A			
兼担	准教授	イシノ (いし) 亮介 加藤 亮介 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	イシノ (いし) 亮介 加藤 亮介 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	イシノ (いし) 英俊 川口 英俊 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法	兼担	准教授	イシノ (いし) 英俊 川口 英俊 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法
兼担	准教授	イシノ (いし) 夕佳 古明地 夕佳 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活			
兼担	准教授	イシノ (いし) 靖子 鈴木 靖子 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境	兼担	准教授	イシノ (いし) 靖子 鈴木 靖子 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境
			兼担	准教授	イシノ (いし) 麻紀 曾野 麻紀 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール
兼担	准教授	イシノ (いし) 裕子 徳野 裕子 ＜令和2年4月＞ 女性と健康	兼担	准教授	イシノ (いし) 裕子 徳野 裕子 ＜令和2年4月＞ 女性と健康
兼担	准教授	ニシキ (にし) 紀子 二宮 紀子 ＜令和2年4月＞ 幼児と表現	兼担	准教授	ニシキ (にし) 紀子 二宮 紀子 ＜令和2年4月＞ 幼児と表現
兼担	准教授	イシノ (いし) 祐子 星野 祐子 ＜令和2年4月＞ 日本語検定対策講座	兼担	准教授	イシノ (いし) 祐子 星野 祐子 ＜令和2年4月＞ 日本語検定対策講座 総合科目
兼担	准教授	イシノ (いし) 周 宮野 周 ＜令和2年4月＞ 図画工作 保育内容の指導法 (表現) ※			

兼担	講師	伊藤 朋亮 <令和2年4月>	伊藤 朋亮 <令和2年4月>
		総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座(編入)※	総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa <b>日本語表現技術Ⅱ</b> 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) <b>日本語能力試験対策講座Ⅰ</b> <b>日本語能力試験対策講座Ⅱ</b> 日本語集中講座(編入)※ <b>総合日本語Ⅰb</b> <b>日本語表現技術Ⅱ</b> <b>日本語研究A(時事Ⅰ)</b>
兼担	講師	神田 俊平 <令和2年4月>	神田 俊平 <令和2年4月>
		身体運動Ⅱ	身体運動Ⅱ <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	講師	伊藤 暁雲 <令和2年4月>	伊藤 暁雲 <令和2年4月>
		読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb	読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb <b>適合科目</b>
兼担	講師	鳥越 信吾 <令和2年4月>	鳥越 信吾 <令和2年4月>
		読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ
兼担	講師	新嶋 良恵 <令和2年4月>	新嶋 良恵 <令和2年4月>
		読書入門ゼミナール	読書入門ゼミナール <b>グローバル社会</b>
			<b>兼担 講師</b> <b>野田 日出子</b> <b>&lt;令和2年4月&gt;</b> <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	講師	見吉 英彦 <令和2年4月>	見吉 英彦 <令和2年4月>
		読書入門ゼミナール	読書入門ゼミナール <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	講師	山下 悠貴乃 <令和2年4月>	山下 悠貴乃 <令和2年4月>
		総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅲ 日本語集中講座(編入)※	総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ <b>日本語表現技術Ⅱ</b> 日本語表現技術Ⅲ 日本語集中講座(編入)※ <b>日本語表現技術Ⅱ</b> <b>日本語研究A(時事Ⅰ)</b> <b>異文化コミュニケーション</b>
兼担	講師	若菜 京良 <令和2年4月>	若菜 京良 <令和2年4月>
		身体運動Ⅱ	身体運動Ⅱ
兼担	講師	渡辺 肇夫 <令和3年4月>	渡辺 肇夫 <b>&lt;令和2年4月&gt;</b>
		地域と人間生活	<b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	講師	渡辺 孝枝 <令和2年4月>	渡辺 孝枝 <令和2年4月>
		身体運動Ⅱ	身体運動Ⅱ
兼担	助教	近藤 有紀子 <令和2年4月>	近藤 有紀子 <令和2年4月>
		子育てと環境	子育てと環境
兼担	助教	倉若 美映樹 <令和3年4月>	
		地域と人間生活	
			<b>兼任 講師</b> <b>秋山 まき子</b> <b>&lt;令和2年4月&gt;</b> <b>TOEIC対策講座</b>
兼任	講師	安達 宏之 <令和2年4月>	安達 宏之 <令和2年4月>
		多様性と倫理 くらしのなかの日本国憲法	多様性と倫理 くらしのなかの日本国憲法

兼任	講師	アノ アノ 阿部 晴美 ＜令和4年4月＞ 重複障害教育概論※ 肢体不自由教育課程論	兼任	講師	アノ アノ 阿部 晴美 ＜令和4年4月＞ 重複障害教育概論※ 肢体不自由教育課程論
兼任	講師	イゲキ イゲキ 飯塚 隆 ＜令和3年4月＞ 生徒指導・進路指導 A※			
兼任	講師	イノエ ユウコ 井上 由利子 ＜令和2年4月＞ 幼児と健康 保育内容の指導法（健康）※	兼任	講師	イノエ ユウコ 井上 由利子 ＜令和2年4月＞ 幼児と健康 保育内容の指導法（健康）※
兼任	講師	イトノ 洋 扇原 洋 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	イトノ 洋 扇原 洋 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼任	講師	イトノ 裕子 太田 裕子 ＜令和4年4月＞ 複覚障害教育概論			
兼任	講師	イトノ カオリ 小口 かおり ＜令和3年4月＞ 書写・文章表現演習（応用）※			
			兼任	講師	イトノ 典子 小笠原 典子 ＜令和2年4月＞ 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ
兼任	講師	イトノ 映子 藤田 映子 ＜令和4年4月＞ 初等家庭教育			
兼任	講師	イトノ 重 加藤 重 ＜令和2年4月＞ 日本語研究 A（時事Ⅰ） 日本語研究 B（時事Ⅱ）	兼任	講師	イトノ 重 加藤 重 ＜令和2年4月＞ 日本語研究 A（時事Ⅰ） 日本語研究 B（時事Ⅱ）
			兼任	講師	イトノ カシミ 川口 かすみ ＜令和2年4月＞ リーガルリテラシー
兼任	講師	イトノ 幸 小池 幸 ＜令和3年4月＞ 特別活動 A※			
兼任	講師	イトノ 直路 小谷 直路 ＜令和2年4月＞ 保育内容総論	兼任	講師	イトノ 直路 小谷 直路 ＜令和2年4月＞ 保育内容総論
兼担	講師	イトノ 理枝子 榎原 理枝子 ＜令和2年4月＞ 英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb 英米文学の流れ 英米小説と女性	兼担	講師	イトノ 理枝子 榎原 理枝子 ＜令和2年4月＞ 英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb 英米文学の流れ 英米小説と女性
兼任	講師	イトノ 千尋 嶋山 千尋 ＜令和3年4月＞ 病弱教育概論			
兼任	講師	イトノ 典子 佐藤 典子 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	イトノ 典子 佐藤 典子 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
			兼任	講師	イトノ 麗子 齋藤 麗子 ＜令和2年4月＞ 女性と健康
兼任	講師	イトノ 次郎 澤野 次郎 ＜令和3年4月＞ 災害と社会			
			兼任	講師	イトノ 真彩 高橋 真彩 ＜令和2年4月＞ 病弱の心通・生活・病通

兼任	講師	清水 文子 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼任	講師	清水 文子 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
			兼任	講師	清水 玲子 <令和2年4月> ピアノ/楽法演習
兼任	講師	高橋 英明 <令和3年4月> 書写・文章表現演習(応用)※			
兼任	講師	谷 洋子 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング アドバンスト・リーディング応用	兼任	講師	谷 洋子 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング アドバンスト・リーディング応用 英語Ⅰa 英語Ⅰb TOEIC対策講座
兼任	講師	千足 穂一 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼任	講師	千足 穂一 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼任	講師	曾 喜 <令和2年4月> 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb	兼任	講師	曾 喜 <令和2年4月> 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb
			兼任	講師	津田 久美子 <令和2年4月> 英語Ⅰa 英語Ⅰb
兼任	講師	堂東 穂彦 <令和4年4月> 病弱教育課程論			
			兼任	講師	土井 智博 <令和2年4月> 総合科目
			兼任	講師	神保 史子 <令和2年4月> 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb
			兼任	講師	高橋 典代 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼任	講師	富永 弥生 <令和3年4月> 家庭			
兼任	講師	中島 紀子 <令和2年4月> 日本語研究 F (人文科学)	兼任	講師	中島 紀子 <令和2年4月> 日本語研究 F (人文科学)
			兼任	講師	長瀬 陽一 <令和2年4月> 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb
			兼任	講師	森倉 暲明 <令和2年4月> 知識者の心理・生涯・病魔 鉄仮面自由の心理・生涯・病魔
兼任	講師	名見耶 尊 <令和2年4月> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	兼任	講師	名見耶 尊 <令和2年4月> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
			兼任	講師	仁科 幸 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ

兼任	講師	ノブ 幸 信方 幸幸 ＜令和4年4月＞ 聴覚障害教育概論			
兼任	講師	hノ 172 林 恵津子 ＜令和3年4月＞ 幼児理解の理論と方法			
兼任	講師	フサノ スズ 深澤 進 ＜令和2年4月＞ ネットワーク社会	兼任	講師	＜令和2年4月＞ ネットワーク社会
兼任	講師	フノ イイサチ 藤生 英一郎 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼任	講師	＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼任	講師	マブロン ローラン Mabesoono Laurent ＜令和2年4月＞ フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb			
兼任	講師	ミヤノ キヨ 宮崎 順子 ＜令和3年4月＞ インターネット英語 中級インターネット英語			
兼任	講師	ミヤノ 正治 宮本 正治 ＜令和2年4月＞ アドバンスト・リーディング アドバンスト・ライティング メディア英語 アドバンスト・リーディング応 用 アドバンスト・ライティング応 用 中級メディア英語	兼任	講師	＜令和2年4月＞ アドバンスト・リーディング アドバンスト・ライティング メディア英語 アドバンスト・リーディング応 用 アドバンスト・ライティング応 用 中級メディア英語
兼任	講師	ムラヤマ 正子 村山 正子 ＜令和3年4月＞ 学習指導と学校図書館			
兼任	講師	モリノ 浩理子 森田 浩理子 ＜令和3年4月＞ 保育内容の指導法（人間関係）			
兼任	講師	ムサシノ ミチ子 矢澤 美佐紀 ＜令和3年4月＞ 歴史のなかの女性			
兼任	講師	アノハ 桂代子 安福 桂代子 ＜令和2年4月＞ 日本語研究C（ビジネスⅠ） 日本語研究D（ビジネスⅡ）	兼任	講師	＜令和2年4月＞ 日本語研究C（ビジネスⅠ） 日本語研究D（ビジネスⅡ）
兼任	講師	ヤマノ 賢二 山本 賢二 ＜令和2年4月＞ 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb			

兼任 講師  
hノ / hノ  
深野 順子  
＜令和2年4月＞  
ピア/異文化演習

兼任 講師  
フノ キヨ  
藤生 進夫  
＜令和2年4月＞  
総合科目

兼任 講師  
ミヤノ 和男  
増茂 和男  
＜令和2年4月＞  
フランス語Ⅰa  
フランス語Ⅰb

兼任 講師  
フノ 雄一  
藤井 雄一  
＜令和2年4月＞  
肢体不自由の心理・生理・病理

兼任 講師  
ムサシノ 順子  
矢澤 順子  
＜令和2年4月＞  
ピア/異文化演習



兼任	講師	3197 114 吉川 知夫 <令和3年4月> 肢体不自由教育専攻			
			兼任	講師	7146 114 兼辺 かおり <令和2年4月> ピアノ専攻
兼任	講師	7146 114 渡部 美佳 <令和3年4月> 保育内容の指導法（環境）			

(注)

- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は本学の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

【採用・退職・新規担当】

- ・齋藤 忍准教授の退職に伴い、入門ゼミナールの担当として、岡本 明博教授、羽田 邦弘教授、細谷 忠司教授を採用。
- ・特別な教育的ニーズの理解と支援Aの担当として岡本 明博教授を採用。
- ・教職基礎演習の担当として、岡本 明博教授、細谷 忠司教授、羽田 邦弘教授を採用。
- ・高岩 亜輝子准教授の退職に伴い、入門ゼミナールの担当として、岡本 明博教授、羽田 邦弘教授、細谷 忠司教授を採用。
- ・知的障害の心理生理病理の担当として、細谷 忠司教授、奈倉 道明講師を採用。
- ・肢体不自由の心理生理病理の担当として、中西 郁教授、松井 雄一講師、奈倉 道明講師を採用。
- ・病弱の心理生理病理の担当として、細谷 忠司教授、真路 展彰講師を採用。
- ・教職基礎演習の担当として、岡本 明博教授、細谷 忠司教授、羽田 邦弘教授を採用。
- ・阿部 史准教授の退職に伴い、リーガルリテラシーの担当として、川口 かすみ講師を採用。
- ・加藤 暁子准教授の退職に伴い、課題解決ゼミナール (R3年度開講) の担当として後任選定中。
- ・宮野 周准教授の退職に伴い、図画工作の担当として、名達 英詔教授を採用。
- ・Mabesoone Laurent講師の退職に伴いフランス語Ia、フランス語Ibの担当として、増茂 和男講師を採用。
- ・山本 賢二講師の辞退に伴い、中国語Ia、中国語Ibの担当として、時松 史子講師を採用。
- ・コマ数追加による総合科目の新規担当追加として、石山 隆之教授、船曳 建夫講師を採用。
- ・コマ数追加による身体運動IIの新規担当追加として、石山 隆之教授、逢郷 尚代講師、仁科 幸講師を採用。
- ・風間 文明教授は、綿井 雅康教授のコマ数調整のため新規担当として採用。自主社会活動
- ・北原 俊一教授は、名児耶 厚講師のコマ数調整のため新規担当として採用。情報処理演習I
- ・コミュニケーション演習の担当として、竹之内 修特任教授を採用。
- ・教育効果充実を図る為、読書入門ゼミナールの担当として、飯村 九林准教授、石田 (今村) 有理解准教授、曾野 麻紀准教授、野田 日出子講師を採用
- ・日本語能力試験対策講座I、日本語能力試験対策講座IIの担当として、小笠原 典子講師を採用。福田 朋晃講師削除。
- ・教育効果充実を図る為、TOEIC対策講座の担当として、秋山 まき子講師を採用。
- ・教育効果充実を図る為、女性と健康の新規担当追加として、齋藤 麗子講師を採用。
- ・教育効果充実を図る為、ピアノ奏法演習の担当として、清水 玲子講師、浜野 範子講師、矢部 尚子講師、渡辺 かおり講師が採用
- ・教育効果充実を図る為、英語Ia、英語Ibの担当として、津田 久美子講師を採用。
- ・朝鮮語Ia、朝鮮語Ibの担当として、長渡 陽一講師を採用。チョ ヒ講師は削除。

【複数担当による持ち回り授業による担当変更】

- ・向後 (田中) 朋美教授は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・設楽 (松尾) 優子教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・松岡 敬明教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・綾井 桜子准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・久保田 葉子准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・三藤 あさみ准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・安達 一寿教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・池間 里代子教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・片居木 英人教授は、くらしのなかの日本国憲法 今年度本学では担当なし。
- ・sheila Cliffe教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・棚谷 祐一教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・角田 真二教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・樋口 一貴教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・好本 恵教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・石川 敬史准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・落合 真裕准教授は、読書入門ゼミナール、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・加藤 亮介准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・川口 英俊准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。くらしのなかの日本国憲法 今年度本学では担当なし。
- ・落合 真裕准教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・見吉 英彦講師は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。

【科目配当上の都合による変更】

- ・狩野 浩二教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・向後 (田中) 朋美教授 英語コミュニケーション応用は、配当調整により、今年度未開講。
- ・設楽 (松尾) 優子教授から谷 洋子講師へ担当変更。英語Ia、英語Ib、TOEIC対策講座
- ・中西 郁教授 新規担当 肢体不自由の心理生理病理
- ・日出間 均教授 新規担当 教職入門A、教職基礎演習
- ・松岡 敬明教授 新規担当 入門ゼミナール
- ・星野 敦子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・池間 里代子教授 海外語学研修は、新型コロナウイルス感染症により海外渡航制限のため未開講。
- ・石野 榮一教授の地域で学ぶは、別教員が担当。
- ・杉元 葉子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・田総 恵子教授から山下 悠貴乃講師へ担当変更。異文化コミュニケーション
- ・名倉 秀子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・松本 晃子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・綿井 雅康教授の総合科目は、コマ数調整のため、今年度担当なし。
- ・星野 祐子准教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・福田 朋晃講師から山下 悠貴乃講師へ担当変更 日本語表現技術II
- ・福田 朋晃講師 新規担当 総合日本語Ib
- ・山下 悠貴乃講師から福田 朋晃講師へ担当変更。日本語表現技術III
- ・加藤 薫講師から福田 朋晃講師、山下 悠貴乃講師へ担当変更。日本語研究A (時事I)
- ・神田 俊平講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- ・仇 暁芸講師 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・新嶋 良恵講師 新規担当 グローバル社会
- ・渡辺 章夫講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- ・谷 洋子講師 新規担当 TOEIC対策講座

- (注) ・ 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書 (AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	4	0	0	14	0	13	3	0	0	16	1
(13)	(3)	(0)	(0)	(16)	(1)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
13	3	0	0	16	1	10	4	0	0	14	0
[3]	[Δ1]	[0]	[0]	[2]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{14} = \boxed{114.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{16} = \boxed{6.25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率（該当なし）

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	齋藤 忍	2020/3/31	必修	入門ゼミナール	①	R2. 3. 31退職のため就任辞退		
				必修	人間理解ワークショップ	①			
				必修	特別な教育的ニーズの理解と支援A	①			
				選択	知的障害教育概論	①			
				必修	特別支援教育指導法	③			
				選択	教育実習事前事後指導	①			
				選択	教育実習	①			
				選択	幼稚園教育実習（事前事後指導含む）	①			
				選択	特別支援教育実習（事前事後指導含む）	①			
				選択	教育実習Ⅰ	①			
				選択	教育実習Ⅱ	①			
				選択	教育実習Ⅲ	①			
				選択	教職基礎演習	①			
				選択	教職発展演習	①			
				選択	教職応用演習	①			
				必修	卒業研究ゼミナール	①			
				必修	卒業研究	①			
2	准教授	高岩 亜輝子	2020/3/31	必修	入門ゼミナール	①	R2. 3. 31退職のため就任辞退		
				選択	知的障害の心理・生理・病理	①			
				選択	肢体不自由の心理・生理・病理	①			
				選択	病弱の心理・生理・病理	①			
				選択	教育実習事前事後指導	①			
				選択	教育実習	①			
				選択	幼稚園教育実習（事前事後指導含む）	①			
				選択	特別支援教育実習（事前事後指導含む）	①			
				選択	教育実習Ⅰ	①			
				選択	教育実習Ⅱ	①			
				選択	教育実習Ⅲ	①			
				選択	教職基礎演習	①			
				選択	教職発展演習	①			
				選択	教職応用演習	①			
				必修	卒業研究ゼミナール	①			
				必修	卒業研究	①			
				合計（D）				後任補充状況の集計（E）	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	9 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	1 科目
		選択	24 科目	選択	24 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	33 科目	計	32 科目	計	0 科目	計	1 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 (該当なし)

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	9	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	24	科目	選択	24	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	33	科目	計	32	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{20} = \boxed{10} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 (該当なし)

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計						後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職の申出に対しては他の専任教員の配当若しくは兼任講師の採用により、教育課程の進行に支障が無いよう配慮している。  
学生に対しては大学HP上に時間割・担当変更一覧を掲載し、周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、  
今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	<p>完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 (教育人文学部幼児教育学科)</p>	<p>遵守事項</p> <p>本学の就業規則では、「学園業務の遂行上特に必要と認められた職員については、定年を延長することができ」とされている。学年進行中に定年を迎える専任教員については、教育の継続性及び質の担保の観点からも本規則により定年を延長し、定年延長にあたっては必要な手続きを経ている。完成年度以降については、教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>	<p>履行中</p> <p>今後も教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。





## 7 その他全般的事項

### <教育人文学部 児童教育学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
各科目の運営	令和2年度当初の授業期間については、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、学修時間を確保するとともに授業期間について弾力的に取り扱っている。また、遠隔授業、授業内に課すものに相当する課題研究等を活用して実施している。(2)

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

十文字学園女子大学全学委員会通則規程(別添資料1)に定められた全学委員会として、全学FD委員会を設置している。

全学FD委員会の構成は、委員長は学長または学長が指名する教職員とし、(1)学長、(2)専任教員2名、(3)大学院のFD委員会において選出された者1名、(4)その他委員長が必要と認めた者で構成しているが、活動の活性化及び各教員の理解を深めるため、②及び③の選出については各学科から1名を選出している。

令和元年度は研究担当副学長が委員長を務め、事務局の担当者を含め計16名(教員11名、職員5名)で運営された。

###### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和元年度は全4回開催した。

第1回	令和元年5月30日(木)	教員出席者	10人
第2回	令和元年6月26日(木)	教員出席者	8人
第3回	令和元年9月26日(木)	教員出席者	9人
第4回	令和元年11月14日(木)	教員出席者	8人

###### c 委員会の審議事項等

十文字学園女子大学全学委員会通則規程により、全学FD委員会は次の事項を審議し、必要な事項を処理している。

- (1) FDに係る研修会等の実施に関する事項
- (2) 大学、大学院が行うFDに係る活動の連絡・調整に関する事項
- (3) 授業評価等FDに係る調査、研究に関する事項
- (4) その他本学のFDに関する事項

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

全学FD委員会が令和元年度に実施したFD活動は以下の通り。

- (1) 授業アンケート
- (2) 授業に関する学生・教員交流会
- (3) 授業公開
- (4) 研修会
- (5) FD報告書の作成

を実施した。

## b 実施方法

### (1) 授業アンケート

原則、前期後期ともに第13回目の授業を目的に、学生による授業アンケートを実施した。また、アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークに公開している。

### (2) 授業に関する学生・教員交流会

令和2年1月9日（木）に、9学科（全学科）より学生を選出し、FD委員を中心とする教員との交流会を開催した。

### (3) 授業公開

令和2年11月11日（月）～22日（金）にかけて、原則、後期に開講した全ての授業について、授業公開を行った。

### (4) 研修会

令和元年11月21日（木）に、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」についての教職員対象のFD（SD）研修会を実施した。

### (5) FD報告書の作成

令和2年に「令和元年度FD報告書」の刊行する。

## c 開催状況（教員の参加状況含む）

### (1) 授業アンケート

- ・令和元年度は、前期は7月10日（月）～8月12日（月）、後期は12月11日（水）～2月4日（火）にアンケート実施期間を設定した（両学期とも集中講義科目及び非常勤講師を含む。）。
- ・実施対象者は前期231名、後期220名、実施率は前期95.7%、後期92.3%であった。
- ・アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークで公開することで学生へのフィードバックを行っているが、コメント提出率は、前期81.4%、後期79.3%であった。前期分のコメントは、令和元年9月30日に公開済みである。（後期分は現在、保留中）

### (2) 授業に関する学生・教員交流会

- ・9学科（全学科）から選出した代表学生及び留学生25名と、FD委員を含む教員10名が参加した。
- ・参加者を5グループに分け、授業アンケート及び事前に意見を求めたトークテーマについてミーティングとグループ発表を行った。

### (3) 授業公開

- ・授業公開の期間を各学科1週間、見学期間を2週間とした。公開時期を1週間とすることで公開側の負担を軽減し、見学側の選択肢はこれまで通り確保（同学科でも他学科でも見学可能と）した。
- ・見学者は、57名（教員48名、職員9名）であった。また、見学者には見学記録の提出を義務付けた。

### (4) 研修会

- ・外部講師1名を招き、2名の学内教員のコーディネイトにより、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」をテーマに、教学マネジメントの基本、本質的な問いの追究、カリキュラムの意図を反映させる工夫、カリキュラムの編成・実施・評価・改善のポイントについての研修会を行った。参加者は118名（教員86名、職員32名）であった。

### (5) FD報告書の作成

令和2年9月以降に「令和元年度FD報告書」の刊行を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学では、授業の質的改善・向上を目的として、継続的に「学生による授業アンケート」を実施しており、その結果は、学内ネットワーク上で公開し学生にフィードバックしている。アンケート結果に対するコメントや自由記述に対して回答することにより、各教員が今後の改善点を明らかにしている。

また、研修会「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」のように、FD委員会が研修会を企画し、授業改善への働きかけを行っている。

平成23年度より、全学委員会通則規程に基づき設置された教員評価委員会のもと、教員評価規程（別添資料2）に則って、教育、研究、社会活動、学務の4領域を対象として教員評価を実施している。各教員の個人努力を喚起し、授業改善はもとより、教員の資質の維持向上を図るよう取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前述の通り

前述の通り

b 教員や学生への公開状況、方法等

前述の通り

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、継続的に教育体制改革を行っており、今回の改組は第三次教育体制改革として、第一次及び第二次の成果を踏まえつつ、①学部体制の改編、②新たな教育課程を修了し卒業した学生が、社会のなかで生涯にわたり活躍していくことを想定した教育内容の構築、③既存学科の強化及び本学の伝統を活かしつつ学生募集において可能性のある新たな領域（学科）の立ち上げ、④適切な定員設定、について検討を重ねてきた。学部体制については、本学が培ってきた教育研究上の領域をより明確にし、かつ、地域社会における諸課題の探求と解決に向けて、人々との連携や多職種での協働を基盤としつつ、それぞれが培ってきた専門性を発揮しうる人材を養成するために、より有効な体制と判断し、3学部へ再編成することを決定した。そして、令和2年度に①1学部体制を3学部体制（人間生活学部、教育人文学部、社会情報デザイン学部）へ再編成する、②入学定員を適正に設定変更する、③食の領域での発展拡大のために食品開発学科を新設する、④生活情報学科とメディアコミュニケーション学科を発展的に解消して、社会学を基盤とした社会情報デザイン学科を設置する、こととして、平成31年4月に届出を行い、令和2年4月にスタートを切った。

改組初年度である令和2年度入試において、新たな学部学科体制のPRと定員設定の見直しに成果が出て、旧体制下において定員割れが続いていた学科についても充足する運びとなった。ただ、文芸文化学科及び社会情報デザイン学科については歩留まりの読み違いから入学定員超過率が1.3を超えてしまった。両学科については、令和3年度入試に向け、超過是正を念頭におきつつ、本年度の傾向なども鑑み入試選抜に取り組む予定である。一方で、新設学科である食品開発学科について、定員40名に対し入学者31名と唯一、定員割れとなってしまったが、募集・広報戦略の見直しとともに、定員確保に努めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

・自己点検・評価委員会の編纂による報告書を毎年作成。

- a 公表（予定）時期
  - ・ 令和2年11月までに公表予定。
- b 公表方法
  - ・ 大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 令和3年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定。

（注） ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 aで「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

- c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

《 aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 十文字学園

## (2) 大学名

十文字学園女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒352-8510  
埼玉県新座市菅沢2-1-28

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ジュウモンジ カズオ) 十文字 一夫 (昭和62年5月)		
学長	(シムラ フミオ) 志村 二三夫 (平成29年4月)		
副学長 兼 学長補佐	(ワタイ マサヤス) 綿井 雅康 (平成29年4月)		
副学長	(アダチ カズヒサ) 安達 一寿 (平成31年4月)		
	(オノ ユウジロウ) 小野 裕次郎 (平成31年4月)		
	(ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		
学部長 兼 学科長	【人間生活学部】 <人間福祉学科> (ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		

学部長 兼 学科長	【教育人文学部】 <幼児教育学科> (ヤマダ ヨウコ) 山田 陽子 (令和2年4月)		
	【社会情報デザイン学部】 <社会情報デザイン学部> (ナカヤマ シゲオ ) 中山 成夫 (令和2年4月)		
学科長	<健康栄養学科> (キムラ ヤスコ) 木村 靖子 (令和2年4月)		
学科長	<食物栄養学科> (イワモト タマミ) 岩本 珠美 (令和2年4月)		
学科長	<食品開発学科> (コバヤシ ミチコ) 小林 三智子 (令和2年4月)		
学科長	<児童教育学科> (トミヤマ テツヤ) 富山 哲也 (令和2年4月)		
学科長	<心理学科> (フセ ハルミ) 布施 晴美 (令和2年4月)		
学科長	<文芸文化学科> (コバヤシ ミノル) 小林 実 (令和2年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育人文学部 心理学科 学士（心理学）	文学関係	4年	120人	— 年次人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	120 (—) [若干名]	—	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1.27 倍	— 倍	
志願者数	521 (—) [0]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
受験者数	481 (—) [0]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
合格者数	224 (—) [0]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
B 入学者数	153 (—) [0]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.27												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	153 [ 0 ] ( - )	— [ — ] ( - )									
2年次	/										
3年次											
4年次	/		/								
計					153 [ 0 ] ( - )						

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。



(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	153 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{153} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



2 授業科目の概要

<教育人文学部 心理学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任							
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	必修					選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手										
共通科目	ゼミナール	入門ゼミナール	1前	2		3	2	1								6	ゼミナール	入門ゼミナール	1前	2		4	5	2						2		
		コミュニケーション演習	1前・後	1														17	コミュニケーション演習	1前	1										2	
		読書入門ゼミナール	1・2・3・4後		2														17	読書入門ゼミナール	1・2・3・4後		2			1						9
		課題解決ゼミナール	2・3前・後		2														2	課題解決ゼミナール	2・3前・後		2									2
		総合ゼミナール	3・4前・後		2														2	総合ゼミナール	3・4前・後		2									2
	総合	地域で学ぶ	1・2・3・4前・後		2												3	地域で学ぶ	1・2・3・4前・後		2										2	
		地域と人間生活	2・3・4前・後		2												6	地域と人間生活	2・3・4前・後		2										6	
		人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4後		2		1										1	人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4後		2		1							1		
		人間理解ワークショップ	2・3・4前・後	2				1									3	人間理解ワークショップ	2・3・4前・後	2			1							3		
		総合科目	1・2・3・4前・後		2			1										2	総合科目	1・2・3・4前・後		2		0							10	
		自主社会活動	1・2・3・4前・後		1		1											1	自主社会活動	1・2・3・4前・後		1		1							1	
		キャリアデザインとライフプラン	1前・後		2													2	キャリアデザインとライフプラン	1前・後		2									2	
	女性を生きる	リーガルリテラシー	1前・後		2												1	リーガルリテラシー	1前・後		2									1		
		ジェンダーリテラシー	1前・後		2												1	ジェンダーリテラシー	1前・後		2									1		
		子育てと環境	1前・後		2												4	子育てと環境	1前・後		2									4		
		女性と健康	1前・後		2												1	女性と健康	1前・後		2									2		
		女性の心と身体	1・2・3前・後		2		1										1	女性の心と身体	1・2・3前・後		2		1						1			
		食の科学	2・3前・後		2												1	食の科学	2・3前・後		2								1			
		歴史のなかの女性	2・3前・後		2												1	歴史のなかの女性	2・3前・後		2								1			
		芸術を読みとる	2・3前・後		2												1	芸術を読みとる	2・3前・後		2								1			
	社会に生きる	グローバル社会	1前・後		2												1	グローバル社会	1前・後		2									2		
		ネットワーク社会	1前・後		2												1	ネットワーク社会	1前・後		2								1			
		共生社会入門	1前・後		2												1	共生社会入門	1前・後		2								1			
		多様性と倫理	1前・後		2												1	多様性と倫理	1前・後		2								1			
		持続可能な社会	1前・後		2												1	持続可能な社会	1前・後		2							1				
		くらしのなかの日本国憲法	1・2・3前・後		2												3	くらしのなかの日本国憲法	1・2・3後		2							1				
ボランティア論		1・2・3前・後		2												1	ボランティア論	1・2・3前・後		2							1					
災害と社会		2・3前・後		2												1	災害と社会	2・3前・後		2							1					
21世紀型の教育		2・3前・後		2												1	21世紀型の教育	2・3前・後		2							1					
体育・保健		身体運動Ⅰ	1・2・3・4前		1		1										11	身体運動Ⅰ	1・2・3・4前		1		1							0		
	身体運動Ⅱ	1・2・3・4後		1		1										11	身体運動Ⅱ	1・2・3・4後		1		1						13				
処情報	情報処理演習Ⅰ	1前		1												2	情報処理演習Ⅰ	1前		1								3				
	情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4後		1												1	情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4後		1								2				
外国語(基礎科目)	英語Ⅰa	1前		1												2	英語Ⅰa	1前		1								4				
	英語Ⅰb	1後		1												2	英語Ⅰb	1後		1								4				
	英語Ⅱa	2・3・4前		1												1	英語Ⅱa	2・3・4前		1							1					
	英語Ⅱb	2・3・4後		1												1	英語Ⅱb	2・3・4後		1							1					
	中国語Ⅰa	1前		1												2	中国語Ⅰa	1前		1							2					
	中国語Ⅰb	1後		1												2	中国語Ⅰb	1後		1							2					
	中国語Ⅱa	2・3・4前		1												2	中国語Ⅱa	2・3・4前		1							2					
	中国語Ⅱb	2・3・4後		1												2	中国語Ⅱb	2・3・4後		1							2					
	朝鮮語Ⅰa	1前		1												1	朝鮮語Ⅰa	1前		1							2					
	朝鮮語Ⅰb	1後		1												1	朝鮮語Ⅰb	1後		1							2					
	フランス語Ⅰa	1前		1												1	フランス語Ⅰa	1前		1							1					
	フランス語Ⅰb	1後		1												1	フランス語Ⅰb	1後		1							1					
	海外語学研修	1・2・3・4前		1												1	海外語学研修	1・2・3・4前		1								1				

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語目的別科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前		1							1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後		1							1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前		1							1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後		1							1
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後		2							2
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後		2							2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後		2							2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後		2							2
	ビジネス英語	2・3・4後		2							2
	映画・ドラマ英語	2・3・4後		2							2
	インターネット英語	2・3・4後		2							2
	メディア英語	2・3・4前		2							2
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後		2							2
中国語試験対策講座	1・2・3・4前		2							2	
日本語検定対策講座	1・2・3・4前・後		2							2	
共通科目	総合日本語Ⅰa	1前		1							1
	総合日本語Ⅰb	1後		1							1
	総合日本語Ⅱa	2前		1							1
	総合日本語Ⅱb	2後		1							1
	総合日本語Ⅲa	3・4前		1							1
	総合日本語Ⅲb	3・4後		1							1
	日本語表現技術Ⅰ	1・2・3・4前		1							1
	日本語表現技術Ⅱ	1・2・3・4後		1							1
	日本語表現技術Ⅲ	1・2・3・4前		1							1
	日本語表現技術Ⅳ	1・2・3・4後		1							1
	日本語研究A(時事Ⅰ)	1・2・3・4前		1							1
	日本語研究B(時事Ⅱ)	1・2・3・4後		1							1
	日本語研究C(ビジネスⅠ)	1・2・3・4前		1							1
日本語研究D(ビジネスⅡ)	1・2・3・4後		1							1	
日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前		1							1	
日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後		1							1	
日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前		1							1	
日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後		1							1	
日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前		1							2	
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1					1
	キャリアロールモデル研究	2後	2								1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2								2
	プロアクティブ人材育成	2後	2								2
	キャリアサポート演習	3通	2								1
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前	2								2
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後	2								1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1			1					1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2			1					1
	小計(89科目)	-	8	127	0	3	2	1			76
外国語目的別科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前		1							1
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4前		1							1
	英語コミュニケーション発展a	3・4前		1							1
	英語コミュニケーション発展b	3・4後		1							1
	英語コミュニケーション応用(未開講)	1・2・3・4前・後		2							2
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後		2							2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後		2							2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後		2							2
	ビジネス英語	2・3・4後		2							2
	映画・ドラマ英語	2・3・4後		2							2
	インターネット英語	2・3・4後		2							2
	メディア英語	2・3・4前		2							2
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後		2							2
中国語試験対策講座	1・2・3・4前		2							2	
日本語検定対策講座	1・2・3・4前		2							2	
共通科目	総合日本語Ⅰa	1前		1							1
	総合日本語Ⅰb	1後		1							2
	総合日本語Ⅱa	2前		1							1
	総合日本語Ⅱb	2後		1							1
	総合日本語Ⅲa	3・4前		1							1
	総合日本語Ⅲb	3・4後		1							1
	日本語表現技術Ⅰ	1・2・3・4前		1							1
	日本語表現技術Ⅱ	1・2・3・4後		1							1
	日本語表現技術Ⅲ	1・2・3・4前		1							1
	日本語表現技術Ⅳ	1・2・3・4後		1							1
	日本語研究A(時事Ⅰ)	1・2・3・4前		1							2
	日本語研究B(時事Ⅱ)	1・2・3・4後		1							1
	日本語研究C(ビジネスⅠ)	1・2・3・4前		1							1
日本語研究D(ビジネスⅡ)	1・2・3・4後		1							1	
日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前		1							1	
日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後		1							1	
日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前		1							1	
日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後		1							1	
日本語集中講座(編入)	2・3・4前		1							2	
キャリア教育	キャリアデザイン入門	2前	2			1					1
	キャリアロールモデル研究	2後	2								1
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前	2								2
	プロアクティブ人材育成	2後	2								2
	キャリアサポート演習	3通	2								1
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前	2								2
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後	2								1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後	1			1					1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後	2			1					1
	小計(89科目)	-	8	127	0	6	5	2			76

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	生涯発達科目	心理学概論	1前	2		1						
		発達心理学概論（発達心理学）	1前	2		1						
		乳幼児期の心理学	2前	2		1						
		児童期の心理学	2前	2		1						
		青年期の心理学	2前	2		1						
		中高年期の心理学	3前	2							1	
		心理学基礎論	2・3・4前	2		1	2					
	心理臨床科目	臨床心理学概論	1前	2		1						
		発達臨床心理学（発達心理学）	2前	2		1						
		カウンセリング理論	1後	2		1						
		乳幼児期の心理臨床	2・3後	2		1						
		児童期から青年期の心理臨床	2・3後	2		1						
		中高年期の心理臨床	3・4後	2							1	
		障害者・障害児心理学	3・4前	2		1						
	基礎科目	心理学入門演習	2前	2		3	1					
		人間発達演習	3後	2		6	5	1				
		発達心理学外書講読	3・4前	2		1						
		心理学研究法	3前	2		1						
		心理学統計法	1前	2		1						
		心理学情報処理法	1後	2		1					1	
		心理学実験	1後	2		4	2					
研究法・実習科目	心理アセスメント入門	2前	2		1	4				1		
	データ解析法	3前・後	2		1					1		
	心理学実験演習	2・3前・後	2		2							
	調査法	2・3前・後	2		2	1						
	面接法	2・3前・後	2		2							
	観察法	2・3前・後	2		1	1						
	心理検査法	2・3前・後	2		1							
	実験計画法	2・3前・後	2		1							
	心理検査法応用	3前	2							1		
	カウンセリング技法	2後	2		1							
	学校カウンセリング	3・4後	2		1							
	発達支援活動	2・3・4前・後	2		1							
	領域別科目	社会科目	社会心理学概論（社会・集団・家族心理学）	1後	2		1					
			コミュニケーションの心理学	1・2・3前	2		1					
対人関係の心理学			2・3・4前	2		1						
グループダイナミクス			2・3前	2		1						
家族心理学（社会・集団・家族心理学）			2・3前	2							1	
産業心理学（産業・組織心理学）			2・3後	2							1	
司法・犯罪心理学			2・3前	2							1	
生活科目		職場のメンタルヘルス（産業・組織心理学）	3・4前	2							1	
		社会行動の心理学	3・4前・後	2		1					1	
		キャリア発達心理学	3・4後	2							1	
		感情・人格心理学	1・2・3後	2							1	
		心理学リテラシー	1・2前	2		1						
		子どもの発達と環境	1・2・3後	2		1						
		知覚・認知心理学	2・3・4後	2		1						
生活科目	身体運動の心理学	2・3・4前	2		1							
	見る・聴く・触れるの科学	2・3・4前	2							1		
	恋愛と結婚の科学	3・4前	2		1							
	健康・医療心理学	3・4後	2							1		
	神経・生理心理学	3・4前	2		1							
	文化と心理学	3・4前	2		1							
	臨床現場の心理学	3・4後	2		1							

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専領域別科目	教育心理学	教育心理学	1・2後	2		1						1
		学習・言語心理学	2・3前	2								
		生徒指導	3・4前	2			1					
		教育相談(教育・学校心理学)	3・4前	2			1					
		学校保健Ⅰ	1・2前	2				1				
		学校保健Ⅱ	1後	2				1				
		養護概説	2・3前	2				1				
		養護教諭実践論	3・4後	2				1				
		健康相談活動	3・4後	2								1
	福祉心理学	2・3前	2								1	
	保健科目	栄養学	1前	2								1
		免疫学	1・2前	2								1
		人体の構造と機能及び疾病	1後	2								1
		衛生学	1・2・3後	2								1
		公衆衛生学	2・3前	2				1				
		解剖生理学特論	2・3前	2								1
		子どもの生活と保健	2・3前	2				1				
リハビリテーション論		2・3前	2			1						
精神保健		2・3前	2			1						
公認心理師関連科目	看護学概論	2・3・4前	2			1						
	看護援助方法	2・3・4後	2			1						
	救急処置活動	2・3・4後	2				1					
	家庭の応急手当	2・3・4後	2			1						
	小児保健看護学	3・4前	2			1						
	臨床看護実習	3・4後	2			1						
	関係行政論	2・3前	2								1	
	公認心理師の職責	1後	2				1					
	精神疾患とその治療	2・3後	2								1	
卒業研究	心理的アセスメント	3・4後	2			1						
	心理学的支援法	3・4後	2			1						
	心理演習	4前	2			3						
	心理実習	4通	2			5	5					
卒業研究	卒業研究	4通	4			6	5	1				
小計(89科目)	-	46	134	0	6	5	1				20	
合計(178科目)	-	54	261	0	6	5	1				96	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専領域別科目	教育心理学	教育心理学	1・2後	2		1						
		学習・言語心理学	2・3前	2								1
		生徒指導	3・4前	2				1				
		教育相談(教育・学校心理学)	3・4前	2				1				
		学校保健Ⅰ	1・2前	2					1			
		学校保健Ⅱ	1後	2					1			
		養護概説	2・3前	2				1				
		養護教諭実践論	3・4後	2				1				
		健康相談活動	3・4後	2								1
	福祉心理学	2・3前	2								1	
	保健科目	栄養学	1前	2								1
		免疫学	1・2前	2								1
		人体の構造と機能及び疾病	1後	2								1
		衛生学	1・2・3後	2								1
		公衆衛生学	2・3前	2				1				
		解剖生理学特論	2・3前	2								1
		子どもの生活と保健	2・3前	2				1				
リハビリテーション論		2・3前	2			1						
精神保健		2・3前	2			1						
公認心理師関連科目	看護学概論	2・3・4前	2			1						
	看護援助方法	2・3・4後	2			1						
	救急処置活動	2・3・4後	2				1					
	家庭の応急手当	2・3・4後	2			1						
	小児保健看護学	3・4前	2			1						
	臨床看護実習	3・4後	2			1						
	関係行政論	2・3前	2								1	
	公認心理師の職責	1後	2				1					
	精神疾患とその治療	2・3後	2								1	
卒業研究	心理的アセスメント	3・4後	2			1						
	心理学的支援法	3・4後	2			1						
	心理演習	4前	2			3						
	心理実習	4通	2			5	5					
卒業研究	卒業研究	4通	4			6	5	1				
小計(89科目)	-	46	134	0	6	5	2				19	
合計(178科目)	-	54	261	0	6	5	2				95	

卒業要件及び履修方法

卒業要件及び履修方法

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。  
 専門科目から、必修科目22科目46単位を含めた90単位以上を修得すること。  
 その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。  
 合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。  
 専門科目から、必修科目22科目46単位を含めた90単位以上を修得すること。  
 その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。  
 合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和2年度】**

- ・ 担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授3」「准教授2」「講師1」から「教授4」「准教授5」「講師2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「コミュニケーション演習」の教員配置を、「兼任・兼任6」から「兼任・兼任2」に変更。  
教育効果を考慮し、「コミュニケーション演習」の配当年次を、「1前・後」から「1前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼任17」から「准教授1」「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「地域で学ぶ」の教員配置を、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「教授1」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「女性と健康」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「グローバル社会」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「くらしのなかの日本国憲法」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「くらしのなかの日本国憲法」の配当年次を、「1・2・3 前・後」から「1・2・3 後」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「身体運動Ⅰ」の教員配置を「教授1」「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「教授1」「兼任・兼任11」から「教授1」「兼任・兼任13」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「情報処理演習Ⅰ」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「情報処理演習Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語1a」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語1b」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション基礎b」の配当年次を、「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・ライティング」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「総合日本語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語研究A（時事Ⅰ）」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語集中講座（編入）」の配当年次を、「1・2・3・4前」から「2・3・4前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「心理学実験」の教員配置を、「教授4」「准教授2」から「教授3」「准教授2」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
27 科目	151 科目	科目	178 科目	27 科目 [ 0 ]	151 科目 [ 0 ]	科目 [ ]	178 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	海外語学研修	1	1・2・3・4前	一般科目	選択	コロナ禍に伴う海外渡航制限のため。代替措置無し
2	英語コミュニケーション応用	2	1・2・3・4前・後	一般科目	選択	対面を前提とした授業のため、社会情報学部以外はR3年度開講に変更
3	心理学リテラシー	2	1・2前	専門科目	選択	コロナ禍に伴いゲスト講師の手配が出来なくなったため

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

海外語学研修は各国の日本人に対する海外渡航制限の影響もありやむを得ずR2年度は非開講とし、学内メールにて学生には周知を行った。また、英語コミュニケーション演習も対面を前提とした授業であったため、選択必修の学科は次年度開講へと予定を変更した。心理学リテラシーはコロナ禍により授業を一緒に行う予定のゲスト講師の都合がつかなくなってしまったため、次年度開講とした。学生にはシステム時間割上の変更にて通知。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

### (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{178} = \boxed{1.68} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校 舎 敷 地	24,118 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	24,118 m <sup>2</sup>				
	運 動 場 用 地	39,202 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	39,202 m <sup>2</sup>				
	小 計	63,320 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	63,320 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	21,905 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	21,905 m <sup>2</sup>				
	合 計	85,225 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	85,225 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		30,715 m <sup>2</sup> ( 30,715 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	30,715 m <sup>2</sup> ( 30,715 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等		講 義 室 55 室 <del>53 室</del>	演 習 室 48 室	実 験 実 習 室 29 室 <del>19 室</del>	情 報 処 理 学 習 施 設 8 室 <del>7 室</del> (補助職員 一人)	語 学 学 習 施 設 7 室 <del>9 室</del> (補助職員 一人)	大学全体 学生の修学環境の見直しを行い、学修施設を増やした。ただし、語学学習施設は、学内組織の変更により2室減となった。(2)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		【幼児教育】 自己都合退職者1名分減 (2)			
		教育人文学部 幼児教育学科		20 <del>21</del> 室					
		教育人文学部 児童教育学科		16 室					
		教育人文学部 心理学科		13 室					
		教育人文学部 文芸文化学科		13 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 閲覧席増加のため、資料移設、図書資料の除籍をおこなったことにより蔵書冊数は減少した。(2)	
	大学全体	189,906 [20,970] <del>(179,390 [20,333])</del> <del>(181,906 [20,570])</del>	706 [207] <del>(703 [206])</del> <del>(706 [207])</del>	18 [4] <del>(20 [4])</del> <del>(18 [4])</del>	4,896 <del>(4,442)</del> <del>(4,416)</del>	15,487 (12,630)	90 (72)		
	計	189,906 [20,970] <del>(179,390 [20,333])</del> <del>(181,906 [20,570])</del>	706 [207] <del>(703 [206])</del> <del>(706 [207])</del>	18 [4] <del>(20 [4])</del> <del>(18 [4])</del>	4,896 <del>(4,442)</del> <del>(4,416)</del>	15,487 (12,630)	90 (72)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		1,930 m <sup>2</sup>		391 <del>345</del>	150,722 <del>146,639</del>				
(7) 体 育 館		面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
		3,253 m <sup>2</sup>		該 当 な し 該 当 な し					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	大学全体
		教員1人当り研究費等	170千円	170千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
	共 同 研 究 費 等	17,000千円	17,000千円	設 備 購 入 費	100,000千円	100,000千円	50,000千円		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	幼児教育学科 児童教育学科 心理学科 文芸文化学科	
1,350千円		1,260千円	1,260千円	1,260千円	— 千円	— 千円			
1,330千円		1,240千円	1,240千円	1,240千円	— 千円	— 千円			
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要		私 立 大 学 等 経 常 経 費 補 助 金 、 資 産 運 用 収 入 、 雑 収 入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	十文字学園女子大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間生活学部	4	350	3年次 15人	350	-	1.04	1.04	令和2	令和2		
健康栄養学科	4	120	3年次 5人	120	学士 (栄養学)	1.03	1.03	令和2	令和2		
食物栄養学科	4	120	3年次 10人	120	学士 (栄養学)	1.05	1.05	令和2	令和2		
食品開発学科	4	40	-	160	学士 (食品学)	0.77	0.77	令和2	令和2		
人間福祉学科	4	70	-	70	学士 (社会福祉学)	1.18	1.18	令和2	令和2		
社会福祉・介護福祉コース	4	20	-	-	学士 (社会福祉学)	1.50	1.50	令和2	令和2		
社会福祉・保育コース	4	50	-	-	学士 (社会福祉学)	1.06	1.06	令和2	令和2		
教育人文学部	4	440	3年次 5人	440	-	1.17	1.17	令和2	令和2		
幼児教育学科	4	170	-	170	学士 (教育学)	1.02	1.02	令和2	令和2		
児童教育学科	4	80	-	80	学士 (教育学)	1.08	1.08	令和2	令和2		
心理学科	4	120	-	120	学士 (心理学)	1.27	1.27	令和2	令和2		
文芸文化学科	4	70	3年次 5人	70	学士 (文学)	1.44	1.44	令和2	令和2		
社会情報デザイン学部	4	130	3年次 5人	130	-	1.33	1.33	令和2	令和2		
社会情報デザイン学科	4	130	3年次 5人	130	学士 (社会学)	1.33	1.33	令和2	令和2	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号	
(旧) 人間生活学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成23		(旧) 人間生活学部 令和2年度より学生募集停止
幼児教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
児童教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
人間発達心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	平成23		
人間福祉学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・介護福祉コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・保育コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
健康栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成27		
食物栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成23		
文芸文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成27		
生活情報学科	4	-	-	-	学士 (社会情報学)	-	-	-	平成23		
メディアコミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (コミュニケーション学)	-	-	-	平成23		
大学全体	-	920	25	920	-	-	-	-	-		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
人間生活学研究科								-	-	
食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (栄養学)	1.16	1.00	-	平成28	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号
食物栄養学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (栄養学)	0.80	0.60	-	平成22	
研究科全体	-	7	-	16	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育人文学部 心理学科>

(1) -① 担当教員表

【令和2年度】

【認可時又は届出時】		【令和2年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
専	伊藤 恵子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 心理学基礎論※ 発達臨床心理学(発達心理学) 乳幼児期の心理臨床 障害者・障害児心理学 発達臨床フィールドワーク 心理学入門演習 人間発達演習 心理アセスメント入門 観察法 心理実習 卒業研究	専	伊藤 恵子 <令和2年4月> 入門ゼミナール 心理学基礎論※ 発達臨床心理学(発達心理学) 乳幼児期の心理臨床 障害者・障害児心理学 発達臨床フィールドワーク 心理学入門演習 人間発達演習 心理アセスメント入門 観察法 心理実習 卒業研究
専	池田 まさみ <令和2年4月> 入門ゼミナール 心理学概論 心理学基礎論※ 心理学入門演習 人間発達演習 心理学実験演習 実験計画法 知覚・認知心理学 神経・生理心理学 心理実習 卒業研究	専	池田 まさみ <令和2年4月> 入門ゼミナール 心理学概論 心理学基礎論※ 心理学入門演習 人間発達演習 <b>心療理学概論</b> 心理学実験演習 実験計画法 知覚・認知心理学 神経・生理心理学 心理実習 卒業研究
専	風間 文明 <令和2年4月> 入門ゼミナール 青年期の心理学 心理学基礎論※ 人間発達演習 心理学実験 データ解析法 調査法 社会心理学概論(社会・集団・家族心理学) グループダイナミクス 心理実習 卒業研究	専	風間 文明 <令和2年4月> 入門ゼミナール 青年期の心理学 心理学基礎論※ 人間発達演習 心理学実験 データ解析法 調査法 社会心理学概論(社会・集団・家族心理学) グループダイナミクス 心理実習 卒業研究 <b>自主社会活動</b>
専	平田 智秋 <令和2年4月> 入門ゼミナール 身体運動I 心理学基礎論※ 人間発達演習 心理学研究法 心理学実験 心理学実験演習 実験計画法 身体運動の心理学 心理実習 卒業研究	専	平田 智秋 <令和2年4月> 入門ゼミナール 身体運動I 心理学基礎論※ 人間発達演習 心理学研究法 心理学実験 心理学実験演習 実験計画法 身体運動の心理学 心理実習 卒業研究
専	布施 晴美 <令和2年4月> 入門ゼミナール 人間理解ワークショップ 女性の心と身体 キャリアデザイン入門 人間発達演習 心理学リサーチ リハビリテーション論 看護学概論 看護援助方法 家庭の応急手当 小児保健看護学 臨床看護実習 卒業研究	専	布施 晴美 <令和2年4月> <b>入門ゼミナール</b> 人間理解ワークショップ 女性の心と身体 人間発達演習 <b>心療リサーチ</b> 看護学概論 看護援助方法 家庭の応急手当 小児保健看護学 臨床看護実習 卒業研究
専	緒井 雅康 <令和2年4月> 入門ゼミナール 人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターシッブ短期 インターシッブ長期 発達臨床フィールドワーク 心理学入門演習 人間発達演習 心理学統計法 心理学実験 調査法 発達支援活動 コミュニケーションの心理学 教育心理学 心理実習 卒業研究	専	緒井 雅康 <令和2年4月> <b>入門ゼミナール</b> 人間関係とコミュニケーション <b>総合科目</b> <b>自主社会活動</b> インターシッブ短期 インターシッブ長期 発達臨床フィールドワーク 心理学入門演習 人間発達演習 心理学統計法 心理学実験 調査法 発達支援活動 コミュニケーションの心理学 教育心理学 心理実習 卒業研究
専	石田(今村)有理 <令和2年4月> 入門ゼミナール 発達心理学概論(発達心理学) 乳幼児期の心理学 心理学基礎論※ 人間発達演習 発達心理学外書講読 心理学実験 心理アセスメント入門 観察法 子どもの発達と環境 心理実習 卒業研究	専	石田(今村)有理 <令和2年4月> 入門ゼミナール 発達心理学概論(発達心理学) 乳幼児期の心理学 心理学基礎論※ 人間発達演習 発達心理学外書講読 心理学実験 心理アセスメント入門 観察法 子どもの発達と環境 心理実習 卒業研究 <b>障害入門ゼミナール</b>

専	准教授	加藤 (カト) 陽子 加藤 (カト) 陽子 ＜令和2年4月＞ 入門ゼミナール 児童期の心理学 心理学基礎論※ 児童期から青年期の心理臨床 人間発達演習 心理アセスメント入門 面接法 学校カウンセリング 教育相談(教育・学校心理学) 心理的アセスメント 心理演習 心理実習 卒業研究	専	准教授	加藤 (カト) 陽子 加藤 (カト) 陽子 ＜令和2年4月＞ 入門ゼミナール 児童期の心理学 心理学基礎論※ 児童期から青年期の心理臨床 人間発達演習 心理アセスメント入門 面接法 学校カウンセリング 教育相談(教育・学校心理学) 心理的アセスメント 心理演習 心理実習 卒業研究
専	准教授	東畑 開人 東畑 開人 ＜令和2年4月＞ 入門ゼミナール 心理学基礎論※ カウンセリング理論 人間発達演習 心理アセスメント入門 心理検査法 カウンセリング技法 文化と心理学 精神保健 心理演習 心理実習 卒業研究	専	准教授	東畑 開人 東畑 開人 ＜令和2年4月＞ 入門ゼミナール 心理学基礎論※ カウンセリング理論 人間発達演習 心理アセスメント入門 心理検査法 カウンセリング技法 文化と心理学 精神保健 心理演習 心理実習 卒業研究
専	准教授	水作 穂 水作 穂 ＜令和2年4月＞ 入門ゼミナール 心理学基礎論※ 臨床心理学概論 心理学入門演習 人間発達演習 心理アセスメント入門 面接法 臨床現場の心理学 生徒指導 公認心理師の職業 心理学的支援法 心理演習 心理実習 卒業研究	専	准教授	水作 穂 水作 穂 ＜令和2年4月＞ 入門ゼミナール 心理学基礎論※ 臨床心理学概論 心理学入門演習 人間発達演習 心理アセスメント入門 面接法 臨床現場の心理学 生徒指導 公認心理師の職業 心理学的支援法 心理演習 心理実習 卒業研究
専	准教授	山下 倫美 山下 倫美 ＜令和2年4月＞ 入門ゼミナール 心理学基礎論※ 人間発達演習 心理学概論 心理学実習 調査法 対人関係の心理学 社会行動の心理学【隔年】 恋愛と結婚の科学 心理実習 卒業研究	専	准教授	山下 倫美 山下 倫美 ＜令和2年4月＞ 入門ゼミナール 心理学基礎論※ 人間発達演習 心理学概論 心理学実習 調査法 対人関係の心理学 社会行動の心理学【隔年】 恋愛と結婚の科学 心理実習 卒業研究
			専	講師	岡山 倫美 岡山 倫美 ＜令和2年4月＞ 入門ゼミナール 心理学基礎論 学校保健Ⅱ
専	講師	鈴木 雅子 鈴木 雅子 ＜令和2年4月＞ 入門ゼミナール 人間発達演習 学校保健Ⅱ 養護施設 養護施設実習 公衆衛生学 子どもの生活と保健 救急処置活動 卒業研究	専	講師	鈴木 雅子 鈴木 雅子 ＜令和2年4月＞ 入門ゼミナール 人間発達演習 学校保健Ⅱ 養護施設 養護施設実習 公衆衛生学 子どもの生活と保健 救急処置活動 卒業研究 心算リテラシー
兼担	教授	安達 一寿 安達 一寿 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習	兼担	教授	安達 一寿 安達 一寿 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習
兼担	教授	飯田 路佳 飯田 路佳 ＜令和2年4月＞ 女性の心と身体 身体運動Ⅱ	兼担	教授	飯田 路佳 飯田 路佳 ＜令和2年4月＞ 女性の心と身体 身体運動Ⅱ
兼担	教授	池田 繁樹 池田 繁樹 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活			
兼担	教授	池田 星代子 池田 星代子 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座	兼担	教授	池田 星代子 池田 星代子 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座
兼担	教授	石野 栄一 石野 栄一 ＜令和2年4月＞ 地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成	兼担	教授	石野 栄一 石野 栄一 ＜令和2年4月＞ 地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
			兼担	教授	石山 隆之 石山 隆之 ＜令和2年4月＞ 調査科目 身体運動Ⅱ

兼担	教授	大友 由紀子 ＜令和2年4月＞ キャリアデザインとライフプラン	兼担	教授	大友 由紀子 ＜令和2年4月＞ キャリアデザインとライフプラン
兼担	教授	片仔 比ト 片居水 英人 ＜令和2年4月＞ ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法	兼担	教授	片仔 比ト 片居水 英人 ＜令和2年4月＞ ジェンダーリテラシー <b>くらしのなかの日本国憲法</b>
兼担	教授	別ノ 浩二 ＜令和2年4月＞ 読書入門セミナー 地域で学ぶ 21世紀型の教育	兼担	教授	別ノ 浩二 ＜令和2年4月＞ 読書入門セミナー 地域で学ぶ 21世紀型の教育 <b>総合科目</b>
兼担	教授	特内 俊一 北原 俊一 ＜令和2年4月＞ 情報処理演習Ⅰ	兼担	教授	特内 俊一 北原 俊一 ＜令和2年4月＞ 情報処理演習Ⅰ <b>情報処理演習Ⅱ</b>
兼担	教授	向後 (田中) 朋美 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンス・リスニング	兼担	教授	向後 (田中) 朋美 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 <b>英語コミュニケーション応用</b> アドバンス・リスニング
兼担	教授	野村 忍 ＜令和3年4月＞ 人間理解ワークショップ			
兼担	教授	野村 隆 ＜令和2年4月＞ ポランディア論	兼担	教授	野村 隆 ＜令和2年4月＞ ポランディア論
兼担	教授	松尾 優子 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 英語Ⅰa 英語Ⅰb アドバンス・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座	兼担	教授	松尾 優子 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 <b>英語Ⅰa</b> <b>英語Ⅰb</b> アドバンス・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 <b>アドバンス・リーディング</b>
兼担	教授	sheila Cliffe ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語	兼担	教授	sheila Cliffe ＜令和2年4月＞ <b>コミュニケーション演習</b> 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語 <b>英語Ⅰb</b> <b>アドバンス・ライティング</b>
兼担	教授	杉元 葉子 ＜令和3年4月＞ 課題解決セミナー	兼担	教授	杉元 葉子 <b>＜令和2年4月＞</b> <b>総合科目</b>
兼担	教授	鈴木 康弘 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼担	教授	鈴木 康弘 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼担	教授	高谷 和成 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活			
兼担	教授	田倉 昭 ＜令和3年4月＞ キャリア基礎力Ⅰ			
兼担	教授	竹嶋 伸之輔 ＜令和2年4月＞ 人体の構造と機能及び疾病	兼担	教授	竹嶋 伸之輔 ＜令和2年4月＞ 人体の構造と機能及び疾病
兼担	教授	棚谷 祐一 ＜令和2年4月＞ 読書入門セミナー キャリア基礎力Ⅱ	兼担	教授	棚谷 祐一 ＜令和2年4月＞ <b>読書入門セミナー</b> キャリア基礎力Ⅱ
兼担	教授	田総 恵子 ＜令和2年4月＞ 持続可能な社会	兼担	教授	田総 恵子 ＜令和2年4月＞ 持続可能な社会

兼担	教授	角田 真二 <令和2年4月> 医書入門セミナー 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	兼担	教授	角田 真二 <令和2年4月> <del>医書入門セミナー</del> 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼担	教授	長田 (鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 子育てと環境	兼担	教授	長田 (鈴木) 瑞恵 <令和2年4月> 子育てと環境
			兼担	教授	名倉 勇子 <令和2年4月> 総合科目
兼担	教授	樋口 一貴 <令和2年4月> 医書入門セミナー 芸術を眺めとる	兼担	教授	樋口 一貴 <令和2年4月> <del>医書入門セミナー</del> 芸術を眺めとる
			兼担	教授	橋田 仁 <令和2年4月> 英語Ⅰa 英語Ⅰb
兼担	教授	星野 敦子 <令和2年4月> 地域で学ぶ	兼担	教授	星野 敦子 <令和2年4月> 地域で学ぶ 総合科目
兼担	教授	松岡 敬明 <令和2年4月> コミュニケーション演習	兼担	教授	松岡 敬明 <令和2年4月> <del>コミュニケーション演習</del>
兼担	教授	松永 修一 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 自主社教活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成	兼担	教授	松永 修一 <令和2年4月> 人間理解ワークショップ 自主社教活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成
兼担	教授	松本 亮子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン	兼担	教授	松本 亮子 <令和2年4月> キャリアデザインとライフプラン 総合科目
兼担	教授	山田 陽子 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境	兼担	教授	山田 陽子 <令和2年4月> 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境
兼担	教授	吉田 亨 <令和2年4月> 地域と人間生活 共生社会入門	兼担	教授	吉田 亨 <令和2年4月> 地域と人間生活 共生社会入門
兼担	教授	好本 恵 <令和2年4月> 医書入門セミナー	兼担	教授	好本 恵 <令和2年4月> <del>医書入門セミナー</del>
			兼担	特任 教授	竹之内 修 <令和2年4月> コミュニケーション演習
兼担	准教授	阿部 (神崎) 安 <令和2年4月> リーガルリテラシー			
兼担	准教授	横井 桜子 <令和2年4月> 医書入門セミナー	兼担	准教授	横井 桜子 <令和2年4月> <del>医書入門セミナー</del>
			兼担	准教授	巖村 九昇 <令和2年4月> 医書入門セミナー
兼担	准教授	石川 敬史 <令和2年4月> 医書入門セミナー	兼担	准教授	石川 敬史 <令和2年4月> <del>医書入門セミナー</del>



兼担	准教授	オハイ マ 落合 真裕 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会	兼担	准教授	オハイ マ 落合 真裕 ＜令和2年4月＞ <b>コミュニケーション演習</b> 読書入門ゼミナール グローバル社会
兼担	准教授	オノ リサコ 榎野 涼子 ＜令和3年4月＞ 食の科学			
兼担	准教授	オノ マチ 加藤 暎子 ＜令和3年4月＞ 課題解決ゼミナール			
兼担	准教授	オノ 晃介 加藤 晃介 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	オノ 晃介 加藤 晃介 ＜令和2年4月＞ <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	准教授	オノ マチ 川口 実後 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法	兼担	准教授	オノ マチ 川口 実後 ＜令和2年4月＞ <b>読書入門ゼミナール</b> <b>くらしのなかの日本国憲法</b>
兼担	准教授	オノ マチ 久保田 葉子 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	オノ マチ 久保田 葉子 ＜令和2年4月＞ <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	准教授	オノ マチ 古明地 夕佳 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活			
兼担	准教授	オノ マチ 鈴木 晴子 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境	兼担	准教授	オノ マチ 鈴木 晴子 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境
			兼担	准教授	オノ マチ 奥野 麻紀 ＜令和2年4月＞ <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	准教授	オノ マチ 徳野 裕子 ＜令和2年4月＞ 女性と健康	兼担	准教授	オノ マチ 徳野 裕子 ＜令和2年4月＞ 女性と健康
兼担	准教授	オノ マチ 星野 祐子 ＜令和2年4月＞ 日本語検定対策講座	兼担	准教授	オノ マチ 星野 祐子 ＜令和2年4月＞ 日本語検定対策講座 <b>総合科目</b>
兼担	准教授	オノ マチ 三藤 あさみ ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	オノ マチ 三藤 あさみ ＜令和2年4月＞ <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	講師	オノ マチ 福田 朋亮 ＜令和2年4月＞ 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語教育Ⅴ（医療・福祉専門） 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座（編入）※	兼担	講師	オノ マチ 福田 朋亮 ＜令和2年4月＞ 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa <b>日本語表現技術Ⅱ</b> 日本語表現技術Ⅳ 日本語教育Ⅴ（医療・福祉専門） <b>日本語能力試験対策講座Ⅰ</b> <b>日本語能力試験対策講座Ⅱ</b> 日本語集中講座（編入）※ <b>総合日本語Ⅰb</b> <b>日本語表現技術Ⅲ</b> <b>日本語研究A（論事Ⅰ）</b>
兼担	講師	オノ マチ 神田 俊平 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ	兼担	講師	オノ マチ 神田 俊平 ＜令和2年4月＞ <b>身体運動Ⅰ</b> <b>身体運動Ⅱ</b> <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	講師	オノ マチ 仇 曉葉 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb	兼担	講師	オノ マチ 仇 曉葉 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb <b>総合科目</b>
兼担	講師	オノ マチ 鳥越 優香 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	兼担	講師	オノ マチ 鳥越 優香 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ

兼担	講師	ニノマ 良恵 新崎 良恵 ＜令和2年4月＞ 読書入門セミナー	兼担	講師	ニノマ 良恵 新崎 良恵 ＜令和2年4月＞ 読書入門セミナー グローバル社会
				兼担	講師 日ノ 日出子 野田 日出子 ＜令和2年4月＞ 読書入門セミナー
兼担	講師	ミヨ ヒロコ 見吉 英彦 ＜令和2年4月＞ 読書入門セミナー	兼担	講師	ミヨ ヒロコ 見吉 英彦 ＜令和2年4月＞ 読書入門セミナー
兼担	講師	ヤマノ 怒貴乃 山下 怒貴乃 ＜令和2年4月＞ 総合日本語 I b 総合日本語 II b 総合日本語 III b 日本語表現技術 I 日本語表現技術 III 日本語集中講座（編入）※	兼担	講師	ヤマノ 怒貴乃 山下 怒貴乃 ＜令和2年4月＞ 総合日本語 I b 総合日本語 II b 総合日本語 III b 日本語表現技術 I 日本語表現技術 III 日本語集中講座（編入）※ 日本語表現技術 II 日本語研究 A（時事 I）
兼担	講師	ワカノ 京良 若菜 京良 ＜令和2年4月＞ 身体運動 II	兼担	講師	ワカノ 京良 若菜 京良 ＜令和2年4月＞ 身体運動 II
兼担	講師	ワタナベ 肇夫 渡辺 肇夫 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活	兼担	講師	ワタナベ 肇夫 渡辺 肇夫 ＜令和2年4月＞ 読書入門セミナー
兼担	講師	ワタナベ 孝枝 渡邊 孝枝 ＜令和2年4月＞ 身体運動 II	兼担	講師	ワタナベ 孝枝 渡邊 孝枝 ＜令和2年4月＞ 身体運動 II
兼担	助教	ツネノ 有紀子 近藤 有紀子 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境	兼担	助教	ツネノ 有紀子 近藤 有紀子 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境
兼担	助教	ウツチノ 美咲樹 倉若 美咲樹 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活			
				兼担	講師 秋山 まき子 ＜令和2年4月＞ TOEIC対策講座 英語 I a 英語 I b
兼任	講師	アサヒ 宏之 安達 宏之 ＜令和2年4月＞ 多様性と倫理 くらしのなかの日本国憲法	兼任	講師	アサヒ 宏之 安達 宏之 ＜令和2年4月＞ 多様性と倫理 くらしのなかの日本国憲法
兼任	講師	ウヅメ 園子 梅津 園子 ＜令和3年4月＞ 福祉心理学			
兼任	講師	ハラノ 淳 扇原 淳 ＜令和2年4月＞ 身体運動 II	兼任	講師	ハラノ 淳 扇原 淳 ＜令和2年4月＞ 身体運動 II
				兼任	講師 大文 夢子 ＜令和2年4月＞ 英語 I a 英語 I b
兼任	講師	オホノ 祥子 大野 祥子 ＜令和3年4月＞ 家庭心理学（社会・集団・家族心理学）			
				兼任	講師 オホノ 典子 小笠原 典子 ＜令和2年4月＞ 日本語能力試験対策講座 I 日本語能力試験対策講座 II
兼任	講師	オホノ まどか 小川 まどか ＜令和4年4月＞ 中高年期の心理臨床			

兼任	講師	奥村 基生 <令和2年4月> 心理学情報処理法	兼任	講師	奥村 基生 <令和2年4月> 心理学情報処理法
兼任	講師	尾崎 健一 <令和4年4月> 職場のメンタルヘルス（産業・組織心理学）			
兼任	講師	加藤 薫 <令和2年4月> 日本語研究A（時事Ⅰ） 日本語研究B（時事Ⅱ）	兼任	講師	加藤 薫 <令和2年4月> <del>日本語研究A（時事Ⅰ）</del> 日本語研究B（時事Ⅱ）
			兼任	講師	川口 かしみ <令和2年4月> リーガルリテラシー
兼任	講師	高口 央 <令和3年4月> 産業心理学（産業・組織心理学） 社会行動の心理学			
			兼任	講師	込江 雅彦 <令和2年4月> 情報処理講習Ⅰ
兼任	講師	千原 千景 <令和4年4月> 健康相談活動			
			兼任	講師	齋藤 麗子 <令和2年4月> 女性と健康
兼任	講師	榎原 理枝子 <令和2年4月> 英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb	兼任	講師	榎原 理枝子 <令和2年4月> <del>英語Ⅰa</del> <del>英語Ⅰb</del> 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼任	講師	佐藤 一朗 <令和2年4月> 衛生学	兼任	講師	佐藤 一朗 <令和2年4月> 衛生学
兼任	講師	佐藤 典子 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼任	講師	佐藤 典子 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼任	講師	澤野 次郎 <令和3年4月> 災害と社会			
兼任	講師	清水 文子 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼任	講師	清水 文子 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼任	講師	杉本 英晴 <令和4年4月> キャリア発達心理学			
兼任	講師	高野 光司 <令和3年4月> 司法・犯罪心理学			
兼任	講師	谷 洋子 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング	兼任	講師	谷 洋子 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング TOEIC対策講座
兼任	講師	千足 耕一 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼任	講師	千足 耕一 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼任	講師	曹 暁 <令和2年4月> 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb	兼任	講師	曹 暁 <令和2年4月> 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb

			兼任 講師 土井 優晴 ＜令和2年4月＞ 総合科目
			兼任 講師 崎後 史子 ＜令和2年4月＞ 中国語1a 中国語1b
兼任 講師	中江 須美子 ＜令和4年4月＞ データ解析法		
兼任 講師	中島 紀子 ＜令和2年4月＞ 日本語研究 F (人文科学)	兼任 講師	中島 紀子 ＜令和2年4月＞ 日本語研究 F (人文科学)
			兼任 講師 奥蔵 隆一 ＜令和2年4月＞ 朝鮮語1a 朝鮮語1b
兼任 講師	中村 有 ＜令和2年4月＞ 心理アセスメント入門 心理検査法応用 感情・人格心理学 健康・医療心理学	兼任 講師	中村 有 ＜令和2年4月＞ 心理アセスメント入門 心理検査法応用 <del>感情・人格心理学</del> 健康・医療心理学
			兼任 講師 仁科 肇 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
兼任 講師	白土 三 ＜令和2年4月＞ 免疫学	兼任 講師	白土 三 ＜令和2年4月＞ 免疫学
兼任 講師	堀田 亮子 ＜令和2年4月＞ 栄養学	兼任 講師	堀田 亮子 ＜令和2年4月＞ 栄養学
兼任 講師	深澤 進 ＜令和2年4月＞ ネットワーク社会	兼任 講師	深澤 進 ＜令和2年4月＞ ネットワーク社会
兼任 講師	藤生 栄一郎 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	兼任 講師	藤生 栄一郎 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ
			兼任 講師 船島 雄夫 ＜令和2年4月＞ 総合科目
兼任 講師	堀川 聡司 ＜令和4年4月＞ 心理療法		
			兼任 講師 増茂 和男 ＜令和2年4月＞ フランス語1a フランス語1b
兼任 講師	松浦 宏明 ＜令和3年4月＞ 関係行政論		
兼任 講師	松葉 剛 ＜令和3年4月＞ 解剖生理学特論		
兼任 講師	Mabesoone Laurent ＜令和2年4月＞ フランス語1a フランス語1b		
兼任 講師	宮崎 順子 ＜令和3年4月＞ インターネット英語		

兼任	講師	宮本 正治 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング アドバンスト・ライティング メディア英語	兼任	講師	宮本 正治 <令和2年4月> <del>アドバンスト・リーディング</del> <del>アドバンスト・ライティング</del> <del>メディア英語</del>
兼任	講師	矢澤 英佐紀 <令和3年4月> 歴史のなかの女性			
兼任	講師	安田 哲也 <令和3年4月> 見る・聴く・触れるの科学 学習・言語心理学			
兼任	講師	安恒 佳代子 <令和2年4月> 日本語研究C（ゼミナスⅠ） 日本語研究D（ゼミナスⅡ）	兼任	講師	安恒 佳代子 <令和2年4月> 日本語研究C（ゼミナスⅠ） 日本語研究D（ゼミナスⅡ）
兼任	講師	山下（小原） 美樹 <令和3年4月> 精神疾患とその治療			
兼任	講師	山本 賢二 <令和2年4月> 中国語 I a 中国語 I b			

（注）

- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（み））、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

【採用・退職・新規担当】

- 齋藤 忍教授の退職に伴い、人間理解ワークショップ (R3年度開講) の担当として後任選定中。
- 阿部 史准教授の退職に伴い、リーガルリテラシーの担当として、川口 かしみ講師を採用。
- 加藤 暁子准教授の退職に伴い、課題解決ゼミナール (R3年度開講) の担当として後任選定中。
- Mabesoone Laurent講師の退職に伴いフランス語Ia、フランス語Ibの担当として、増茂 和男講師を採用。
- 山本 賢二講師の辞任に伴い、中国語Ia、中国語Ibの担当として、時松 史子講師を採用。
- 教育効果充実を図る為、入門ゼミナールの担当として、岡山 睦美講師を採用。
- 岡山 睦美講師は、鈴木 雅子講師からの担当変更として新規採用。学校保健I、学校保健II
- コマ数追加による総合科目の新規担当追加として、石山 隆之教授、名倉 秀子教授、土井 善晴講師、船曳 建夫講師を採用。
- コマ数追加による身体運動IIの新規担当追加として、石山 隆之教授、蓬郷 尚代講師、仁科 幸講師を採用。
- 教育効果充実を図る為、英語Ia、英語Ibの新規担当追加として、福田 仁教授、秋山 まき子講師、大友 彩子講師を採用。
- 教育効果充実を図る為、読書入門ゼミナールの担当として、飯村 九林准教授、曾野 麻紀准教授、野田 日出子講師を採用。
- コミュニケーション演習の担当として、竹之内 修特任教授を採用。
- 日本語能力試験対策講座I、日本語能力試験対策講座IIの担当として、小笠原 典子講師を採用。福田 朋晃講師削除。
- 教育効果充実を図る為、TOEIC対策講座の担当として、秋山 まき子講師を採用。
- 教育効果充実を図る為、情報処理演習Iの担当として、込江 雅彦講師採用。
- 教育効果充実を図る為、女性と健康の新規担当追加として、齋藤 麗子講師を採用。
- 朝鮮語Ia、朝鮮語Ibの担当として、長渡 陽一講師を採用。チョ ヒ講師は削除。

【複数担当による持ち回り授業による担当変更】

- 布施 晴美教授は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 綿井 雅康教授は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 安達 一寿教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- 池間 里代子教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 片居木 英人教授は、くらしのなかの日本国憲法 今年度本学科では担当なし。
- sheila Cliffe教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- 棚谷 祐一教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 角田 真二教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 樋口 一貴教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 好本 恵教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 綾井 桜子准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 石川 敬史准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 落合 真裕准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 加藤 亮介准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 川口 英俊准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。くらしのなかの日本国憲法 今年度本学科では担当なし。
- 久保田 葉子准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 三藤 あさみ准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- 見吉 英彦講師は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。

【科目配当上の都合による変更】

- 池田 まさみ教授 心理学実験は別教員が担当。
- 布施 晴美教授は、心理学リテラシー 非開講のため、今年度担当なし。
- 綿井 雅康教授 総合科目は、コマ数調整のため、今年度担当なし。
- 綿井 雅康教授のコマ数調整のため風間 文明教授へ担当変更。自主社会活動
- 石田 (今村) 有理 新規担当 読書入門ゼミナール
- 鈴木 雅子講師は、心理学リテラシー 非開講のため、今年度担当なし。
- 池間 里代子教授 海外語学研修は、新型コロナウイルス感染症の影響のため今年度未開講。
- 石野 榮一教授 地域で学ぶは、別教員が担当。
- 狩野 浩二教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 北原 俊一教授 新規担当 情報処理演習II
- 向後 (田中) 朋美教授 英語コミュニケーション応用は、配当調整により、今年度未開講。
- 設楽 (松尾) 優子教授 英語Ia、英語Ibは、別教員が担当。
- sheila Cliffe教授 コマ数追加による新規担当追加 英語Ia、英語Ib、アドバンスライティング
- 杉元 葉子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 星野 敦子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 松岡 敬明教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- 松本 晃子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 星野 祐子准教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 福田 朋晃講師から山下 悠貴乃講師へ担当変更。日本語表現技術II
- 福田 朋晃講師 新規担当 総合日本語Ib
- 山下 悠貴乃講師から福田 朋晃講師へ担当変更。日本語表現技術III
- 加藤 薫講師から、福田 朋晃講師、山下 悠貴乃講師へ担当者変更。日本語研究A (時事I)
- 神田 俊平講師 新規担当 読書入門ゼミナール、身体運動Iは、コマ数調整のため、今年度担当なし。
- 仇 暁芸講師 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- 新嶋 良恵講師 新規担当 グローバル社会
- 渡辺 章夫講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- 神原 理枝子講師 英語Ia、英語Ibは、別教員が担当。
- 谷 洋子講師 新規担当 TOEIC対策講座
- 中村 有講師 感情人格心理学は、1後期開講のため担当者選定中。
- 宮本 正治講師から設楽 (松尾) 優子教授へ担当変更。アドバンスライティング

(注) ・ 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (A C教員審査) を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
・ 「専任教員採用等変更書 (A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
7	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
6	5	1	0	12	0	6	5	2	0	13	0
(6)	(5)	(2)	(0)	(13)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	5	2	0	13	0	6	5	1	0	12	0
[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{12} = \boxed{108.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{13} = \boxed{7.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率（該当なし）

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目



(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率（該当なし）

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。



## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	<p>完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 (教育人文学部幼児教育学科)</p>	<p>遵守事項</p> <p>本学の就業規則では、「学園業務の遂行上特に必要と認められた職員については、定年を延長することができ」とされている。学年進行中に定年を迎える専任教員については、教育の継続性及び質の担保の観点からも本規則により定年を延長し、定年延長にあたっては必要な手続きを経ている。完成年度以降については、教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>	<p>履行中</p> <p>今後も教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。



## 7 その他全般的事項

### <教育人文学部 心理学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
各科目の運営	令和2年度当初の授業期間については、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、学修時間を確保するとともに授業期間について弾力的に取り扱っている。また、遠隔授業、授業内に課すものに相当する課題研究等を活用して実施している。(2)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

十文字学園女子大学全学委員会通則規程（別添資料1）に定められた全学委員会として、全学FD委員会を設置している。

全学FD委員会の構成は、委員長は学長または学長が指名する教職員とし、(1)学長、(2)専任教員2名、(3)大学院のFD委員会において選出された者1名、(4)その他委員長が必要と認めた者で構成しているが、活動の活性化及び各教員の理解を深めるため、②及び③の選出については各学科から1名を選出している。

令和元年度は研究担当副学長が委員長を務め、事務局の担当者を含め計16名（教員11名、職員5名）で運営された。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和元年度は全4回開催した。

第1回	令和元年5月30日（木）	教員出席者	10人
第2回	令和元年6月26日（木）	教員出席者	8人
第3回	令和元年9月26日（木）	教員出席者	9人
第4回	令和元年11月14日（木）	教員出席者	8人

###### c 委員会の審議事項等

十文字学園女子大学全学委員会通則規程により、全学FD委員会は次の事項を審議し、必要な事項を処理している。

- (1) FDに係る研修会等の実施に関する事項
- (2) 大学、大学院が行うFDに係る活動の連絡・調整に関する事項
- (3) 授業評価等FDに係る調査、研究に関する事項
- (4) その他本学のFDに関する事項

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

全学FD委員会が令和元年度に実施したFD活動は以下の通り。

- (1) 授業アンケート
- (2) 授業に関する学生・教員交流会
- (3) 授業公開
- (4) 研修会
- (5) FD報告書の作成

を実施した。

## b 実施方法

### (1) 授業アンケート

原則、前期後期ともに第13回目の授業を目的に、学生による授業アンケートを実施した。また、アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークに公開している。

### (2) 授業に関する学生・教員交流会

令和2年1月9日（木）に、9学科（全学科）より学生を選出し、FD委員を中心とする教員との交流会を開催した。

### (3) 授業公開

令和2年11月11日（月）～22日（金）にかけて、原則、後期に開講した全ての授業について、授業公開を行った。

### (4) 研修会

令和元年11月21日（木）に、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」についての教職員対象のFD（SD）研修会を実施した。

### (5) FD報告書の作成

令和2年に「令和元年度FD報告書」の刊行する。

## c 開催状況（教員の参加状況含む）

### (1) 授業アンケート

- ・令和元年度は、前期は7月10日（月）～8月12日（月）、後期は12月11日（水）～2月4日（火）にアンケート実施期間を設定した（両学期とも集中講義科目及び非常勤講師を含む。）。
- ・実施対象者は前期231名、後期220名、実施率は前期95.7%、後期92.3%であった。
- ・アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークで公開することで学生へのフィードバックを行っているが、コメント提出率は、前期81.4%、後期79.3%であった。前期分のコメントは、令和元年9月30日に公開済みである。（後期分は現在、保留中）

### (2) 授業に関する学生・教員交流会

- ・9学科（全学科）から選出した代表学生及び留学生25名と、FD委員を含む教員10名が参加した。
- ・参加者を5グループに分け、授業アンケート及び事前に意見を求めたトークテーマについてミーティングとグループ発表を行った。

### (3) 授業公開

- ・授業公開の期間を各学科1週間、見学期間を2週間とした。公開時期を1週間とすることで公開側の負担を軽減し、見学側の選択肢はこれまで通り確保（同学科でも他学科でも見学可能と）した。
- ・見学者は、57名（教員48名、職員9名）であった。また、見学者には見学記録の提出を義務付けた。

### (4) 研修会

- ・外部講師1名を招き、2名の学内教員のコーディネートにより、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」をテーマに、教学マネジメントの基本、本質的な問いの追究、カリキュラムの意図を反映させる工夫、カリキュラムの編成・実施・評価・改善のポイントについての研修会を行った。参加者は118名（教員86名、職員32名）であった。

### (5) FD報告書の作成

令和2年9月以降に「令和元年度FD報告書」の刊行を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学では、授業の質的改善・向上を目的として、継続的に「学生による授業アンケート」を実施しており、その結果は、学内ネットワーク上で公開し学生にフィードバックしている。アンケート結果に対するコメントや自由記述に対して回答することにより、各教員が今後の改善点を明らかにしている。

また、研修会「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」のように、FD委員会が研修会を企画し、授業改善への働きかけを行っている。

平成23年度より、全学委員会通則規程に基づき設置された教員評価委員会のもと、教員評価規程（別添資料2）に則って、教育、研究、社会活動、学務の4領域を対象として教員評価を実施している。各教員の個人努力を喚起し、授業改善はもとより、教員の資質の維持向上を図るよう取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前述の通り

前述の通り

b 教員や学生への公開状況、方法等

前述の通り

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、継続的に教育体制改革を行っており、今回の改組は第三次教育体制改革として、第一次及び第二次の成果を踏まえつつ、①学部体制の改編、②新たな教育課程を修了し卒業した学生が、社会のなかで生涯にわたり活躍していくことを想定した教育内容の構築、③既存学科の強化及び本学の伝統を活かしつつ学生募集において可能性のある新たな領域（学科）の立ち上げ、④適切な定員設定、について検討を重ねてきた。学部体制については、本学が培ってきた教育研究上の領域をより明確にし、かつ、地域社会における諸課題の探求と解決に向けて、人々との連携や多職種での協働を基盤としつつ、それぞれが培ってきた専門性を発揮しうる人材を養成するために、より有効な体制と判断し、3学部へ再編成することを決定した。そして、令和2年度に①1学部体制を3学部体制（人間生活学部、教育人文学部、社会情報デザイン学部）へ再編成する、②入学定員を適正に設定変更する、③食の領域での発展拡大のために食品開発学科を新設する、④生活情報学科とメディアコミュニケーション学科を発展的に解消して、社会学を基盤とした社会情報デザイン学科を設置する、こととして、平成31年4月に届出を行い、令和2年4月にスタートを切った。

改組初年度である令和2年度入試において、新たな学部学科体制のPRと定員設定の見直しに成果が出て、旧体制下において定員割れが続いていた学科についても充足する運びとなった。ただ、文芸文化学科及び社会情報デザイン学科については歩留まりの読み違いから入学定員超過率が1.3を超えてしまった。両学科については、令和3年度入試に向け、超過是正を念頭におきつつ、本年度の傾向なども鑑み入試選抜に取り組む予定である。一方で、新設学科である食品開発学科について、定員40名に対し入学者31名と唯一、定員割れとなってしまったが、募集・広報戦略の見直しとともに、定員確保に努めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

・自己点検・評価委員会の編纂による報告書を毎年作成。

- a 公表（予定）時期
  - ・令和2年11月までに公表予定。
- b 公表方法
  - ・大学ホームページ上に公開予定

- ③ 認証評価を受ける計画
- ・令和3年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 aで「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]
- c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他（ ） ]

《 aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 十文字学園

## (2) 大学名

十文字学園女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒352-8510  
埼玉県新座市菅沢2-1-28

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ジュウモンジ カズオ) 十文字 一夫 (昭和62年5月)		
学長	(シムラ フミオ) 志村 二三夫 (平成29年4月)		
副学長 兼 学長補佐	(ワタイ マサヤス) 綿井 雅康 (平成29年4月)		
副学長	(アダチ カズヒサ) 安達 一寿 (平成31年4月)		
	(オノ ユウジロウ) 小野 裕次郎 (平成31年4月)		
	(ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		
学部長 兼 学科長	【人間生活学部】 <人間福祉学科> (ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)		

学部長 兼 学科長	【教育人文学部】 <幼児教育学科> (ヤマダ ヨウコ) 山田 陽子 (令和2年4月)		
	【社会情報デザイン学部】 <社会情報デザイン学部> (ナカヤマ シゲオ ) 中山 成夫 (令和2年4月)		
学科長	<健康栄養学科> (キムラ ヤスコ) 木村 靖子 (令和2年4月)		
学科長	<食物栄養学科> (イワモト タマミ) 岩本 珠美 (令和2年4月)		
学科長	<食品開発学科> (コバヤシ ミチコ) 小林 三智子 (令和2年4月)		
学科長	<児童教育学科> (トミヤマ テツヤ) 富山 哲也 (令和2年4月)		
学科長	<心理学科> (フセ ハルミ) 布施 晴美 (令和2年4月)		
学科長	<文芸文化学科> (コバヤシ ミノル) 小林 実 (令和2年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育人文学部 文芸文化学科 学士（文学）	文学関係	4年	70人	5人 年次人	290人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	70人 ( ) [ 若干名 ]	—	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1.44 倍	— 倍	
志願者数	374 ( ) [ 3 ]	—	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
受験者数	340 ( ) [ 3 ]	—	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
合格者数	141 ( ) [ 2 ]	—	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
B 入学者数	101 ( ) [ 2 ]	—	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
入学定員超過率 B/A	1.44												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	101 [ 2 ] ( - )	— [ — ] ( - )									
2年次	/										
3年次	/		/								
4年次	/		/		/						
計	101 [ 2 ] ( - )										

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	101 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{101} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



2 授業科目の概要

<教育人文学部 文芸文化学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担	科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担													
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	教					准	講	助	助	必修	選択	自由	教	准		講	助	助										
共通科目	ゼミナール	入門ゼミナール コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール 課題解決ゼミナール 総合ゼミナール	1前 1前・後 1・2・3・4後 2・3前・後 3・4前・後	2 1 2 2 2			3 1 2 2 2	1 1 2 2 2	1 1 1 1 1								4 12 2 2 2	共通科目	ゼミナール	入門ゼミナール コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール 課題解決ゼミナール 総合ゼミナール	1前 1前 1・2・3・4後 2・3前・後 3・4前・後	2 1 2 2 2				3 0 0 0 2	2 0 0 0 1	1 1 1 1 1					2 2 9 2 2					
	総合	地域で学ぶ 地域と人間生活 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 総合科目 自主社会活動	1・2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3・4後 2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 1			1 1 1 1 1 1										2 6 2 3 1 1			総合	地域で学ぶ 地域と人間生活 人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 総合科目 自主社会活動	1・2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3・4後 2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 2 2 1						1 1 1 1 1 1	1 1 1 3 9 1								
	女性を生きる	キャリアデザインとライフプラン リーガルリテラシー ジェンダーリテラシー 子育てと環境 女性と健康 女性の心と身体 食の科学 歴史のなかの女性 芸術を読みとる	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1・2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2																	女性を生きる	キャリアデザインとライフプラン リーガルリテラシー ジェンダーリテラシー 子育てと環境 女性と健康 女性の心と身体 食の科学 歴史のなかの女性 芸術を読みとる	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1・2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2											2 1 1 4 2 2 1 1 1			
	社会に生きる	グローバル社会 ネットワーク社会 共生社会入門 多様性と倫理 持続可能な社会 くらしのなかの日本国憲法 ボランティア論 災害と社会 21世紀型の教育	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2			1 1 1 1 1															社会に生きる	グローバル社会 ネットワーク社会 共生社会入門 多様性と倫理 持続可能な社会 くらしのなかの日本国憲法 ボランティア論 災害と社会 21世紀型の教育	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1前・後 1・2・3後 1・2・3前・後 2・3前・後 2・3前・後	2 2 2 2 2 2 2 2 2			1 1 1 1	1 1 1						1 1 1 3 1 1 1 1			
	体育健	身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ	1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1																		体育健	身体運動Ⅰ 身体運動Ⅱ	1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1										1 15			
	処理報	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1・2・3・4後	1 1																		処理報	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1・2・3・4後	1 1										2 1			
	外国語(基礎科目)	英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb 海外語学研修	1前 1後 2・3・4前 2・3・4後 1前 1後 2・3・4前 2・3・4後 1前 1後 1前 1後 1・2・3・4前	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1																		外国語(基礎科目)	英語Ⅰa 英語Ⅰb 英語Ⅱa 英語Ⅱb 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 朝鮮語Ⅰa 朝鮮語Ⅰb フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb 海外語学研修 (未開講)	1前 1後 2・3・4前 2・3・4後 1前 1後 2・3・4前 2・3・4後 1前 1後 1前 1後 1・2・3・4前	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1									3 2 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 1





【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	日本語	日本語基礎	1前	2				2			1	
		日本語表現Ⅰ	1後	2			1	1			1	
		日本語表現Ⅱ	2後	2			1		1		2	
		日本語表現Ⅲ	3後	2			2	1				
	読む	朗読	1・2・3前		1		1					
		精読	1・2・3前		1		1					
		演劇表現	1・2・3後		1			1				
		読み聞かせ	1・2・3後		1		1					
		文章創作	1・2・3前		1						1	
	書く	ジャーナリズムの文章	1・2・3後		1		1					1
		実用書道(硬筆)	1・2・3前		1						1	
		実用書道(毛筆)	1・2・3前		1						1	
		くらしの中のことば	1・2・3前		1		1					1
	話す・聞く	手話表現	1・2・3後		1						1	
		表現技法	1・2・3前		1		1	1				
		ことばあそび	1・2・3後		1		1	1				
		多文化スタディーズ	1・2・3後		2		1					
	ワークショップ科目	文化発信プロジェクト	2・3・4前		2		1					
		着物の文化	2・3・4前		2		1					
		書籍空間論	2・3・4前		2			1				
和本の文化		2・3・4後		2		1	1				1	
小説研究		2・3・4後		2							1	
エディター入門		2・3・4後		2		1						
デジタルアート入門		2・3・4後		2							1	
デザイン書道(硬筆)		2・3・4後		1							1	
デザイン書道(毛筆)	2・3・4後		1							1		
日本語・日本文学科目	日本語学入門	1前	2				1					
	日本文学概論	2前	2								1	
	日本文学史A	1・2後	2								1	
	日本文学史B	1・2前	2								1	
	日本文学史C	1・2後	2			1						
	音声表現	2・3・4後	2			1						
	漢詩・漢文に親しむ	2・3・4前	2								1	
	日本語学A	2・3・4前	2				1					
	日本語学B	2・3・4前	2			1						
	日本語学研究A	2・3・4後	2				1					
	日本語学研究B	2・3・4後	2			1						
	日本文学論A	2・3・4前	2								1	
	日本文学論B	2・3・4前	2			1						
	日本文学論C	2・3・4前	2			1						
	日本文学研究A	2・3・4後	2								1	
	日本文学研究B	2・3・4後	2			1						
	日本文学研究C	2・3・4後	2			1						
	言語学入門	1・2後	2			1						
	日本文学の名作	1・2前	2								1	
	編集文化論	2・3・4前	2			1						
日本語音声学	2・3・4前	2			1							
児童文学	2・3・4前	2								1		
物語分析	2・3・4前	2								1		

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
多文化理解・共生科目	多文化理解入門	1前	2			1							
	多文化理解概論	1後	2				1						
	日本と異文化	1・2前	2			1							
	多文化社会とコミュニケーション	1・2後	2					1					
	多文化共生ワークショップ	1・2・3前	2			1		2					
	英語で学ぶ日本文化	2・3・4前	2			1		1					
	英語で伝える日本文化	2・3・4後	2			1		1					
	海外文学の名作	1・2後	2				1						
	国際文化論	2・3・4前	2					1					
	比較文化論	2・3・4前	2				1						
	比較文化研究	2・3・4後	2			1							
	世界のファンタジー	2・3・4前	2				1						
	多文化社会とユーモア	2・3・4後	2				1						
	アニメ文化論	2・3・4前	2								1		
	ディズニー研究	2・3・4後	2									1	
	芸術・文化科目	芸術文化概論	2後	2			1						
		日本文化特講	3前	2			1						
		生涯学習概論	1・2前	2							1		
		日本美術史	1・2後	2									
西洋美術史		1・2前	2								1		
文化財研究		2・3・4後	2					1					
日本の民俗文化		2・3・4前	2			1							
文化を考える		1・2前	2			1							
図書の文化		2・3・4前	2				1						
衣食住の文化		2・3・4後	2								1		
映像文化論		2・3・4後	2								1		
世界の演劇		2・3・4前	2				1						
芸術と歴史		2・3・4前	2									1	
テーマで触れる芸術		2・3・4前	2			1							
生活とデザイン		2・3・4後	2									1	
考える日本史		2・3・4後	2									1	
神話・伝承学		2・3・4前	2			1							
芸能の世界		2・3・4後	2									1	
舞台芸術		2・3・4後	2									1	
ミュージカル研究	2・3・4前	2									1		
身体と表現	2・3・4前	2									1		
ゼミナール	基礎演習	1後	1			4	1						
	文芸文化ゼミⅠ	2前	1			4	2	1					
	文芸文化ゼミⅡ	2後	1			3	1	1					
	文芸文化テーマ研究ゼミ	3通	2			6	3	2					
卒業研究	卒業研究	4通	4			6	3	2					
小計 (90科目)	-	29	136	0	7	3	2				22		
合計 (179科目)	-	37	263	0	7	3	2				87		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
多文化理解・共生科目	多文化理解入門	1前	2			1							
	多文化理解概論	1後	2				1						
	日本と異文化	1・2前	2			1							
	多文化社会とコミュニケーション	1・2後	2					1					
	多文化共生ワークショップ	1・2・3前	2			1		2					
	英語で学ぶ日本文化	2・3・4前	2			1		1					
	英語で伝える日本文化	2・3・4後	2			1		1					
	海外文学の名作	1・2後	2				1						
	国際文化論	2・3・4前	2					1					
	比較文化論	2・3・4前	2				1						
	比較文化研究	2・3・4後	2			1							
	世界のファンタジー	2・3・4前	2				1						
	多文化社会とユーモア	2・3・4後	2				1						
	アニメ文化論	2・3・4前	2									1	
	ディズニー研究	2・3・4後	2									1	
	芸術・文化科目	芸術文化概論	2後	2			1						
		日本文化特講	3前	2			1						
		生涯学習概論	1・2前	2								1	
		日本美術史	1・2後	2									
西洋美術史		1・2前	2									1	
文化財研究		2・3・4後	2					1					
日本の民俗文化		2・3・4前	2			1							
文化を考える		1・2前	2			1							
図書の文化		2・3・4前	2				1						
衣食住の文化		2・3・4後	2									1	
映像文化論		2・3・4後	2									1	
世界の演劇		2・3・4前	2				1						
芸術と歴史		2・3・4前	2									1	
テーマで触れる芸術		2・3・4前	2			1							
生活とデザイン		2・3・4後	2									1	
考える日本史		2・3・4後	2									1	
神話・伝承学		2・3・4前	2			1							
芸能の世界		2・3・4後	2									1	
舞台芸術		2・3・4後	2									1	
ミュージカル研究	2・3・4前	2									1		
身体と表現	2・3・4前	2									1		
ゼミナール	基礎演習	1後	1			4	1	1					
	文芸文化ゼミⅠ	2前	1			4	2	1					
	文芸文化ゼミⅡ	2後	1			3	1	1					
	文芸文化テーマ研究ゼミ	3通	2			6	3	2					
卒業研究	卒業研究	4通	4			6	3	2					
小計 (90科目)	-	29	136	0	7	3	2				23		
合計 (179科目)	-	37	263	0	7	3	2				103		

卒業要件及び履修方法

卒業要件及び履修方法

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。  
 専門科目から、必修科目15科目29単位を含めた90単位以上を修得すること。  
 その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。  
 合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。  
 専門科目から、必修科目15科目29単位を含めた90単位以上を修得すること。  
 その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。  
 合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字として記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授3」「准教授1」「講師1」から「教授3」「准教授2」「講師1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「コミュニケーション演習」の配当年次を、「1前・後」から「1前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「コミュニケーション演習」の教員配置を、「教授1」「准教授1」「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「教授2」「准教授2」「講師1」「兼任・兼任12」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「准教授1」「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「女性と健康」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「グローバル社会」の教員配置を、「准教授1」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「くらしのなかの日本国憲法」の配当年次を、「1・2・3 前・後」から「1・2・3 後」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼任12」から「兼任・兼任15」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「教授1」「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンス・ライティング」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「教授1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「1・2・3・4前・後」から「2・3・4前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「総合日本語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「講師1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語表現技術Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 担当教員の変更により、「日本語表現技術Ⅲ」の教員配置を、「講師1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語研究A(時事Ⅰ)」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「講師1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語表現Ⅰ」の教員配置を、「准教授1」「講師1」「兼任・兼任1」から「准教授1」「講師2」「講師1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員定年前のため、「日本文学史A」の教員は、令和4年度までは「教授1」、令和5年度より「兼任・兼任1」。
- ・ 担当教員定年前のため、「日本文学の名作」の教員は、令和4年度までは「教授1」、令和5年度より「兼任・兼任1」。
- ・ 教育効果を考慮し、「基礎演習」の教員配置を、「教授4」「准教授1」から「教授4」「准教授1」「講師1」に変更。

- (注) ・ 2(1)①授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	159 科目	科目	179 科目	20 科目 [ 0 ]	159 科目 [ 0 ]	科目 [ ]	179 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	海外語学研修	1	1・2・3・4前	一般科目	選択	コロナ禍に伴う海外渡航制限のため。代替措置無し
2	英語コミュニケーション応用	2	1・2・3・4前・後	一般科目	選択	対面を前提とした授業のため、社会情報学部以外はR3年度開講に変更
3	演劇表現	1	1・2・3後	専門科目	選択	教員コマ数調整のため、R3年度開講

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

海外語学研修は各国の日本人に対する海外渡航制限の影響もありやむを得ずR2年度は非開講とし、学内メールにて学生には周知を行った。また、英語コミュニケーション演習も対面を前提とした授業であったため、選択必修の学科は次年度開講へと予定を変更した。演劇表現は教員のコマ数調整のため、本年度非開講とし、次年度以降通常開講予定とした。学生にはシステム時間割上の変更にて通知。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{179} = \boxed{1.67} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	24,118 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	24,118 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	39,202 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	39,202 m <sup>2</sup>				
	小 計	63,320 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	63,320 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	21,905 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	21,905 m <sup>2</sup>				
	合 計	85,225 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	85,225 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		30,715 m <sup>2</sup> ( 30,715 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	30,715 m <sup>2</sup> ( 30,715 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等		講 義 室 55 室 <del>53 室</del>	演 習 室 48 室	実験実習室 29 室 <del>19 室</del>	情報処理学習施設 8 室 <del>7 室</del> (補助職員 一人)	語学学習施設 7 室 <del>9 室</del> (補助職員 一人)	大学全体 学生の修学環境の見直しを行い、学修施設を増やした。ただし、語学学習施設は、学内組織の変更により2室減となった。(2)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		【幼児教育】 自己都合退職者1名分減 (2)		
		教育人文学部 幼児教育学科			20 <del>21</del> 室				
		教育人文学部 児童教育学科			16 室				
		教育人文学部 心理学科			13 室				
		教育人文学部 文芸文化学科			13 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数 閲覧席増加のため、資料 移設、図書資料の除 籍をおこなったこと により蔵書冊数は減少し た。(2)	
	大学全体	189,906 [20,970] <del>(179,390 [20,333])</del> <del>(181,906 [20,570])</del>	706 [207] <del>(703 [206])</del> <del>(706 [207])</del>	18 [4] <del>(20 [4])</del> <del>(18 [4])</del>	4,896 <del>(4,442)</del> <del>(4,416)</del>	15,487 (12,630)	90 (72)		
	計	189,906 [20,970] <del>(179,390 [20,333])</del> <del>(181,906 [20,570])</del>	706 [207] <del>(703 [206])</del> <del>(706 [207])</del>	18 [4] <del>(20 [4])</del> <del>(18 [4])</del>	4,896 <del>(4,442)</del> <del>(4,416)</del>	15,487 (12,630)	90 (72)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		1,930 m <sup>2</sup>		391 <del>345</del>		150,722 <del>146,639</del>			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		3,253 m <sup>2</sup>		該 当 な し 該 当 な し					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	170千円	170千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
	共 同 研 究 費 等	17,000千円	17,000千円	設備購入費	100,000千円	100,000千円	50,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	幼児教育学科 児童教育学科	
1,350千円		1,260千円	1,260千円	1,260千円	— 千円	— 千円			
1,330千円		1,240千円	1,240千円	1,240千円	— 千円	— 千円	心理学科 文芸文化学科		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	十文字学園女子大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間生活学部	4	350	3年次 15	350	-	1.04	1.04	令和2	令和2		
健康栄養学科	4	120	3年次 5	120	学士 (栄養学)	1.03	1.03	令和2	令和2		
食物栄養学科	4	120	3年次 10	120	学士 (栄養学)	1.05	1.05	令和2	令和2		
食品開発学科	4	40	-	160	学士 (食品学)	0.77	0.77	令和2	令和2		
人間福祉学科	4	70	-	70	学士 (社会福祉学)	1.18	1.18	令和2	令和2		
社会福祉・介護福祉コース	4	20	-	-	学士 (社会福祉学)	1.50	1.50	令和2	令和2		
社会福祉・保育コース	4	50	-	-	学士 (社会福祉学)	1.06	1.06	令和2	令和2		
教育人文学部	4	440	3年次 5	440	-	1.17	1.17	令和2	令和2		
幼児教育学科	4	170	-	170	学士 (教育学)	1.02	1.02	令和2	令和2		
児童教育学科	4	80	-	80	学士 (教育学)	1.08	1.08	令和2	令和2		
心理学科	4	120	-	120	学士 (心理学)	1.27	1.27	令和2	令和2		
文芸文化学科	4	70	3年次 5	70	学士 (文学)	1.44	1.44	令和2	令和2		
社会情報デザイン学部	4	130	3年次 5	130	-	1.33	1.33	令和2	令和2		
社会情報デザイン学科	4	130	3年次 5	130	学士 (社会学)	1.33	1.33	令和2	令和2	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号	
(旧) 人間生活学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成23		(旧) 人間生活学部 令和2年度より学生募集停止
幼児教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
児童教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成23		
人間発達心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	平成23		
人間福祉学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・介護福祉コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
社会福祉・保育コース	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成27		
健康栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成27		
食物栄養学科	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	平成23		
文芸文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成27		
生活情報学科	4	-	-	-	学士 (社会情報学)	-	-	-	平成23		
メディアコミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (コミュニケーション学)	-	-	-	平成23		
大学全体	-	920	25	920	-	-	-	-	-		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
人間生活学研究科								-	-	
食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (栄養学)	1.16	1.00	-	平成28	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号
食物栄養学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (栄養学)	0.80	0.60	-	平成22	
研究科全体	-	7	-	16	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



5 教員組織の状況

<教育人文学部 文芸文化学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	787 773 赤間 恵都子 <令和2年4月>	キャリアデザイン入門 日本語表現Ⅲ 和本の文化※ 日本文学概論 日本文学史A 日本文学論A 日本文学研究A 日本文学の各作 基礎演習 文芸文化ゼミⅡ	専	教授	787 773 赤間 恵都子 <令和2年4月>	キャリアデザイン入門 日本語表現Ⅲ 和本の文化※ 日本文学概論 日本文学史A 日本文学論A 日本文学研究A 日本文学の各作 <b>基礎演習</b> <b>文芸文化ゼミⅡ</b> <b>入門ゼミナール</b>
専	教授	497 511 石野 栄一 <令和2年4月>	入門ゼミナール 地域で学ぶ 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成 日本語表現Ⅲ ジャーナリズムの文章 文化祭制作プロジェクト エッセイ入門 編集文化論 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専	教授	497 511 石野 栄一 <令和2年4月>	<b>入門ゼミナール</b> <b>地域で学ぶ</b> 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成 日本語表現Ⅲ ジャーナリズムの文章 文化祭制作プロジェクト エッセイ入門 編集文化論 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究
専	教授	207 216 小林 美 <令和2年4月>	入門ゼミナール 和本の文化※ 日本文学史C 日本文学概論B 日本文学研究B 多文化理解入門 日本と異文化 比較文化研究 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専	教授	207 216 小林 美 <令和2年4月>	<b>入門ゼミナール</b> 和本の文化※ 日本文学史C 日本文学概論B 日本文学研究B 多文化理解入門 日本と異文化 比較文化研究 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 <b>基礎演習</b>
専	教授	シラ シェイラ sheila Cliffe <令和2年4月>	入門ゼミナール コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語 異物の文化 英語で学ぶ日本文化 英語で伝える日本文化 文芸文化ゼミⅢ	専	教授	シラ シェイラ sheila Cliffe <令和2年4月>	入門ゼミナール <b>コミュニケーション演習</b> 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b ビジネス英語 異物の文化 英語で学ぶ日本文化 英語で伝える日本文化 文芸文化ゼミⅢ <b>演習Ⅰ</b> <b>アドバンス・ライティング</b>
専	教授	397 404 武田 比呂男 <令和2年4月>	入門ゼミナール 日本語表現Ⅱ 日本文学論C 日本文学研究C 日本文化概論 日本の民俗文化 文化を伝える 演習・応用 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専	教授	397 404 武田 比呂男 <令和2年4月>	<b>入門ゼミナール</b> 日本語表現Ⅱ 日本文学論C 日本文学研究C 日本文化概論 日本の民俗文化 文化を伝える 演習・応用 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 <b>基礎演習</b>
専	教授	ヒガシ ヒロコ 樋口 一貴 <令和2年4月>	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 読書を中心とする 芸術文化概論 日本美術史 テーマで触れる芸術 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専	教授	ヒガシ ヒロコ 樋口 一貴 <令和2年4月>	入門ゼミナール <b>読書入門ゼミナール</b> 読書を中心とする 芸術文化概論 日本美術史 テーマで触れる芸術 <b>基礎演習</b> 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究
専	教授	773 791 松永 修一 <令和2年4月>	入門ゼミナール 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成 日本語表現Ⅲ 表現技法※ ことばあそび※ 多文化コミュニケーション 日本語学B 日本語学研究B 言語学入門 日本語教育 多文化共生ワークショップ 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専	教授	773 791 松永 修一 <令和2年4月>	<b>入門ゼミナール</b> 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成 日本語表現Ⅲ 表現技法※ ことばあそび※ 多文化コミュニケーション 日本語学B 日本語学研究B 言語学入門 日本語教育 多文化共生ワークショップ <b>基礎演習</b> 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究

専	教授	<p>好本 恵 好本 恵 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 朗読 読み聞かせ くらしの中のことば 音声表現 基礎演習 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究</p>	専	教授	<p>好本 恵 好本 恵 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p><b>入門ゼミナール</b> <b>読書入門ゼミナール</b> 朗読 読み聞かせ くらしの中のことば 音声表現 基礎演習 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究</p>
専	准教授	<p>石川 敬史 石川 敬史 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 書籍空間論 和本の文化※ 図書の文化 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究</p>	専	准教授	<p>石川 敬史 石川 敬史 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 書籍空間論 和本の文化※ 図書の文化 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究</p>
専	准教授	<p>落合 真裕 落合 真裕 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会 演劇表現 多文化理解概論 海外文学の名作 はな文壇論 世界のファンタジー 多文化社会とユーモア 世界の演劇 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究</p>	専	准教授	<p>落合 真裕 落合 真裕 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール <b>コミュニケーション演習</b> <b>読書入門ゼミナール</b> グローバル社会 <b>演劇表現</b> 多文化理解概論 海外文学の名作 はな文壇論 世界のファンタジー 多文化社会とユーモア 世界の演劇 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究</p>
専	准教授	<p>星野 祐子 星野 祐子 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 日本語検定対策講座 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅲ 表現技法※ ことばあそび※ 日本語学入門 日本語学A 日本語学研究A 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究</p>	専	准教授	<p>星野 祐子 星野 祐子 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p><b>入門ゼミナール</b> 日本語検定対策講座 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅲ 表現技法※ ことばあそび※ 日本語学入門 日本語学A 日本語学研究A 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 <b>総合科目</b></p>
専	講師	<p>新嶋 良重 新嶋 良重 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 日本語基礎 日本語表現Ⅱ 多文化共生ワークショップ 英語で学ぶ日本文化 英語で伝える日本文化 国際文化論 文化財研究 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究</p>	専	講師	<p>新嶋 良重 新嶋 良重 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 日本語基礎 日本語表現Ⅱ 多文化共生ワークショップ 英語で学ぶ日本文化 英語で伝える日本文化 国際文化論 文化財研究 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 <b>グローバル社会</b> <b>日本語表現Ⅰ</b> <b>基礎演習</b></p>
専	講師	<p>山下 悠貴乃 山下 悠貴乃 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p>入門ゼミナール 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ 日本語表現技術Ⅱ 日本語集中講座（編入）※ 日本語基礎 日本語表現Ⅰ 多文化社会とコミュニケーション 多文化共生ワークショップ 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究</p>	専	講師	<p>山下 悠貴乃 山下 悠貴乃 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p><b>入門ゼミナール</b> 総合日本語Ⅰb 総合日本語Ⅱb 総合日本語Ⅲb 日本語表現技術Ⅰ <b>日本語表現技術Ⅱ</b> 日本語集中講座（編入）※ 日本語基礎 日本語表現Ⅰ 多文化社会とコミュニケーション 多文化共生ワークショップ 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 <b>日本語表現技術Ⅱ</b></p>
兼担	教授	<p>安達 一寿 安達 一寿 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p>コミュニケーション演習 総合ゼミナール キャリアサポート演習</p>	兼担	教授	<p>安達 一寿 安達 一寿 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p><b>コミュニケーション演習</b> 総合ゼミナール キャリアサポート演習</p>
兼担	教授	<p>飯田 路佳 飯田 路佳 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p>女性の心と身体 身体運動Ⅱ</p>	兼担	教授	<p>飯田 路佳 飯田 路佳 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p>女性の心と身体 身体運動Ⅱ</p>
兼担	教授	<p>池川 繁樹 池川 繁樹 &lt;令和3年4月&gt;</p> <p>地域と人間生活</p>			
兼担	教授	<p>池間 里代子 池間 里代子 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p>読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外留学研修 中国語試験対策講座</p>	兼担	教授	<p>池間 里代子 池間 里代子 &lt;令和2年4月&gt;</p> <p><b>読書入門ゼミナール</b> 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb <b>海外留学研修</b> 中国語試験対策講座</p>

					伊藤 雄之 石山 隆之 ＜令和2年4月＞
					身体運動Ⅰ 総合科目
兼担	教授	大友 由紀子 ＜令和2年4月＞ キャリアデザインとライフプラン		大友 由紀子 ＜令和2年4月＞ キャリアデザインとライフプラン	
					島岡 文明 ＜令和2年4月＞
					自主社会活動
兼担	教授	片居木 英人 ＜令和2年4月＞ ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法		片居木 英人 ＜令和2年4月＞ ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法	
兼担	教授	狩野 浩二 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育		狩野 浩二 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育 総合科目	
兼担	教授	向後 (田中) 朋美 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンスト・リスニング		向後 (田中) 朋美 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンスト・リスニング	
兼担	教授	齋藤 忍 ＜令和3年4月＞ 人間理解ワークショップ			
兼担	教授	佐藤 陽 ＜令和2年4月＞ ポランディア論		佐藤 陽 ＜令和2年4月＞ ポランディア論	
兼担	教授	設楽 (松尾) 優子 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 英語Ⅰa アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座		設楽 (松尾) 優子 ＜令和2年4月＞ コミュニケーション演習 英語Ⅰa アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 英語Ⅰb アドバンスト・リーディング	
兼担	教授	杉元 葉子 ＜令和3年4月＞ 課題解決ゼミナール		杉元 葉子 ＜令和2年4月＞ 総合科目	
兼担	教授	鈴木 康弘 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ		鈴木 康弘 ＜令和2年4月＞ 身体運動Ⅱ	
兼担	教授	高谷 和成 ＜令和3年4月＞ 地域と人間生活			
兼担	教授	田倉 昭 ＜令和3年4月＞ キャリア基礎力Ⅰ			
兼担	教授	棚谷 祐一 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール キャリア基礎力Ⅱ		棚谷 祐一 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール キャリア基礎力Ⅱ	
兼担	教授	田総 恵子 ＜令和2年4月＞ 持続可能な社会		田総 恵子 ＜令和2年4月＞ 持続可能な社会	
兼担	教授	角田 真二 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ		角田 真二 ＜令和2年4月＞ 読書入門ゼミナール 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	
兼担	教授	長田 (鈴木) 瑞恵 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境		長田 (鈴木) 瑞恵 ＜令和2年4月＞ 子育てと環境	

			<p>併任 教授</p> <p>名倉 男子 ＜令和2年4月＞</p> <p>総合科目</p>
兼担	教授	<p>とや けい 平田 敬秋 ＜令和2年4月＞</p> <p>身体運動Ⅱ</p>	<p>とや けい 平田 敬秋 ＜令和2年4月＞</p> <p>身体運動Ⅱ</p>
兼担	教授	<p>ふせ けい 布施 晴美 ＜令和2年4月＞</p> <p>人間関係ワークショップ 女性の心と身体</p>	<p>ふせ けい 布施 晴美 ＜令和2年4月＞</p> <p>人間関係ワークショップ 女性の心と身体</p>
兼担	教授	<p>あし けい 星野 敬子 ＜令和2年4月＞</p> <p>地域で学ぶ 生涯学習概論</p>	<p>あし けい 星野 敬子 ＜令和2年4月＞</p> <p>地域で学ぶ 生涯学習概論 総合科目</p>
兼担	教授	<p>まつ けい 松岡 敬明 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習</p>	<p>まつ けい 松岡 敬明 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習</p>
兼担	教授	<p>まつ けい 松本 晃子 ＜令和2年4月＞</p> <p>キャリアデザインとライフプラン</p>	<p>まつ けい 松本 晃子 ＜令和2年4月＞</p> <p>キャリアデザインとライフプラン 総合科目</p>
兼担	教授	<p>やま けい 山田 陽子 ＜令和2年4月＞</p> <p>人間関係とコミュニケーション 人間関係ワークショップ 子育てと環境</p>	<p>やま けい 山田 陽子 ＜令和2年4月＞</p> <p>人間関係とコミュニケーション 人間関係ワークショップ 子育てと環境</p>
兼担	教授	<p>やま けい 山本 悟 ＜令和2年4月＞</p> <p>身体運動Ⅱ</p>	<p>やま けい 山本 悟 ＜令和2年4月＞</p> <p>身体運動Ⅱ</p>
兼担	教授	<p>よし けい 吉田 亨 ＜令和2年4月＞</p> <p>地域と人間生活 共生社会入門</p>	<p>よし けい 吉田 亨 ＜令和2年4月＞</p> <p>地域と人間生活 共生社会入門</p>
兼担	教授	<p>よし けい 鎌井 雅康 ＜令和2年4月＞</p> <p>人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期</p>	<p>よし けい 鎌井 雅康 ＜令和2年4月＞</p> <p>人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期</p>
			<p>併任 教授</p> <p>竹之内 修 ＜令和2年4月＞</p> <p>コミュニケーション演習</p>
兼担	准教授	<p>あべ (あけみ) 史 阿部 (神崎) 史 ＜令和2年4月＞</p> <p>リーガルリテラシー</p>	
兼担	准教授	<p>よし けい 鎌井 桜子 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門ゼミナール</p>	<p>よし けい 鎌井 桜子 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門ゼミナール</p>
			<p>併任 准教授</p> <p>原村 九昇 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門ゼミナール</p>
			<p>併任 准教授</p> <p>石田 (今村) 有雄 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門ゼミナール</p>
兼担	准教授	<p>あし けい 梶野 涼子 ＜令和3年4月＞</p> <p>食の科学</p>	
兼担	准教授	<p>あし けい 加藤 暎子 ＜令和3年4月＞</p> <p>課題解決ゼミナール 舞台芸術</p>	
兼担	准教授	<p>あし けい 加藤 亮介 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門ゼミナール</p>	<p>あし けい 加藤 亮介 ＜令和2年4月＞</p> <p>読書入門ゼミナール</p>

兼担	准教授	川口 英俊 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール くらしのなかの日本国憲法	兼担	准教授	川口 英俊 <令和2年4月> <b>読書入門ゼミナール</b> くらしのなかの日本国憲法
兼担	准教授	久保田 葉子 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	久保田 葉子 <令和2年4月> <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	准教授	古明地 夕佳 <令和3年4月> 地域と人間生活			
兼担	准教授	鈴木 晴子 <令和2年4月> 子育てと環境	兼担	准教授	鈴木 晴子 <令和2年4月> 子育てと環境
			兼担	准教授	菅野 麻紀 <令和2年4月> <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	准教授	徳野 裕子 <令和2年4月> 女性と健康	兼担	准教授	徳野 裕子 <令和2年4月> 女性と健康
兼担	准教授	三藤 あさみ <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	准教授	三藤 あさみ <令和2年4月> <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	講師	福田 朋晃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座(編入)※	兼担	講師	福田 朋晃 <令和2年4月> 総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa <b>日本語表現技術Ⅱ</b> 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) <b>日本語能力試験対策講座Ⅰ</b> <b>日本語能力試験対策講座Ⅱ</b> 日本語集中講座(編入)※ <b>総合日本語Ⅰb</b> <b>日本語表現技術Ⅱ</b> <b>日本語研究A(論事Ⅰ)</b>
兼担	講師	神田 俊平 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	講師	神田 俊平 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	講師	仇 曉芸 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb	兼担	講師	仇 曉芸 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb <b>総合科目</b>
兼担	講師	高越 優希 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	兼担	講師	高越 優希 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ
			兼担	講師	野田 日出子 <令和2年4月> <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	講師	見吉 英彦 <令和2年4月> 読書入門ゼミナール	兼担	講師	見吉 英彦 <令和2年4月> <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	講師	若菜 京良 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	講師	若菜 京良 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼担	講師	渡辺 肇夫 <令和3年4月> 地域と人間生活	兼担	講師	渡辺 肇夫 <令和2年4月> <b>読書入門ゼミナール</b>
兼担	講師	渡邊 孝枝 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼担	講師	渡邊 孝枝 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼担	助教	近藤 有紀子 <令和2年4月> 子育てと環境	兼担	助教	近藤 有紀子 <令和2年4月> 子育てと環境

兼任 助教	<p>稲葉 美樹 倉若 美樹樹 &lt;令和3年4月&gt; 地域と人間生活</p>		
		兼任 講師	<p>教山 まき子 &lt;令和2年4月&gt; 英語 I a TOEIC対策講座</p>
兼任 講師	<p>東 聖子 7Aマ ショカ &lt;令和2年4月&gt; 日本文学史 B 日本文学 芸術と歴史</p>	兼任 講師	<p>東 聖子 7Aマ ショカ &lt;令和2年4月&gt; 日本文学史 B 日本文学 芸術と歴史</p>
兼任 講師	<p>安達 宏之 79マ シロキ &lt;令和2年4月&gt; 多様性と倫理 くらしのなかの日本国憲法</p>	兼任 講師	<p>安達 宏之 79マ シロキ &lt;令和2年4月&gt; 多様性と倫理 くらしのなかの日本国憲法</p>
兼任 講師	<p>生田 慶穂 イノ 31清 &lt;令和3年4月&gt; 衣食住の文化</p>		
兼任 講師	<p>石黒 教子 イノロ ノコ &lt;令和3年4月&gt; デジタルアート入門</p>		
兼任 講師	<p>稲葉 美樹 イカミ 34 &lt;令和2年4月&gt; 日本語表現 I 日本語表現 II</p>	兼任 講師	<p>稲葉 美樹 イカミ 34 &lt;令和2年4月&gt; 日本語表現 I 日本語表現 II</p>
兼任 講師	<p>宇野 和 ウノ 和ミ &lt;令和2年4月&gt; 日本語基礎 日本語表現 II</p>	兼任 講師	<p>宇野 和 ウノ 和ミ &lt;令和2年4月&gt; 日本語基礎 日本語表現 II</p>
兼任 講師	<p>越後 節子 エチノ 77 &lt;令和2年4月&gt; 手話表現</p>	兼任 講師	<p>越後 節子 エチノ 77 &lt;令和2年4月&gt; 手話表現</p>
兼任 講師	<p>江藤 茂博 エノ サト &lt;令和3年4月&gt; 映像文化論</p>		
兼任 講師	<p>藤原 洋 フジノ 77 &lt;令和2年4月&gt; 身体運動 II</p>	兼任 講師	<p>藤原 洋 フジノ 77 &lt;令和2年4月&gt; 身体運動 II</p>
		兼任 講師	<p>大友 響子 オホトモ 77 &lt;令和2年4月&gt; 英語 I a 英語 I b</p>
		兼任 講師	<p>小笠原 真子 オガハラ マコ &lt;令和2年4月&gt; 日本語能力試験対策講座 I 日本語能力試験対策講座 II</p>
兼任 講師	<p>加藤 重 カト 重 &lt;令和2年4月&gt; 日本語研究 A (時事 I) 日本語研究 B (時事 II)</p>	兼任 講師	<p>加藤 重 カト 重 &lt;令和2年4月&gt; 日本語研究 A-(時事 I)- 日本語研究 B (時事 II)</p>
		兼任 講師	<p>川口 かしみ カガキ カシミ &lt;令和2年4月&gt; リーガルリテラシー</p>
兼任 講師	<p>小林 (登喜) 明子 コバヤシ (トキ) アキコ &lt;令和2年4月&gt; 西洋美術史</p>	兼任 講師	<p>小林 (登喜) 明子 コバヤシ (トキ) アキコ &lt;令和2年4月&gt; 西洋美術史</p>
		兼任 講師	<p>弘江 龍彦 ヒロエ リウ彦 &lt;令和2年4月&gt; 情報処理演習 I</p>
兼任 講師	<p>斎藤 秀昭 イサヰ ヒデアキ &lt;令和2年4月&gt; 文章創作 小説研究 物語分析</p>	兼任 講師	<p>斎藤 秀昭 イサヰ ヒデアキ &lt;令和2年4月&gt; 文章創作 小説研究 物語分析</p>

兼任	講師	特待生 理枝子 <令和2年4月> 英語 I a 英語 I b 英語 II a 英語 II b	兼任	講師	特待生 理枝子 <令和2年4月> 英語 I a 英語 I b 英語 II a 英語 II b
兼任	講師	特待生 典子 <令和2年4月> 身体運動 II	兼任	講師	特待生 典子 <令和2年4月> 身体運動 II
			兼任	講師	特待生 慶子 <令和2年4月> 女性と職業
兼任	講師	特待生 次郎 <令和3年4月> 災害と社会			
兼任	講師	清水 裕明 <令和3年4月> 身体と表現			
兼任	講師	清水 文子 <令和2年4月> 身体運動 I 身体運動 II	兼任	講師	清水 文子 <令和2年4月> 身体運動 I 身体運動 II
兼任	講師	清水 玲子 <令和3年4月> ミュージカル研究			
兼任	講師	鈴木 慈子 <令和2年4月> 実用書道（毛筆）	兼任	講師	鈴木 慈子 <令和2年4月> 実用書道（毛筆）
兼任	講師	田中 正樹 <令和3年4月> 漢語・漢文に親しむ			
兼任	講師	谷 洋子 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング ディズニー研究	兼任	講師	谷 洋子 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング ディズニー研究 TOEIC対策講座
兼任	講師	千足 謙一 <令和2年4月> 身体運動 II	兼任	講師	千足 謙一 <令和2年4月> 身体運動 II
兼任	講師	曹 善 <令和2年4月> 朝鮮語 I a 朝鮮語 I b	兼任	講師	曹 善 <令和2年4月> 朝鮮語 I a 朝鮮語 I b
			兼任	講師	土井 博晴 <令和2年4月> 総合科目
			兼任	講師	岡崎 史子 <令和2年4月> 中国語 I a 中国語 I b
			兼任	講師	齋藤 典代 <令和2年4月> 身体運動 II
兼任	講師	中島 紀子 <令和2年4月> 日本語研究 F（人文科学）	兼任	講師	中島 紀子 <令和2年4月> 日本語研究 F（人文科学）
			兼任	講師	長瀬 隆一 <令和2年4月> 朝鮮語 I a 朝鮮語 I b
兼任	講師	名見那 摩 <令和2年4月> 情報処理演習 I	兼任	講師	名見那 摩 <令和2年4月> 情報処理演習 I

			兼任 講師 三井 仁壽 卓 <令和2年4月> 身体運動Ⅰ
兼任 講師		三井 仁壽 卓 <令和3年4月> アニメ文化論	
兼任 講師		三井 仁壽 卓 <令和2年4月> ネットワーク社会	兼任 講師 <令和2年4月> ネットワーク社会
兼任 講師		三井 仁壽 卓 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ	兼任 講師 <令和2年4月> 身体運動Ⅱ
兼任 講師		三井 仁壽 卓 <令和3年4月> 芸術の世界	
			兼任 講師 三井 仁壽 卓 <令和2年4月> 総合科目
			兼任 講師 三井 仁壽 卓 <令和2年4月> フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb
兼任 講師		三井 仁壽 卓 Mabesone Laurent <令和2年4月> フランス語Ⅰa フランス語Ⅰb	
兼任 講師		三井 仁壽 卓 <令和2年4月> 実用書道(硬筆) デザイン書道(硬筆)	兼任 講師 <令和2年4月> 実用書道(硬筆) デザイン書道(硬筆)
兼任 講師		三井 仁壽 卓 <令和3年4月> 考える日本史	
兼任 講師		三井 仁壽 卓 <令和3年4月> インターネット英語	
兼任 講師		三井 仁壽 卓 <令和2年4月> アドバンスト・リーディング アドバンスト・ライティング メディア英語	兼任 講師 アドバンスト・リーディング アドバンスト・ライティング メディア英語
兼任 講師		三井 仁壽 卓 <令和3年4月> 歴史のなかの女性	
兼任 講師		三井 仁壽 卓 <令和2年4月> 日本語研究C(ビジネスⅠ) 日本語研究D(ビジネスⅡ)	兼任 講師 <令和2年4月> 日本語研究C(ビジネスⅠ) 日本語研究D(ビジネスⅡ)
兼任 講師		三井 仁壽 卓 <令和3年4月> 生活とデザイン	

(注)

- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。



(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

【採用退職新規担当】

- ・齋藤 忍教授の退職に伴い、人間理解ワークショップ (R3年度開講) の担当として後任選定中。
- ・阿部 史准教授の退職に伴い、リーガルリテラシーの担当として、川口 かしみ講師を採用。
- ・加藤 暁子准教授の退職に伴い、課題解決ゼミナール、舞台芸術 (R3年度開講) の担当として後任選定中。
- ・Mabesone Laurent講師の退職に伴いフランス語1a、フランス語1bの担当として、増茂 和男講師を採用。
- ・山本 賢二講師の辞任に伴い、中国語1a、中国語1bの担当として、時松 史子講師を採用。
- ・コマ数追加による身体運動Ⅱの新規担当追加として、石山 隆之教授、蓬郷 尚代講師、仁科 幸講師を採用。
- ・コマ数追加による総合科目の新規担当追加として、石山 隆之教授、名倉 秀子教授、土井 善晴講師、船曳 建夫講師を採用。
- ・風間 文明教授は、綿井 雅康教授のコマ数調整のため新規担当として採用。自主社会活動
- ・コミュニケーション演習の担当として、竹之内 修特任教授を採用。
- ・教育効果充実を図る為、読書入門ゼミナールの担当として、飯村 九林准教授、石田 (今村) 有理准教授、曾野 麻紀准教授、野田 日出子講師を採用。
- ・日本語能力試験対策講座Ⅰ、日本語能力試験対策講座Ⅱの担当として、小笠原 典子講師を採用。福田 朋晃講師を削除。
- ・教育効果充実を図る為、英語Ⅰa、英語Ⅰbの新規担当追加として、大友 彩子講師、秋山 まき子講師を採用。
- ・教育効果充実を図る為、TOEIC対策講座の担当として、秋山 まき子講師を採用。
- ・情報処理演習Ⅰの担当として、込江 雅彦講師を採用。名児耶 厚講師を削除。
- ・教育効果充実を図る為、女性と健康の新規担当追加として、齋藤 麗子講師を採用。
- ・朝鮮語1a、朝鮮語1bの担当として、長渡 陽一講師を採用。チョ ヒ講師を削除。

【複数担当による持ち回り授業による担当変更】

- ・石野 榮一教授は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・小林 実教授は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・sheila Cliffe教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・武田 比呂男教授は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・樋口 一貴教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・松永 修一教授は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・好本 恵教授は、入門ゼミナール、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・落合 真裕准教授 コミュニケーション演習、読書入門ゼミナールは、今年度担当なし。演劇表現
- ・星野 祐子准教授は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・山下 悠貴乃講師は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・安達 一寿教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・池間 里代子教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・片居木 英人教授は、くらしのなかの日本国憲法 今年度担当なし。
- ・設楽 (松尾) 優子教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・棚谷 祐一教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・角田 真二教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・松岡 敬明教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・綾井 桜子准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・加藤 亮介准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・川口 英俊准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・久保田 葉子准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・三藤 あさみ准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・見吉 英彦講師は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・安達 宏之講師は、くらしのなかの日本国憲法 今年度本学科担当なし。

【科目配当上の都合による変更】

- ・赤間 恵都子教授 基礎演習 別教員が担当。新規担当 入門ゼミナール
- ・石野 榮一教授 地域で学ぶは、別教員が担当。
- ・小林 実教授 新規担当 基礎演習
- ・sheila Cliffe教授 新規担当 英語Ⅰa、アドバンストライティング
- ・武田 比呂男教授 新規担当 基礎演習
- ・樋口 一貴教授 基礎演習は、別教員が担当。
- ・松永 修一教授 基礎演習は、別教員が担当。
- ・落合 真裕准教授 演劇表現は、コマ数調整のため今年度未開講。
- ・星野 祐子准教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・新嶋 良恵講師 新規担当 グローバル社会、日本語表現Ⅰ、基礎演習
- ・山下 悠貴乃講師から福田 朋晃講師へ担当変更。日本語表現技術Ⅲ
- ・福田 朋晃講師から山下 悠貴乃講師へ担当変更。日本語表現技術Ⅱ
- ・池間 里代子教授 海外語学研修は、新型コロナウイルス感染症により海外渡航制限のため今年度未開講。
- ・狩野 浩二教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・向後 (田中) 朋美教授 英語コミュニケーション応用は、配当調整により、今年度未開講。
- ・設楽 (松尾) 優子教授 新規担当 英語Ⅰb
- ・杉元 葉子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・星野 敦子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・松本 晃子教授 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・綿井 雅康教授 総合科目は、コマ数調整のため、今年度担当なし。
- ・福田 朋晃講師 新規担当 総合日本語Ⅰb
- ・神田 俊平講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- ・仇 暁芸講師 コマ数追加による新規担当追加 総合科目
- ・渡辺 章夫講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- ・加藤 薫講師から福田 朋晃講師、山下 悠貴乃へ担当変更 日本語研究A (時事Ⅰ)
- ・名児耶 厚講師から込江 雅彦講師へ担当変更 情報処理演習Ⅰ
- ・榊原 理枝子講師の英語Ⅰ、英語Ⅰbは、別教員が担当。
- ・谷 洋子講師 新規担当 TOEIC対策講座
- ・宮本 正治講師から設楽 (松尾) 優子教授へ担当変更。アドバンストライティング

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (A C教員審査) を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書 (A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
7	3	2	0	12	0	8	3	2	0	13	0
(8)	(3)	(2)	(0)	(13)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
8	3	2	0	13	0	7	3	2	0	12	0
[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{12} = \boxed{108.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{13} = \boxed{7.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率（該当なし）

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率（該当なし）

$$\frac{(3) - ③合計(D) + (F)}{(2) - ②設置時の計画(A)} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	<p>完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 (教育人文学部幼児教育学科)</p>	<p>遵守事項</p> <p>本学の就業規則では、「学園業務の遂行上特に必要と認められた職員については、定年を延長することができ」とされている。学年進行中に定年を迎える専任教員については、教育の継続性及び質の担保の観点からも本規則により定年を延長し、定年延長にあたっては必要な手続きを経ている。完成年度以降については、教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>	<p>履行中</p> <p>今後も教員配置計画表に基づいて採用等を行い、定年延長者を含む退職者の後任については、学科の教育研究の継続性を図る観点からも、職位や年齢に配慮する。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。



## 7 その他全般的事項

### <教育人文学部 文芸文化学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
各科目の運営	令和2年度当初の授業期間については、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、学修時間を確保するとともに授業期間について弾力的に取り扱っている。また、遠隔授業、授業内に課すものに相当する課題研究等を活用して実施している。(2)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

十文字学園女子大学全学委員会通則規程（別添資料1）に定められた全学委員会として、全学FD委員会を設置している。

全学FD委員会の構成は、委員長は学長または学長が指名する教職員とし、(1)学長、(2)専任教員2名、(3)大学院のFD委員会において選出された者1名、(4)その他委員長が必要と認めた者で構成しているが、活動の活性化及び各教員の理解を深めるため、②及び③の選出については各学科から1名を選出している。

令和元年度は研究担当副学長が委員長を務め、事務局の担当者を含め計16名（教員11名、職員5名）で運営された。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和元年度は全4回開催した。

第1回	令和元年5月30日（木）	教員出席者	10人
第2回	令和元年6月26日（木）	教員出席者	8人
第3回	令和元年9月26日（木）	教員出席者	9人
第4回	令和元年11月14日（木）	教員出席者	8人

###### c 委員会の審議事項等

十文字学園女子大学全学委員会通則規程により、全学FD委員会は次の事項を審議し、必要な事項を処理している。

- (1) FDに係る研修会等の実施に関する事項
- (2) 大学、大学院が行うFDに係る活動の連絡・調整に関する事項
- (3) 授業評価等FDに係る調査、研究に関する事項
- (4) その他本学のFDに関する事項

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

全学FD委員会が令和元年度に実施したFD活動は以下の通り。

- (1) 授業アンケート
- (2) 授業に関する学生・教員交流会
- (3) 授業公開
- (4) 研修会
- (5) FD報告書の作成

を実施した。

## b 実施方法

### (1) 授業アンケート

原則、前期後期ともに第13回目の授業を目途に、学生による授業アンケートを実施した。また、アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークに公開している。

### (2) 授業に関する学生・教員交流会

令和2年1月9日（木）に、9学科（全学科）より学生を選出し、FD委員を中心とする教員との交流会を開催した。

### (3) 授業公開

令和2年11月11日（月）～22日（金）にかけて、原則、後期に開講した全ての授業について、授業公開を行った。

### (4) 研修会

令和元年11月21日（木）に、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」についての教職員対象のFD（SD）研修会を実施した。

### (5) FD報告書の作成

令和2年に「令和元年度FD報告書」の刊行する。

## c 開催状況（教員の参加状況含む）

### (1) 授業アンケート

- ・令和元年度は、前期は7月10日（月）～8月12日（月）、後期は12月11日（水）～2月4日（火）にアンケート実施期間を設定した（両学期とも集中講義科目及び非常勤講師を含む。）。
- ・実施対象者は前期231名、後期220名、実施率は前期95.7%、後期92.3%であった。
- ・アンケートの自由記述に対して教員がコメントを付し、学内ネットワークで公開することで学生へのフィードバックを行っているが、コメント提出率は、前期81.4%、後期79.3%であった。前期分のコメントは、令和元年9月30日に公開済みである。（後期分は現在、保留中）

### (2) 授業に関する学生・教員交流会

- ・9学科（全学科）から選出した代表学生及び留学生25名と、FD委員を含む教員10名が参加した。
- ・参加者を5グループに分け、授業アンケート及び事前に意見を求めたトークテーマについてミーティングとグループ発表を行った。

### (3) 授業公開

- ・授業公開の期間を各学科1週間、見学期間を2週間とした。公開時期を1週間とすることで公開側の負担を軽減し、見学側の選択肢はこれまで通り確保（同学科でも他学科でも見学可能と）した。
- ・見学者は、57名（教員48名、職員9名）であった。また、見学者には見学記録の提出を義務付けた。

### (4) 研修会

- ・外部講師1名を招き、2名の学内教員のコーディネートにより、「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」をテーマに、教学マネジメントの基本、本質的な問いの追究、カリキュラムの意図を反映させる工夫、カリキュラムの編成・実施・評価・改善のポイントについての研修会を行った。参加者は118名（教員86名、職員32名）であった。

### (5) FD報告書の作成

令和2年9月以降に「令和元年度FD報告書」の刊行を予定している。



d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学では、授業の質的改善・向上を目的として、継続的に「学生による授業アンケート」を実施しており、その結果は、学内ネットワーク上で公開し学生にフィードバックしている。アンケート結果に対するコメントや自由記述に対して回答することにより、各教員が今後の改善点を明らかにしている。

また、研修会「教学マネジメントの推進に向けて～カリキュラムと個々の授業の関連を考える～」のように、FD委員会が研修会を企画し、授業改善への働きかけを行っている。

平成23年度より、全学委員会通則規程に基づき設置された教員評価委員会のもと、教員評価規程（別添資料2）に則って、教育、研究、社会活動、学務の4領域を対象として教員評価を実施している。各教員の個人努力を喚起し、授業改善はもとより、教員の資質の維持向上を図るよう取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前述の通り

前述の通り

b 教員や学生への公開状況、方法等

前述の通り

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、継続的に教育体制改革を行っており、今回の改組は第三次教育体制改革として、第一次及び第二次の成果を踏まえつつ、①学部体制の改編、②新たな教育課程を修了し卒業した学生が、社会のなかで生涯にわたり活躍していくことを想定した教育内容の構築、③既存学科の強化及び本学の伝統を活かしつつ学生募集において可能性のある新たな領域（学科）の立ち上げ、④適切な定員設定、について検討を重ねてきた。学部体制については、本学が培ってきた教育研究上の領域をより明確にし、かつ、地域社会における諸課題の探求と解決に向けて、人々との連携や多職種での協働を基盤としつつ、それぞれが培ってきた専門性を発揮しうる人材を養成するために、より有効な体制と判断し、3学部へ再編成することを決定した。そして、令和2年度に①1学部体制を3学部体制（人間生活学部、教育人文学部、社会情報デザイン学部）へ再編成する、②入学定員を適正に設定変更する、③食の領域での発展拡大のために食品開発学科を新設する、④生活情報学科とメディアコミュニケーション学科を発展的に解消して、社会学を基盤とした社会情報デザイン学科を設置する、こととして、平成31年4月に届出を行い、令和2年4月にスタートを切った。

改組初年度である令和2年度入試において、新たな学部学科体制のPRと定員設定の見直しに成果が出て、旧体制下において定員割れが続いていた学科についても充足する運びとなった。ただ、文芸文化学科及び社会情報デザイン学科については歩留まりの読み違いから入学定員超過率が1.3を超えてしまった。両学科については、令和3年度入試に向け、超過是正を念頭におきつつ、本年度の傾向なども鑑み入試選抜に取り組む予定である。一方で、新設学科である食品開発学科について、定員40名に対し入学者31名と唯一、定員割れとなってしまったが、募集・広報戦略の見直しとともに、定員確保に努めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

・自己点検・評価委員会の編纂による報告書を毎年作成。

- a 公表（予定）時期
  - ・令和2年11月までに公表予定。
- b 公表方法
  - ・大学ホームページ上に公開予定

- ③ 認証評価を受ける計画
- ・令和3年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 aで「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]
- c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他（ ） ]

《 aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。